

1. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-----------------------------|---------|---------------------------|---------|--|
| 家計 動向 関連 (北海道) | | * | * | * |
| | | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・来客数が徐々に増えており、それに伴って売上も上向いてきている。 |
| | | スーパー（企画担当） | 販売量の動き | ・前年10月中旬から人流の回帰傾向が続いていたが、1月中旬以降の新型コロナウイルスオミクロン株の大流行に伴い、再び巣籠り傾向に変化している。それに伴って、来客数が落ち込んでいるものの、買上点数は増加傾向となっている。 |
| | | スーパー（企画担当） | 競争相手の様子 | ・飲食店の利用が活発化している。また、同業者の新規出店もみられ、生活者が店舗を使い分けている様子もみられる。 |
| | | スーパー（役員） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により小学校などの休校が相次いでいる。昼食需要として冷凍食品、カップ麺、菓子パンなどが急に売れ出した。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・例年冬場は厳しくなる時期だが、人気車種の新型車が発売されるなど、売れる車があるため、台数の落ち込みをカバーできている。会社全体で目標販売台数を達成しており、景気は上向きとなっている。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・3か月前は自動車メーカーの生産台数が落ち込んでいたことで、受注量も納車による売上も減少していたが、現在は回復している。 |
| | | その他専門店 【医薬品】（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの影響が長引いているが、良い意味での慣れが客にみられるようになってきている。健康状態を維持しようという客の意識が強く、1月の経営指標はここ3年同じような数値で推移しており、明るさを感じられる。 |
| | | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・客との会話で新型コロナウイルスの話題がたくさん出てくることから、景気は決して良い状態ではない。 |
| | | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・1月に入り、新規感染者数が増加していることで警戒感が強まっている。新年会などの中止を決定する事業所も多くみられ、夜に外出する来街者も少ない状況にある。また、灯油の高止まりが改善されないことで、昼間においても客の出控え傾向が継続している。 |
| | | 一般小売店【土産】（経営者） | 販売量の動き | ・当社は観光地にあり、冬休みや正月休みは帰省客が増えたにもかかわらず感染拡大の動きなどもみられず、好調であった。ただ、成人式をきっかけに感染拡大が生じており、その状況は目に余るものとなっている。 |
| | | 百貨店（営業販売担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に伴い、1月中旬以降来客数が減少傾向にある。1月27日からまん延防止等重点措置が適用されたことで、来客数はますます減少するとみられる。年末年始の売上や年配客の動きは回復傾向にあったが、現在はストップが掛かった状態となっている。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | 販売量の動き | ・正月商戦は前年よりも若干にぎわいを取り戻し、その後も新生活準備での稼働がみられたが、一般客の買上が相変わらず渋い。前年と違うことは成人式と新生活の動きがあった程度である。 |
| | | 家電量販店（店員） | 来客数の動き | ・1月前半は例年どおりの客足がみられたが、後半は激減している。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | 販売量の動き | ・新型車が発表され、メーカーにおける車の増産体制が決まった途端、新型コロナウイルスの感染再拡大と半導体不足による工場の稼働停止による減産が生じ、売上につながらない状況となっている。影響は中古車販売にも広がり、収益が低下している。 |
| | | その他専門店 【ガソリンスタンド】（経営者） | 販売量の動き | ・石油製品価格の高値が続いていることで、客の節約志向が強まっている。 |
| | | 旅行代理店（従業員） | それ以外 | ・景気が良くなってきたと思いきや、あっという間に第6波が拡大したことで、以前の悪い状態に戻った。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|------------------------------|--------|---|
| | | 旅行代理店（従業員） | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響がみられる。 |
| | | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・現在新型コロナウイルスの感染状況が悪化しているが、来客数及び売上は減少してない。以前のように新規感染者数の増減で売上の変化が起きない状況となっている。 |
| | | 美容室（経営者） | 販売量の動き | ・売上は前月よりも落ち込んでいるが、前年並みの水準を保っている。 |
| | | その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員） | 来客数の動き | ・悪天候による欠航の影響もあるが、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響が続いていることもあり、景気はそれほど変わっていない。 |
| | | 商店街（代表者） | 販売量の動き | ・全体的に輸出入の動きが鈍化している。また、原油や原材料費の高騰も続いている。食品業界においては今年の春節が前年と比べて早くなったことの影響もみられる。 |
| | | 百貨店（売場主任） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス新規感染者数が再び増加した影響により、来客数が減っている。1月上旬まで好調だった売上が中旬以降落ち込んできている。 |
| | | 百貨店（販売促進担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス新規感染者数の増加に伴い、来客数、買上客数の減少が顕著になっている。この状況はしばらくの間続くことになる。 |
| | | 百貨店（マネージャー） | 来客数の動き | ・来客数の前年比をみると、10月が95%、11月が95%、12月が91%となっており、前年から若干のマイナスで推移していたものの、1月は19日まで前年以上の来客数で推移していた。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、1月20日以降は来客数が大きく減少している。1月25日現在の来客数は前年比97%となっている。 |
| | | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・初売りまでは好調であったが、1月中旬の大雪や新型コロナウイルス第6波の影響で来客数が減少している。道路の除排雪が進んでいることで大雪の影響は解消されつつあるが、まん延防止等重点措置の適用がニュースになり始めてからは客が外出を控える傾向が強まっている。特に夕方以降の落ち込みが顕著である。 |
| | | スーパー（従業員） | 単価の動き | ・客単価が低下傾向にある。食料品の値上がり、ガソリン価格の高騰などによって、客の生活防衛意識が高くなっているためとみられ、この傾向は今後も続くことになる。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大が影響し、全体的に消費が縮小傾向にある。ただ、大型スーパーなどが敬遠される一方で、地方の小規模商店などでは客のニーズにしっかりと応えることで、若干のプラスアルファにつながっているケースもみられる。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | お客様の様子 | ・北海道にもまん延防止等重点措置が適用されることで、消費者の行動が制限されることになる。また、様々な商材が値上がり傾向にあることから、店舗の購買が落ち込むとみられる。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が激増しており、先行きの見通しに不安を覚えている。 |
| | | 家電量販店（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス発生前の状況に戻りつつあったが、月半ばから新型コロナウイルスオミクロン株が感染拡大している影響で、来客数や電話での問合せが激減しており、売上が減少傾向にある。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響により、工場の稼働が当初の予定どおりに進まず、新車登録のできない状況が続いている。客からスタッフへの問合せも多数入っており、対応に時間が取られ、思うような活動ができていない状況にある。また、来客数や受注台数も少しではあるが前年から減少している。 |
| | | 高級レストラン（スタッフ） | 来客数の動き | ・感染拡大に伴い、まん延防止等重点措置が適用されたため、来客数が減少している。 |
| | | 旅行代理店（従業員） | 来客数の動き | ・年末年始までは航空需要が堅調に回復していたが、1月中旬からの全国的な新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、ビジネス需要、観光需要が急激に減退している。道民割などの需要喚起策も休止となり、感染拡大が落ち着くまで回復が期待できない状況となっている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|----------------|--------|--|
| | | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・オーダー件数がやや減少している。夜間の飲食店関係の利用も若干の減少傾向となっている。 |
| | | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染スピードが速く、人流が抑制されているため、営業収入の減少につながっている。 |
| | | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・年末年始までは良かったが、ここに来て新型コロナウイルスオミクロン株が増加し始め、北海道にもまん延防止等重点措置が適用されたことから、目に見えて来客数が落ち始めている。今回は北海道全域が措置区域となっていることから、景気はまだまだ悪くなる。 |
| | | 通信会社（企画担当） | 販売量の動き | ・専門店舗への来客数は横ばいであるが、大型商業施設などでの出店販売において利用客が減少しており、発生する費用に対する効率が大きく悪化しつつある。さらに、人口の多い都市部を中心に競合他社への流出が前年よりも増えている。 |
| | | 観光名所（従業員） | 来客数の動き | ・年末年始は来客数、特に団体客人数の復調が顕著であり、このまま上向いていくという流れを感じていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染爆発で1月11日頃から、そうした動きがすっかり停滞してしまった。この状態はしばらく続くと覚悟している。 |
| | | 美容室（経営者） | お客様の様子 | ・繁忙期に向かうなか、新型コロナウイルスの感染が流行していることで行事などの中止や縮小が続いている。 |
| | | 住宅販売会社（経営者） | お客様の様子 | ・分譲マンション市場の客の多くは新型コロナウイルスオミクロン株を警戒しており、モデルルームに来訪する人数が減っている。込み入った商談もできない状態となっている。 |
| | × | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・北海道では1月27日からまん延防止等重点措置が適用されたが、それより早い12日には通行客が大幅に減少した。やはり新規感染者数の増加に敏感な客が多く、今までの対策期間よりも売上が大幅に減少しており、商店街や各店舗では壊滅的な売上減に悩まされている。また、飲食店への補助がある一方で、他業種、特に観光業界については、壊滅的な打撃を受けているにもかかわらず支援が全くなく、おかしいと感じている。 |
| | × | 一般小売店〔土産〕（経営者） | 来客数の動き | ・3か月前の秋口から新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き始めたことから、客が少しずつ増えていた。特に年末年始は、久しぶりに帰省する家族連れがかなりみられた。しかしながら、最近になって新型コロナウイルスオミクロン株が拡大してきていることから、来客数が再び落ち込んできている。 |
| | × | 一般小売店〔酒〕（経営者） | お客様の様子 | ・12月までは順調に回復していたが、1月に入り新型コロナウイルスオミクロン株による感染が激増し、27日から再びまん延防止等重点措置が適用されたことで景気が悪くなっている。特に飲食店における酒類提供が規制されたことで、当社もほぼ休業状態のような状況となっている。 |
| | × | スーパー（店長） | それ以外 | ・年明けから新型コロナウイルスの第6波が到来し、北海道にもまん延防止等重点措置が適用されたことから、景気は悪くなっている。 |
| | × | 高級レストラン（スタッフ） | 販売量の動き | ・年末年始はかなりの来客数がみられたが、1月10日過ぎから急に夜間の売上が減少したことで、売上は例年の50%にも達せず、景気は悪くなっている。ランチの売上はまずまず良かったが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えるたびに来客数が減っている。また、まん延防止等重点措置が適用されたことから、当店では営業時間を短縮して夜間の営業を続けることを予定しているが、状況によってはランチの営業のみとなるかもしれない。周りの店の状況を見ると、個人経営のレストランは営業するケースが多い一方で、酒主体の夜の飲食店は休業するケースが多いようだ。 |
| | × | 高級レストラン（スタッフ） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で新型コロナウイルスの新規感染者が過去の緊急事態宣言時よりも増加し、首都圏などでまん延防止等重点措置が適用されたことで、観光客の動きが10日過ぎから完全にストップしている。まん延防止等重点措置は北海道でも適用される見込みだが、既に新規感染者数が増加していることで外出を自粛しているのか、地元客の動きも鈍い。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-----------------|---------|--------------------------|------------|---|
| | × | スナック（経営者） | 来客数の動き | ・1月の始めは多少良かったが、14～15日頃にまん延防止等重点措置の話が出てからは客が来なくなった。まん延防止等重点措置が適用されてからは、来客数がほぼゼロとなるなど、最悪の状況となっている。 |
| | × | 観光型ホテル（経営者） | 来客数の動き | ・全国的に新型コロナウイルス感染が再拡大していることで、旅行会社からのキャンセルが相次いでいる。さらに、北海道においてもまん延防止等重点措置が適用されることから、キャンセルはもちろん、新規予約も完全にストップしており、予約状況が悪化している。 |
| | × | 観光型ホテル（スタッフ） | 来客数の動き | ・宿泊や宴会の予約について、回復の兆しがみえていたが、感染拡大に伴って予約が軒並みキャンセルとなっている。 |
| | × | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・1月中旬までは人出が戻りつつあった。また、大雪の影響による需要増もプラスであった。さらに、道路が大渋滞となるなど、輸送効率が悪かったことから、タクシー1台当たりの売上は前年を大きく上回り、新型コロナウイルス発生前の前々年のマイナス10%程度まで回復するほどであった。しかしながら、下旬になり、新型コロナウイルス新規感染者数が増えるとともに人出が減り、タクシーの需要も前年並みまで減った。月全体では前年比プラス10%、前々年比マイナス30%となった。 |
| | × | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・前々年比80%まで回復していたが、過去の感染者数とはけた違いの第6波が到来したことで人出が大きく落ち込んでいる。外出や外食の機会が一気に縮小している。 |
| | × | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・新規感染者数が急増したことで、1月14日頃から客の外出自粛が始まっている。特にまん延防止等重点措置が適用された1月27日から2月20日までは、人の外出機会がますます減ることになり、夜間の人出も激減することになる。 |
| | × | 住宅販売会社（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの第6波が来たことで、消費、観光、飲食などが相当落ち込んでいる。住宅建築のムードにも水を差すことが考えられるほどである。 |
| 企業動向関連 (北海道) | | - | - | - |
| | | 家具製造業（経営者） | 競争相手の様子 | ・新型コロナウイルスの第6波が生じているが、競合各社において積極的な新店舗展開や新ビジネス展開を進める様子がみられることから、景気はやや良くなっている。 |
| | | 建設業（役員） | 受注量や販売量の動き | ・雪害による影響は限定的であり、新型コロナウイルス感染第6波の直接的な影響も今のところみられない。各現場では完工期に入り、工期短縮と追加工事契約がプラス要因となって、想定以上の利益額を上積みできている。 |
| | | その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・大雪の影響などもあり、当社の売上は前年比で10%近い伸びを示している。ただ、新型コロナウイルスオミクロン株の急速な感染拡大が懸念材料となっている。 |
| | | 食料品製造業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・3か月前と比較して受注量に変化がみられない。 |
| | | 通信業（営業担当） | 取引先の様子 | ・実需に一定の動きがみられ、景況感としてはやや良い状況を維持している。一方、取引先の様子を見ると、これまでよりやや慎重な動きがうかがえる。 |
| | | 司法書士 | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの影響が小さくなったとは感じられないが、年末年始に人の往来が多くみられたことで、経済も多少は良くなっている。ただ、不動産関係については、冬期間を迎えて取引が低調に推移するなど、活発な動きはみられていない。 |
| | | 司法書士 | 受注量や販売量の動き | ・年明けから新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増えている。今回の新型コロナウイルスオミクロン株については仕事での外出であっても感染の恐怖を感じさせるほどであり、これまでの何となく他人事のようなうだつた雰囲気もなくなっている。今のところ、不動産関連の受注量に大きな変化はみられないが、感染すれば業務を一時休止しなければならず、今後に向けての不安が高まっている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-------------------|---------|----------------------------|----------------|--|
| | | その他非製造業 [鋼材卸売] (従業員) | 受注量や販売量 の動き | ・売上は予測値を上回る実績が出ているなど、伸びているように感じるが、スポット案件の受注があったためである。ベース商材の販売量が少しずつ落ちているため、安心できない状況にある。 |
| | | 金属製品製造業 (従業員) | 受注量や販売量 の動き | ・11月の住宅着工棟数が前年を下回っている。 |
| | | 建設業(従業員) | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの影響もあるようだが、直近においてウレタンの納入が難しくなっている。トイレの便座も同様の状況にあるらしく、建設に必要な資材が入ってこないことで、工期の延長や経費増が見込まれる。 |
| | | 輸送業(支店長) | 受注量や販売量 の動き | ・コンテナ不足の影響で、特に輸出入の取扱量が通常時と比べて減少傾向で推移している。 |
| | | 金融業(従業員) | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の急拡大とエネルギー価格の上昇が持ち直しのみられた個人消費を下押ししつつある。北海道に適用されたまん延防止等重点措置も消費マインドを後退させており、道内景気はコロナ禍が沈静化していた3か月前と比べてやや悪くなっている。 |
| | x | 食料品製造業 (従業員) | 受注量や販売量 の動き | ・1月の販売量は前年比マイナス21%となっている。3か月前の10月の販売数は前年比マイナス2%だったため、景気は悪くなっている。 |
| 雇用 関連 (北海道) | | - | - | - |
| | | 人材派遣会社 (社員) | 求人数の動き | ・求人依頼は増加傾向にある。ここ数か月は中小企業からの求人も増えており、特に営業や経理の求人が目立っている。中堅企業においてはアフターコロナを見据えて、デジタルトランスフォーメーションに関連した人材を要望する動きもみられる。また、アフターコロナの業績回復に向けて、営業の強化やシステムと連動した事業拡大を考える企業も散見される。 |
| | | 職業安定所(職員) | 求人数の動き | ・当地における12月の有効求人倍率は0.89倍であり、3か月前と比べて0.03ポイント上回った。 |
| | | 学校[大学] (就職担当) | 求人数の動き | ・2023年の新卒予定者を対象とした学内合同企業説明会について、各業界からの出展申込みが軒並み好調であり、企業側の新卒採用意欲の回復がうかがえる。 |
| | | 求人情報誌製作 会社(編集者) | 周辺企業の様子 | ・まん延防止等重点措置の適用による中心繁華街へのダメージが大きい。一時的な影響とみられるが、飲食関連からの求人数が減少している。 |
| | | 求人情報誌製作 会社(編集者) | 求人数の動き | ・新規感染者数が増加するなか、求人情数が増加するというこれまでみられなかった現象が起きている。飲食店や宿泊業などの求人も増えており、ほぼ全業界が堅調に推移している。3~4月の需要を見据えた動きのようにもみえる。 |
| | | 求人情報誌製作 会社(編集者) | 求人数の動き | ・3か月前は緊急事態宣言が解除されたこともあり、年末の繁忙需要に備えた食品製造や物流、消費活動に関連した小売、飲食などの業界で求人が多くみられた。一方、現在は極端に目立つような求人を行う業種はみられないが、業種的な偏りもなく、平均的に必要に応じた求人活動が行われている。 |
| | | 職業安定所(職員) | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスの影響が長く続くなか、新型コロナウイルス関連の融資を受けている会社は結構あるようだが、既に返済が始まっていたり、自転車操業に近いような会社もあると聞いている。こうした状況を踏まえると、景気はまだ上向いていない状況にある。 |
| | | 職業安定所(職員) | 求職者数の動き | ・12月の新規求人数は増加しているが、新規求職申込件数が減少していることから、求職者は依然として新型コロナウイルスの感染状況をみながら求職活動の開始時期を見計らっているとみられる。 |
| | | 求人情報誌製作 会社(編集者) | 周辺企業の様子 | ・前年10月の緊急事態宣言明けから続いていた回復基調がここに来て急速にしぼんでいる。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------|-------|----------------|
| | x | - | - | - |

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|-----------|-----------------|--|--|
| 家計 動向 関連 (東北) | | 衣料品専門店（経営者） | お客様の様子 | ・セールがスタートしたがセール品よりも高額定価品の購買が多くみられ、その分がプラスになっている。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | 来客数の動き | ・今月は大きなイベントとして初売りがあったが、帰省客の動きが非常に良かった。前年は全く動きがなかったため、前年と比べて実績が非常に良くなっている。 |
| | | 一般小売店〔医薬品〕（経営者） | 販売量の動き | ・売上、販売量共に通常よりも良く、前年を超えている。再び新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているなかで、抗原検査キット、PCR検査キット、消毒液等の供給が増えている状況にある。 |
| | | 百貨店（営業担当） | 来客数の動き | ・現在は新型コロナウイルス感染の拡大局面であるが、来客数は前年を超えている状況である。 |
| | | スーパー（経営者） | 単価の動き | ・1月は平均1品単価が前年を超えている。食品等の値上げが相次ぎ、その影響が出てきたと考えられる。また、新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加により、巣籠り需要も始まり外食が減ったためか、食品小売の来客数は前年を超えている。ただ、売上点数が伸びず、客単価も前年割れだったので、全体としての消費は前年同様、横ばいの推移となっている。 |
| | | スーパー（店長） | 単価の動き | ・3か月前と比較すると客単価が1月中旬から上がっている。新型コロナウイルス新規感染者数増加が影響しているとみている。 |
| | | スーパー（店長） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染状況の変化から、飲食コーナーの売上は下がっているが、商品の利益は増している。 |
| | | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・来客数が前年比でプラス5%、売上も8%プラスになっている。夕方から夜間の酒関連のドリンクが前年比320%になっている。明らかにコロナ疲れの人たちが夜の街に出てきたという感じがする。 |
| | | コンビニ（経営者） | 単価の動き | ・来客数は横ばいであるが、単価が増加傾向にあり、結果として販売金額の増加につながっている。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・秋口と比べ年末年始は来客数が増加している。以降も前年との比較では多少良くなっている。 |
| | | 家電量販店（店長） | 販売量の動き | ・前年末に支給された10万円の子育て世帯への臨時特別給付で消費が拡大している。買換え需要のほかに、オーディオ製品などの購入も増えている。客の消費動向に良い影響があったようである。また、寒さもあり暖房商品がよく売れている。 |
| | | 自動車備品販売店（経営者） | お客様の様子 | ・前年末からの例年より多い降雪により、除排雪に係る業者の稼働率が大変上がっており、それに関連する修理、ガソリンスタンドは忙しくなっている。また、冬場は休みの多い大工等も屋根の雪下ろしなどで忙しそうである。 |
| | | 遊園地（経営者） | 来客数の動き | ・1月は上旬のみの営業であった。穏やかな天候で新型コロナウイルスも収まっていたので、前年よりも好調に推移した。 |
| | | 競艇場（職員） | 来客数の動き | 毎年12月と1月は来客数が増えるので、その他の月に比べると多少多くなっている程度である。 |
| | | 一般小売店〔医薬品〕（経営者） | 販売量の動き | ・来客数が少なくなっているが、その分客単価が上がっており、売上は横ばいとなっている。 |
| | | 百貨店（売場主任） | 来客数の動き | ・11～12月と来客数が改善傾向にあった。しかし今月は、初売りは良かったものの第2週以降再び減少し始め、10月の水準に戻ってしまっている状況である。 |
| | | スーパー（営業担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス新規感染者数の増加から、巣籠り、まとめ買い傾向が強まっている。また、学校休校や大雪による影響もあり、近場での買物が増えている。警戒心からか来客数が増加していない。 |
| | | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・来客数が少しずつではあるが戻っている。 |
| | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で感染者が拡大しているため、人の動きが鈍くなっている。 | |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------------------|--------|---|
| | | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の適用が全国的に広がっており、人の動きが非常に鈍くなっている。売上は前年同様、悪いまま推移している。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | 販売量の動き | ・回復するかと思っただが、急激な感染拡大で先行きが見えなくなっている。 |
| | | コンビニ（店長） | 単価の動き | ・原油価格の高騰でガソリンや灯油などの値上げが続いているせいか、消費者はいろいろな商品の値上げに敏感になっており、いつもより1品少なく買ったり、低価格のものを選ぶような状況になっている。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | お客様の様子 | ・県内でも新型コロナウイルスオミクロン株の感染が多発して人出が激減し、来客数も減少しているが、高校の制服販売の時期でもあり、新型コロナウイルスの感染症対策を徹底した売場造りを行い、売上確保に懸命である。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | お客様の様子 | ・前年と比べても3か月間の来客数や販売実績にも大きな変化はなく、既存の客の入庫台数も変わらない。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響により思うように工場が稼働していない。受注は増加傾向にあるが、配車が読めず、登録に結び付かない。 |
| | | 乗用車販売店（店長） | 販売量の動き | ・直近では中古車販売の実績が非常に悪い。在庫も少なく商品確保がかなり厳しくなっている。 |
| | | 住関連専門店（経営者） | 来客数の動き | ・近年、客の仏具類への関心が薄れてきているので当店の来客数も減少しているが、今月は何とか売上を確保している。 |
| | | その他専門店〔靴〕（従業員） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の増加により、来客数が減少している。 |
| | | 通信会社（営業担当） | お客様の様子 | ・客の購買意欲に変化がみられない。 |
| | | 通信会社（営業担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス感染が再び拡大傾向になっているが、景気は変わっていない。 |
| | | 観光名所（職員） | 単価の動き | ・感染状況の変化により団体の予約状況は落ちている。しかし、団体予約がなくなった分、少人数の振り客が増えており、訪れた客に関してはよく金を落としてくれている実感があるため、それほど状況は変わっていない。 |
| | | 美容室（経営者） | お客様の様子 | ・常連客しか来店しない。 |
| | | その他住宅〔リフォーム〕（従業員） | 販売量の動き | ・リフォームについては、資材の納品遅れが改善し増改築工事が増えている。住宅設備機器については温水ルームヒーター交換工事が増えている。 |
| | | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の増加により、戻りつつあった景気が悪化している。 |
| | | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染者数急増でまた身動きが取れなくなっている。建設業は活気があるにもかかわらず、小売業までは潤っていない。 |
| | | 百貨店（買付担当） | 来客数の動き | ・数か月回復基調だったが、当月は悪天候、降雪、新型コロナウイルスオミクロン株といった複数要因が影響し、後半になるにつれ来客数が減少しており、購買意欲も再び下降気味となっている。 |
| | | 百貨店（経営者） | 販売量の動き | ・初売りは前々年には満たないものの、久しぶりににぎわいを見せたが、月半ばからの新規感染者数の増加に伴い、ファッションアイテム中心に減速している。ただし、第5波のときほどの急激な落ち込みではない。 |
| | | スーパー（営業担当） | 来客数の動き | ・来客数の前年比が96.0%まで減少している。来店頻度が下がり、買い置き需要は高まっているが、来客数のダウンを客単価でカバーできず、売上も不振になっている。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス第6波の影響が出ている。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染状況により、消費行動が変化している。年末年始にかけて新型コロナウイルス発生前のような状況に戻ったが、また悪化しつつある。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、正月に帰省される人が多く、家族での来店が増えている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|----------------------------|--------|---|
| | | 衣料品専門店 (総務担当) | 来客数の動き | ・収束感もあった新型コロナウイルス感染症だが、年明けの新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、週を追うごとに来客数が減少し、売上に影響している。 |
| | | 家電量販店(店長) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染者が拡大しており、来客数が減っている。 |
| | | 家電量販店(従業員) | 単価の動き | ・来客数、買上点数共に減少している。さらに、商品単価の下落も始めている。 |
| | | 乗用車販売店 (従業員) | 販売量の動き | ・今年は雪が多い。さらに、新型コロナウイルスオミクロン株も発生したため、販売量が少し伸び悩んでいる。 |
| | | 住関連専門店 (経営者) | 販売量の動き | ・受注生産のため今月製造分の受注量は少なかった。 |
| | | その他専門店 [酒](経営者) | 来客数の動き | ・年明けは例年動きが少なくなる。前年と比べて余り変わりなかったが、月末近くになって新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置適用地域拡大で動きが完全に止まった。 |
| | | その他専門店 [食品](経営者) | 来客数の動き | ・3か月前、新型コロナウイルスの感染も少し落ち着いていたので上向いてくるだろうと思っていたが、ここに来て新規感染者数増加の波が地方にも波及して人流がなくなっている。 |
| | | その他専門店 [ガソリンスタンド](営業担当) | 販売量の動き | ・販売価格の異常なまでの高騰により節約志向が強くなっている上に、新型コロナウイルスの感染拡大で外出が減っていることから、販売量が減っている。 |
| | | その他小売 [ショッピングセンター](統括) | お客様の様子 | ・初売りからバーゲンセールと今月のスタートは順調だったものの、中旬以降、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、来客数、購買状況が急速に悪化している。 |
| | | 高級レストラン (スタッフ) | 来客数の動き | ・予約数、来客数が全く伸びてこない。 |
| | | 観光型ホテル (スタッフ) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により正月明けから客足は悪くなっている。ガソリン価格の高騰などの要因もあるとみている。 |
| | | 観光型ホテル (スタッフ) | 来客数の動き | ・新規感染者数の増加のため、来客数が減り、予約数も伸び悩んでいる。 |
| | | 観光型旅館(経営者) | 来客数の動き | ・新規感染者数の増加により、1月中旬以降の予約はキャンセルが発生しており、新規予約も手控えられているような感じがある。 |
| | | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・20～30代はまだ動きがあるが、メインの客である50代以上の年配者は新型コロナウイルスオミクロン株を気にして動きが悪い。 |
| | | 通信会社(営業担当) | お客様の様子 | ・小売業、居酒屋への新型コロナウイルスの影響が大きく、売上が前月より厳しくなっている。観光業も燃料費の値上げ等更なる打撃を受けている。家計のやり繰りが厳しいという声も多く聞かれ、先行きの不透明感から景況感は前月より悪くなっている。 |
| | | 通信会社(営業担当) | 単価の動き | ・各種物価が上がっており、原油高が追い撃ちを掛けている。新型コロナウイルス第6波の襲来もあり、景気は11～12月頃には少し上向き兆しがみられたが、年明け早々から下降気味になってきている。 |
| | | 通信会社(営業担当) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、新規感染者数が過去最多を更新し、まん延防止等重点措置の対象地域にもなった影響で訪問契約などにキャンセルが出ており、影響が出始めている。 |
| | | 通信会社(営業担当) | お客様の様子 | ・一時期良くなりかけたが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響でまた厳しくなっている。 |
| | | 美容室(経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で一週間ほど前から客のリターンサイクルが長くなっている。また、新規客も用心してなのか、数がかなり少なくなっている。新型コロナウイルスの影響で少し悪い方向に進んでいる状況である。 |
| | | 住宅販売会社 (経営者) | 来客数の動き | ・若年層の戸建て住宅希望者は多いが、必然的に客単価が下がっている。 |
| | | その他住宅[住宅展示場運営会社] (従業員) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大により外出を控える人が多くなっているため、全体の来場組数、見学件数が減少している。 |
| | x | 商店街(代表者) | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響で、客の数が極端に少なくなっている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------------------------|--------|--|
| | × | 一般小売店〔書籍〕（経営者） | 販売量の動き | ・新しい出版物の商品力低下や新刊点数の減少に加えて、新型コロナウイルスの影響による巣籠りがあり、ギフト以外の商材に関しては来客数、販売量共に落ち込んでいる。 |
| | × | 一般小売店〔医薬品〕（経営者） | お客様の様子 | ・1月は成人式までは人も集まり、繁華街では新型コロナウイルス発生前のようなにぎわいをみせていた。しかし、新型コロナウイルス新規感染者数の急増に伴い、あっという間に人混みが消え、夜になると人のいない街にビルのネオンだけが輝いている状況になっている。 |
| | × | 一般小売店〔酒〕（経営者） | 販売量の動き | ・今月中旬頃からの新規感染者数の急拡大を受けて、客先の飲食店ではほぼ全ての予約がキャンセルとなり、それに伴い販売量が急激なダウンに追い込まれている。新規感染者数が減少する見込みも全くないなか、販売量は更に落ち込むとみている。 |
| | × | 一般小売店〔寝具〕（経営者） | 販売量の動き | ・商品がほとんど動かず、例年になく厳しい状況である。 |
| | × | スーパー（経営者） | お客様の様子 | ・可処分所得が伸びないなか、あらゆるものが値上がりしており、電気代、ガソリン代、灯油代、さらには食費にまで広がっている。客の行動は明らかに財布のひもが固くなっており、節約・節約消費になっている。 |
| | × | コンビニ（経営者） | それ以外 | ・客足が落ち、除雪代や光熱費の負担が増えるこの時期に、更に新型コロナウイルスオミクロン株の影響が重なっている。10月の最低賃金の上げもかなり痛い。売上は下がり、経費はかさみ、人手は足りず、経営自体が危ぶまれている。どうやってしのげばよいか、毎日苦悩している。 |
| | × | 衣料品専門店（経営者） | 来客数の動き | ・年明けから雪が多く除雪作業などに追われ、後半は新型コロナウイルスオミクロン株のクラスターなどの影響で、来店もままならないような状況である。 |
| | × | その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当） | 販売量の動き | ・年明け早々は新型コロナウイルスの影響もなく、このまま良い状態で進んでくればと考えていたが、月末からまん延防止等重点措置が適用になり一気に冷え込んでいる。年末年始は観光地に客が戻って活気が出たが、これでまた元のもくあみである。 |
| | × | 高級レストラン（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株でどうにもならない状態になっている。次の一手もみえない。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染が拡大していることが露骨に来客数に現れており、最近では1日の来客数が数人程度になっている。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・11～12月は新型コロナウイルスの落ち着きとともに来客数は増えた。しかし、1月に入り新型コロナウイルスの感染が日本全国に広がっており、当店で来客数が9割減少したような状況である。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・月初めは予約が好調で良くなるかと思っただ、第6波の影響がキャンセルが相次ぎ、1月だけで70～80名分のキャンセルが出ている。客が全く来なくなっており、開店休業が続いている。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | お客様の様子 | ・年末年始のエリア外との往来が原因か、新規感染者数が非常に増加しているというニュースが毎日発表されている。これでは不要不急の外出はできない。夜の繁華街はゴースタウン化している。 |
| | × | 観光型旅館（スタッフ） | 来客数の動き | ・時期的なものに加えて、新型コロナウイルス第6波による新規感染者数の増加の影響が出ている。 |
| | × | 旅行代理店（従業員） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、まん延防止等重点措置が適用となり、個人旅行はキャンセルが相次ぎ、新規予約はない状況である。団体旅行は一般法人が依然として申込みがない状況が継続しており、教育旅行は1月中旬以降2月までの間で出発予定の修学旅行が中止となっている。3月以降分も中止又は延期が検討されている。旅行需要での景気は急降下している。 |
| | × | 旅行代理店（従業員） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に比例して、予約済みの個人旅行・団体旅行等のキャンセルが、直近のものから3か月以上先のものまで日増しに増えている状況である。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|---------|--------------------------|--------------|---|
| | × | 旅行代理店（従業員） | 来客数の動き | ・旅行業につき、感染者数と需要動向がリンクする。前年未までは活況を呈しており、今後の景気動向へも前向きな機運であったものの、年明けの感染拡大に伴い状況が一転し、厳しい状況となってきた。需要を支える各県の地域観光事業支援も変更又は中止が開始しており、更に状況は悪化するとみている。 |
| | × | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数が、これまでの最大感染者数をはるかに上回り、若いも若きも外出を控える人が非常に多くなっている。タクシーは人々の外出が売上に直結しており、今月半ばから1日当たりの売上がダウンしている。 |
| | × | テーマパーク（職員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス新規感染者数が増え、比例するように日帰り客の減少、宿泊客のキャンセルなどが増え続けている。振出しに戻ったようである。 |
| | × | その他サービス [自動車整備業]（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、地方でもクラスターが多数発生しており、市民活動は停止状態にある。来客も1日数人しかなく、1日の売上も前月の10分の1に激減している。 |
| | × | 設計事務所（経営者） | 単価の動き | ・公共工事の建築設計業務の入札において、最低制限価格が設定されていない自治体で、予定価格の20%程度での落札があった。また、最低制限価格が設定されている自治体においても、制限価格以下での応札が急激に増えた印象を受ける。発注件数が減少傾向にあるなか、価格競争が激化すれば、元々小規模の業態なので一気に悪化する懸念がある。 |
| 企業 動向 関連 (東北) | | * | * | * |
| | | 農林水産業（従業者） | 受注価格や販売価格の動き | ・りんごの前年秋JA出荷分精算書が届いたが、販売単価が例年よりも2割程度良くなっている。 |
| | | 建設業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・比較的規模の大きい民間案件の受注があった。 |
| | | 金融業（広報担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルス第5波収束以降、個人消費の動きが活発化している。飲食・宿泊業含め、年をまたいで新型コロナウイルスオミクロン株感染が拡大しているなかでも、消費意欲の上向き傾向に変化はみられない。 |
| | | 公認会計士 | 取引先の様子 | ・客の月次、決算状況から判断している。小売、サービス、飲食関係は消費者が戻って来て12月は売上が伸びている。建設関係も一定の売上と利益を確保しており、全体としては景気が良くなっている。 |
| | | 食料品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・前年11月くらいから人の動きが良くなり、初売りも人出が回復し10日くらいまでは売上も良かった。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が増え始めると、人出も悪くなり売上も下がってきた。辛うじて、月初めの貯金により今月の売上は前年よりもプラスになる。 |
| | | 食料品製造業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・販売量が前年比90～95%の状態が続いており、3か月前と比べて悪い状況に変化はない。 |
| | | 出版・印刷・同 関連産業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・12月までは動きを感じていたが、1月に入って鈍くなっている。 |
| | | 出版・印刷・同 関連産業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・前年10月頃から原材料の値上げ依頼が増えてきた。販売価格に転嫁しづらかったが、企業努力にも限界があり、値上げ交渉を本格化していく。 |
| | | 金属製品製造業（経営者） | 取引先の様子 | ・受注予測は堅調である。しかし、先行きに関しては良い言葉を聞かない。 |
| | | 電気機械器具製造業（企画担当） | 取引先の様子 | ・半導体製品を使用した電気製品を開発する大手メーカーの動きに特に大きな変化はなく、周囲の景気にも大きな変化はない状況である。 |
| | | 電気機械器具製造業（営業担当） | 取引先の様子 | ・取引先における各種機器の保守点検や修繕に関し、事後保全での対応は変わっていない。 |
| | | 建設業（従業員） | 取引先の様子 | ・工事案件が少なく受注もほとんどない状況である。また、雪の影響で、仕掛かり工事も進捗が遅れている。 |
| | | 輸送業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・ここ数か月、会社全体の売上は前年を上回っているが、ごく一部の有期受注業務が押し上げているだけで、他の多くのセグメントではそれほど伸びていない。したがって、景気が上向いていると感じるところまで達していない。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|------------------|------------|-----------------------------|---|---|
| | | 通信業（営業担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの影響はいまだ大きく、客の反応が厳しい状況は変わっていない。 |
| | | 広告業協会（役員） | 受注量や販売量の動き | ・新規感染者数の急増でG o T oキャンペーンも早期に再開することが難しくなり、予定していた旅行会社、宿泊施設、飲食店等関連業種の広告出稿がストップしている。広告業界では業績が戻りつつあったが、更なる上積みは期待できない状況になっている。 |
| | | 農林水産業（従業者） | 受注価格や販売価格の動き | ・新型コロナウイルスの影響により、米価の低迷が続いている。 |
| | | 広告代理店（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株感染拡大の影響で、イベントなどの業務の中止が増加している。 |
| | | 経営コンサルタント | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な広がりが一気に消費にストップを掛けている。 |
| | | コピーサービス業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・主力商品であるIT機器の生産が遅れており、納期が当初の予定よりまた延びることが判明し、代替機がないなか非常に苦労している。今は通常どりの生産体制に早く戻れることを祈るだけである。 |
| | | その他非製造業 [飲食料品卸売業]（経営者） | 取引先の様子 | ・取引先の地域のスーパー経営者数人から聞いた話である。ほとんどの店で来客数が前年比95%程度と減っているが、買上点数は105%程度となっており、総合的に売上金額は98%程度で、前年と比較すると良くないという状況である。 |
| | | その他非製造業 [飲食料品卸売業]（経営者） | 取引先の様子 | ・当県においても感染拡大が続いている。人々の防衛意識の高まりから、外食への人出が減少し、新年会の予約もキャンセルが多数出ている。昼間も在宅勤務が増えていることで中心部のランチ需要が減少しており、総じて飲食店を取り巻く環境は悪化している。 |
| | | その他企業 [企画業]（経営者） | それ以外 | ・新型コロナウイルス感染の波が下火となった3か月前は町内の温泉街の宿泊施設でも予約上向きの兆しがみえたが、第6波が顕著となったこの1週間、予約のみならず日帰り客の足すら再び遠のいている。 |
| | x | 食料品製造業（製造担当） | 受注量や販売量の動き | ・1月初旬こそ良かったが、中旬以降、特に下旬は新型コロナウイルスオミクロン株の拡大により来客数が減っている。 |
| | x | 窯業・土石製品製造業（役員） | 受注量や販売量の動き | ・出荷の減少傾向が長く続いている。原材料や燃料の価格高騰もあり経営は厳しい。 |
| | x | 輸送用機械器具製造業（経営者） | 取引先の様子 | ・半導体不足による生産台数減産の影響で、生産工場の稼働停止や生産設備停止があり、注文数が減少している。 |
| | x | 輸送業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・第6波の影響で客足、受注量共に減少している。 |
| 雇用 関連 (東北) | - | - | - | - |
| | | 人材派遣会社（社員） | 求人数の動き | ・求人数は新型コロナウイルス発生前の水準を大きく超えている状況である。一方で、東北以外に本社がある企業の東北勤務地求人の増加が顕著になっており、東北地場企業としては採用競合となる会社が増えている。採用難易度が再び上がっている状況である。 |
| | | 職業安定所（職員） | 周辺企業の様子 | ・大規模な工場や大型ショッピングモールの進出が続いている。 |
| | | 職業安定所（職員） | 採用者数の動き | ・求職者数は減少傾向にあるが就職件数は落ち込んでいない。新規求人数は増加傾向が続いている。 |
| | | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・3か月前と比較して、新規求人数は約200人、有効求人数は約600人増加している。 |
| | | 職業安定所（職員） | 周辺企業の様子 | ・タクシー、代行運転の求人が出ている。まん延防止等重点措置による飲食店等の制限がなくなったことが影響している模様である。 |
| | | 民間職業紹介機関（職員） | 求人数の動き | ・製造業で人材が不足している話はあるが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し始め、この先はまだ不透明な部分もある。 |
| | | 人材派遣会社（社員） | 周辺企業の様子 | ・3か月前と比べ、人材関連の企業、靴や医薬品の専門商社で求人活動を開始する企業が増えている。また、一時と比べると小売でも採用に踏み切るケースが増えている。ただ、飲食業はなかなか浮上のきっかけがつかめていないようで、3か月前と比べても、積極的に採用するという状況には至っていない。 |
| | 人材派遣会社（社員） | 周辺企業の様子 | ・良い状況になりつつあったが、再び新型コロナウイルス新規感染者数が増え、先が見えない状況になっている。 | |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|----------------|---------|--|
| | | 新聞社〔求人広告〕（経営者） | 周辺企業の様子 | ・周辺企業の様子を見ても変わりはない。 |
| | | 職業安定所（職員） | 求職者数の動き | ・離職を余儀なくされる求職者の数は減少し続けていて、企業の業績については上向きにみえている。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株の影響が大きい観光・宿泊・飲食については、再び客足が減少しており、企業を苦しめている。 |
| | | 学校〔専門学校〕 | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株へ置き換わり、新規感染者数が急増している状況である。県独自の緊急事態宣言も発出され自粛ムードが徐々に高まり、経済活動の影響が少しずつ出ている。 |
| | | アウトソーシング企業（社員） | それ以外 | ・落ち着いたと思った新型コロナウイルスの新規感染者数がまた増えており、会議がキャンセルになっているため、仕事が減っている。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 求人数の動き | ・求人広告の扱い件数が減っている。その他の広告も減少傾向にある。新型コロナウイルスオミクロン株の登場と、新規感染者数の急拡大が大きく影響していると考えられる。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大を受けて県が独自の緊急事態宣言を出しており、再び、宿泊・飲食・イベント関連を中心に大きな影響が出ている。 |
| | x | * | * | * |

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-------------------------|---------|----------------|--------|---|
| 家計 動向 関連 (北関東) | | * | * | * |
| | | コンビニ（経営者） | 単価の動き | ・前年比で、売上は日商102%、来客数は96%、客単価は106%となっている。商材の値上げもあり、客単価は伸びているが、来客数は微減である。新型コロナウイルス流行前には戻らず、微減状態が続いている。日商はここ3か月くらい、微増で推移している。 |
| | | 旅行代理店（従業員） | 販売量の動き | ・回復傾向だが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、今後は心配である。 |
| | | 競輪場（職員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染者数が拡大し始めているなか、来場者が減少するかと心配していたが、今のところ減少傾向にはなっていない。 |
| | | 一般小売店〔精肉〕（経営者） | お客様の様子 | ・今月は全国と同様に、新型コロナウイルスの感染者が増大している。日を追うごとに増えている状態で、当地区もまん延防止等重点措置対象地域になっている。また、毎日、非常に寒い日が続いているので、人の動きは悪い。安い物を買っていると評判のスーパーなどは人の動きが少しあるようだが、大型スーパー等でも駐車場が空いている。 |
| | | 百貨店（店長） | 販売量の動き | ・前年比の売上は3か月連続で100%超となるも、回復具合は鈍い。 |
| | | スーパー（商品部担当） | 単価の動き | ・来客数減少、客単価上昇の現状は、新型コロナウイルス感染者が増加すると起きる現象で、一時の変化と捉えている。食料品の値上げや原油価格高騰と、厳しい話題は多々あるが、今のところ大きな変化はない。 |
| | | コンビニ（経営者） | お客様の様子 | ・今月は、前年と比べてスキー場に向かう客の動きが少し良くなっている。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | 販売量の動き | ・販売は相変わらず軽自動車、乗用車が中心で、販売台数は低位安定である。ただし、整備売上は新型コロナウイルス以降もほぼ横ばいで、それが救いである。 |
| | | 乗用車販売店（販売担当） | お客様の様子 | ・11～12月辺りは、当社は好調だったが、年明けから新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況がひどく、当県で開催した冬季国体が終わったが、無観客で開催したので、観光客も来ない。観光地を控えて商売をしている当社としては、物産店、レストラン、飲食店関係、ホテル関係が全く振るわなかったあおりを受けて、販売量、サービスの在庫台数が極端に落ち込んでいる。 |
| | | 自動車備品販売店（経営者） | 販売量の動き | ・販売が余り振るわない。活況はないが、ぎりぎり前年実績に近づいている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|---------------------------|--------|---|
| | | 住関連専門店 (仕入担当) | 販売量の動き | ・前年度との比較では、年末年始商戦は、新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きや気温の低下もあったため、来客数も伸び、販売数も上がっている。足元では急激な感染拡大が見られるが、今のところ、来客数にそれほどマイナスの影響はない。 |
| | | その他専門店 [靴小売業] (経営者) | 来客数の動き | ・冬季は北関東にある当店では降雪の影響が大きい。山沿いはかなりの雪が降っているが、平野部の降雪は少なく、10cmほどである。今年は、雪よりも寒さが厳しく、値ごろのブーツは売れている。今年はいまうまいくいそうだとみていたが、新型コロナウイルスオミクロン株のクラスター発生の影響が出て、プラスマイナスゼロとなってしまっている。 |
| | | 一般レストラン [居酒屋](経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染拡大の報道の影響で、50代以上の常連客は、まん延防止等重点措置の適用前でも来店を控えているようだった。活気はなくなり、自然と客足は遠のく傾向である。 |
| | | 一般レストラン [居酒屋](経営者) | 来客数の動き | ・曜日に関係なく、日ごとの繁閑の差が激しく、宴会も少人数が多数である。 |
| | | タクシー(経営者) | お客様の様子 | ・昼の動きは良くなったが、2年前の同月比では20%の減少である。 |
| | | 通信会社(局長) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス感染者が爆発的に増えて、訪問販売員の足が止まっているため、販売量も下がっている。 |
| | | その他サービス [自動車整備業](経営者) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス感染拡大第6波の影響により、再度まん延防止等重点措置対象地域になったが、少し神経質になった程度で、特段変化はない。客の動向も3か月前と変わらない。 |
| | | 設計事務所(所長) | お客様の様子 | ・前月は新型コロナウイルスの新規感染者数の減少により、忘年会も多少は開催され、景気が回復の兆しを見せていた。今月に入り、新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大で、イベント等の開催中止や延期が相次ぎ、まん延防止等重点措置も適用されたため、景気回復はまだ先だと感じている。 |
| | | 設計事務所(所長) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染に終わりが見えない状況で、良くも悪くもなっていない。 |
| | | 住宅販売会社 (経営者) | 販売量の動き | ・物流の滞りで予定が組めない関連業種の影響が大きい。販売量が悪い状況は続く。 |
| | | 住宅販売会社 (経営者) | お客様の様子 | ・企業が新規出店しようとしたところに、また、新型コロナウイルスの感染拡大第6波で、一旦全部中止となり、貸店舗等の契約が駄目になってしまった。やはり、皆、どうなるのかという不安の元で、出店を控える状況が多いような感じである。事務所関係でも、地方出張所を出す予定のキャンセルが出ている。 |
| | | その他住宅[住宅管理・リフォーム](営業) | お客様の様子 | ・客には、軽微な修繕で済むうちに実施するよう勧めてはいるが、見送られるケースが目立っている。生活防衛意識からか、家に関する事柄の優先順位がやや低いと感じる。 |
| | | 一般小売店[家電] (経営者) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響がかなり大きいと思うが、やはり給料が上がっていないのが現実なのだろう。 |
| | | 一般小売店[青果] (店長) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染者が急激に増えたため、外食系、ホテル、式場等のキャンセルが相次いでいると聞いている。 |
| | | 百貨店(営業担当) | 来客数の動き | ・今月上旬は、前月からの堅調な流れを引き継いでいたが、中旬以降は新型コロナウイルス新規感染者の急拡大により、来客数、販売額共に失速している。当市はまん延防止等重点措置の対象地域に該当しており、新規陽性者数の拡大が続けば、更なる失速が懸念される。 |
| | | 百貨店(営業担当) | それ以外 | ・現時点では新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況がかなりひどく、明らかに来客数が10~15%ほど減ってきている。それに比例して売上も減少傾向にあり、負の流れが継続している。食品は健闘しているが、非食品の落ち込みが目立ってきている。 |
| | | スーパー(総務担当) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染拡大により、日々の来客数が減少している。 |
| | | 家電量販店(店長) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染が拡大してきたため、来客数が少なめである。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------------------------|--------|--|
| | | 乗用車販売店 (従業員) | 販売量の動き | ・半導体不足も落ち着き、車両納車の遅延も回復状況にあったが、新型コロナウイルス感染再拡大により、減産の影響で遅延が発生し、注文残の減少が出ている。 |
| | | 乗用車販売店 (営業担当) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染者が急増しており、先行き不透明なため、受注に至らない場合が増えているような気がする。 |
| | | 住関連専門店 (店長) | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、飲食店等で、時短営業が発生している。まん延防止等重点措置が発出されているが、感染が終息する兆しはないため、景気は上向きにはならない。 |
| | | 一般レストラン (経営者) | 来客数の動き | ・市内で新型コロナウイルスの感染者が日に日に増えており、ようやく戻ってきた客も、また少なくなってきた。 |
| | | その他飲食[給食・レストラン] (総務) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大が地方で遅れていた分、現在増勢となっており、当面は影響が広がっていくものと思われる。事業所給食部門では、幼稚園、保育園の休園や通所型介護施設の利用低迷等により、提供食数の減少が懸念される。レストラン部門は、不急の外出抑制により利用減が続くものとみられる。 |
| | | 旅行代理店(経営者) | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置が適用中のため、2月末までは1件を残して全てキャンセルとなっており、新規申込もない。 |
| | | 旅行代理店(所長) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大の影響が大きく、せっかく盛り返してきた旅客の動きも減少に転じている。イベントの中止も徐々に発表されている。 |
| | | 通信会社(経営者) | それ以外 | ・あらゆる物が品薄状態で、機器がない。それならば修理しようとするけど今度は部品がない。物がなければ売上は立たない。 |
| | | 通信会社(営業担当) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、店舗への来客数減少の影響が出てきている。 |
| | | 通信会社(総務担当) | 販売量の動き | ・半導体不足などの影響で、売れ筋商材の入荷が滞っている。 |
| | | ゴルフ練習場 (経営者) | お客様の様子 | ・1月になって、新型コロナウイルスオミクロン株の感染増加の報道、まん延防止等重点措置の適用等で、歩く人がいなくなっている。 |
| | × | 商店街(代表者) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の話題をよく聞く。やっと回復し始めたのに、時期変更された修学旅行や旅行ツアー等の外出控えが目立っている。 |
| | × | 一般小売店[土産] (経営者) | 販売量の動き | ・またたく間に感染拡大した新型コロナウイルスオミクロン株により、販売量も客の出足も極端に悪くなっている。例年1月は、初詣客でにぎわうが、ここ2年は売上の悪い月となっている。今年も1月5日までは人出もあったものの、この日を境に、また売上激減の月となったため、景気は悪いと判断している。 |
| | × | 百貨店(店長) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、店舗への来客数が減少している。さらに、まん延防止等重点措置対象地域となったことにより、来客数減少に拍車がかかっている。 |
| | × | 衣料品専門店 (販売担当) | 来客数の動き | ・年が明けてから、本当に客が出てこない。これも、新型コロナウイルスオミクロン株の相当な影響だとは思うが、専門家が言っている科学的な根拠があつての話を、もっと前へ進めるような政治体制が整わないと、このまま更に悪くなるのではないかと実感している。本当に客が出てこない。毎日のようにゼロ更新で、これをどうして乗り切ろうかという感じである。 |
| | × | 家電量販店(店員) | 販売量の動き | ・全体としては前年比93%と低調に終わっている。新型コロナウイルス禍にあつて好調だった商品群は、洗濯機、クリーナー、調理家電、理美容健康商材等で、厳冬による暖房器具も好調である。構成比の大きい冷蔵庫やテレビ等が低調である。 |
| | × | 一般レストラン (経営者) | 来客数の動き | ・12月は今までの自粛の反動で人が動き、回復していたが、新型コロナウイルスオミクロン株が急拡大し、また動かなくなってしまっている。「12月に動いて、色々とお金を使い過ぎた」という人も多い。 |
| | × | 観光型ホテル (経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染拡大が、悪くなっている最大の要因である。 |
| | × | 都市型ホテル (経営者) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響なのか、1月下旬頃から来客数が激減してきている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------|---------|-----------------------|--------------|--|
| | × | 都市型ホテル（支配人） | 来客数の動き | ・1月27日より、まん延防止等重点措置が適用され、ほぼ全ての予約がキャンセルとなっている。 |
| | × | 都市型ホテル（総支配人） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大第6波の影響で、宿泊、料飲共、キャンセルが多数発生している。11～12月と好調に推移していたのに、わずかな間に8～9月頃の悲惨な状況に戻ってしまっており、とても悔しい。 |
| | × | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・現在、日勤での仕事をしている。午前中は、病院に行く高齢者の送迎で多少は動きがあるものの、午後からは、1時間に1回、営業ができる程度である。また、夜～深夜は、全くと言ってよいほど動かないと聞いている。新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大第6波で、ますます人出がなくなり、電車に乗っている人も少なくなっている。 |
| | × | 通信会社（経営者） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスは、日増しに景気を悪化させ続けている。 |
| | × | テーマパーク（職員） | 来客数の動き | ・年末年始休暇までは良かったが、新型コロナウイルスオミクロン株の流行に伴い、急ブレーキのように来園者数が減少している。 |
| | × | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・通貨の総合力の指標である実質実効為替レートで、円が1972年の水準に下がっている。購買力が低下し資本は減少する。新型コロナウイルスオミクロン株は右肩上がりに増え、株価は下がる。株価が下がっても気にしないと平然と言っているのける経済再生担当大臣は必要なのだろうか。 |
| | × | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・通貨の総合力の指標である実質実効為替レートで、円が1972年の水準に下がっている。購買力が低下し資本は減少する。新型コロナウイルスオミクロン株は右肩上がりに増え、株価は下がる。株価が下がっても気にしないと平然と言っているのける経済再生担当大臣は必要なのだろうか。 |
| 企業 動向 関連 | | | | |
| (北関東) | | その他サービス業〔情報サービス〕（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・商談や受注件数、金額共に増加傾向にある。それに伴い、売上は増加しつつある。 |
| | | 化学工業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・原材料価格上昇が大きく、価格改定を余儀なく進めている関係もあり、様子見状態である。 |
| | | 窯業・土石製品製造業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・年度内は大きな変化もなく、忙しく稼働する見込みである。 |
| | | 金属製品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・売上が少なくなっている。はっきりした理由は分からないが、全ての取引先で売上が減っているのが、非常に困っている。 |
| | | 金属製品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・全体的に前年より10%増の受注状況だが、前々年比では30%ほど少ない。 |
| | | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・部品の入荷状況が日増しに悪くなってきている。当社もいつ全て止まってしまうか、もう綱渡りの状態である。1個1円の物を70～80円で買って、赤字覚悟で出荷しているようなひどい状況も出てきている。自動車メーカーの生産が止まるくらいだから、うちの小さな小さい会社が止まるのは当たり前かもしれないが、どうにもならない。 |
| | | 輸送用機械器具製造業（経営者） | 取引先の様子 | ・どちらとも言えない状況である。取引先が10社ほどあるが、受注が全くない、普通、やや多い、と各社ばらばらで、今後の受注や競争相手の様子等は全く分からない。 |
| | | 輸送業（営業担当） | 取引先の様子 | ・新生活用品の冷蔵庫、洗濯機等の白物家電やインテリアラック類の物量は前年並みに確保している。しかし、原油価格高騰により業務コストが増加しており、利益は薄くなっている。 |
| | | 不動産業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・寒波によるメンテナンスの増加がみられ、例年よりも作業依頼は増加傾向にある。 |
| | | 司法書士 | 受注量や販売量の動き | ・静かな落ち着いた地域なので、余り起伏がない堅実な動きをするが、今年も静かに年が明けて、例年どおりに推移している。 |
| | | 社会保険労務士 | 取引先の様子 | ・緊急事態宣言解除後は回復してきていたが、ホテル等で行われる集まりなどの中止や延期が始まっている。また落ち込みそうである。 |
| | | 不動産業（管理担当） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルス感染拡大による定期業務の延期や従業員の感染による管理業務の減少により、売上が減少している。燃料費や資材価格の値上げによる経費増も続いており、減益額が拡大している。 |
| | | 広告代理店（営業担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルス感染拡大第6波の影響で、再度、観光、サービス業がピンチになっている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-------------------|---------|----------------|------------|---|
| | | 経営コンサルタント | それ以外 | ・長引く新型コロナウイルス禍で、自粛や規制続きのなかで、長年営業を続けてきた近隣の馴染みの飲食店や物販店までもが、閉店や廃業するケースが各地で表面化している。正月の一時だけ、街中、商業施設、観光スポット等に人出があったものの、感染拡大第6波の影響を警戒して、人々の流れが滞り出している。 |
| | × | 一般機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・12月末に自動車関連の大幅減産情報が入り、ぼん回計画が白紙となっている。既に作り込みを行っており、大量の仕掛在庫を抱え、対応に苦慮している。 |
| | × | 建設業（開発担当） | 受注量や販売量の動き | ・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党の政権誕生後、公共工事は順調に推移している。その後、前政権や現政権も同じ流れであり、業界としても有難い状況である。ただし、新型コロナウイルス禍のなか、国の財政を考えた場合、公共工事も多数の問題が生じるのではないかと。また、長期政権の弊害が生じてきているようで、議員の不祥事が後をたたく、国民として怒りを覚える。今期の公共工事発注額は前年比86%、当社受注額も前年比10%減と厳しい状況である。 |
| 雇用 関連 (北関東) | | - | - | - |
| | | 人材派遣会社（経営者） | 求人数の動き | ・コンビニ等の販売員や、小売、生鮮食品、青果等のスーパー等での求人が目立っている。年末年始に向けて募集が落ち着いている建設関連や製造業は稼働が止まっているので、動いているのは小売、販売等が多い。建築関連はひとまず落ち着いている状態で、堅調である。 |
| | | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・自動車関連、卸売業関連の求人が増加傾向にある。 |
| | | 人材派遣会社（社員） | 周辺企業の様子 | ・宿泊施設関係の取引先の話では、新型コロナウイルスオミクロン株によってまん延防止等重点措置が適用される前までの利用者数と比べると、適用後は各段に下がっており、キャンセル等も出て厳しい稼働状況だということである。 |
| | | 人材派遣会社（社員） | 求人数の動き | ・業種を問わず、求人数は増加傾向にあるが、人材不足である。 |
| | | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・自動車部品関連製造業では、半導体不足や東南アジア等からの部品供給不足が大きく影響し、受注減や納期が後ろ倒しになったりと、生産が落ち込む状況が続いている。加えて材料費の高騰があり、求人に影響している。 |
| | | 学校〔専門学校〕（副校長） | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスが更に感染拡大し、懸念材料が増えて見通しがつかなくなった様子がうかがえる。 |
| | | 人材派遣会社（管理担当） | 求人数の動き | ・新型コロナウイルス感染拡大により、生産が減少し求人数も減少したため、やや悪くなっている。 |
| | × | * | * | * |

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-------------------------|---------|-----------------|--------|--|
| 家計 動向 関連 (南関東) | | 百貨店（販売促進担当） | それ以外 | ・2021年10月以降、新型コロナウイルス感染者の減少に合わせて来客数が回復し、月ごとに増加率が伸長し、合わせて売上も伸びている。初売りも前年と比較するとプラスとなっている。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株による新規陽性者数の増加と、1月21日からまん延防止等重点措置適用地域となったことで、月下旬になってからは、来客数、売上共に鈍化傾向にある。 |
| | | 一般小売店〔家電〕（経理担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株が流行しているのに、今年に入って来客数が増えている。来店した客は必ずといっていいほど買うことが多い。 |
| | | 百貨店（広報担当） | 来客数の動き | ・前年10月の緊急事態宣言解除直後より来客数は増加傾向にある。ただし、新型コロナウイルス感染第6波の影響が大きくなる可能性もあり、先行きは不透明である（東京都）。 |
| | | 百貨店（販売促進担当） | 来客数の動き | ・回復傾向にあった売上、来客数共に、新型コロナウイルスオミクロン株の急速な感染拡大に伴うまん延防止等重点措置適用の影響が出てきている（東京都）。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------------------------|--------|--|
| | | 百貨店（経営企画担当） | 販売量の動き | ・緊急事態宣言解除後、順調に売上は回復しており、外出する機会も増えたため、衣料品を始め防寒具の動きも堅調に推移してきた。初商においても、前年と比べて商材もあったため、初旬の雪の影響はあったものの明るい兆しが見えていた。その後、新型コロナウイルスオミクロン株の影響に関する報道が増えるに従い、特に、まん延防止等重点措置の適用後は来客数も減少傾向となり、今後の動向に懸念が残る（東京都）。 |
| | | スーパー（店長） | それ以外 | ・1月10日以降から、新型コロナウイルスオミクロン株による第6波の影響で、じわじわと売上が伸びてきている。新型コロナウイルスが地域にまん延してきている影響で、巣籠り需要で売上が微増している（東京都）。 |
| | | スーパー（総務担当） | お客様の様子 | ・店全体の売上としては4%ほど前年を上回ることができている。食品は若干の伸びであったが、衣料、住まいの品に関しては10%以上伸びている。ただし、前々年比でみると衣料、住まいの品は元どおりにはなっておらず、食品の売上構成がますます高まっていきそうである。ステイホーム的な商材、食品の精肉や青果などは落ち込んでいるが、外出需要に伴った医療品や簡便食品などは大幅に伸びている。 |
| | | コンビニ（経営者） | 単価の動き | ・現在、まん延防止等重点措置が適用されているため、夜の売上が極端に減りつつある。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・緊急事態宣言の解除後から人流の戻りが感じられ、オフィスや繁華街の店舗で売上、来客数の回復がみられる（東京都）。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響があった前年よりも、各部門共によく売れている。来客数も良くなっている。新型コロナウイルス禍でも人は動いている。 |
| | | 衣料品専門店（統括） | 来客数の動き | ・成人式、就職活動用のスーツを買い求める客が多い。2年前、入学式のない世代だったので、そうした目的でのスーツを持っていない客が多いのではないかと。 |
| | | 家電量販店（従業員） | 単価の動き | ・来客数は伸びていないが、高単価商材は動いている。小物や低価格商材はホームセンターや雑貨店で購入する客が増えている。 |
| | | 乗用車販売店（店長） | 販売量の動き | ・販売量や来客数が増加している。 |
| | | 住関連専門店（営業担当） | お客様の様子 | ・今後、住宅設備機器の値上げが予定又は予測されており、需要の先食いといえる状況が起こりつつある。その影響で、目先の売上は短期的には伸びていく（東京都）。 |
| | | 通信会社（営業担当） | 販売量の動き | ・3か月前に比べれば、人の動きも徐々に戻りつつあり、転居に伴うインターネットの契約数も回復の兆しがある。 |
| | | 通信会社（管理担当） | お客様の様子 | ・営業案件が少しずつ増加している（東京都）。 |
| | | ゴルフ場（経営者） | 来客数の動き | ・ゴルフ練習場では新型コロナウイルス禍での特需が継続しており、稼働が高い状態である。ただし、グループで経営している飲食店は、まん延防止等重点措置が適用されてから、極端に来店数が減少し、売上が上がらなくなっている。 |
| | | その他レジャー施設〔複合文化施設〕（財務担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染第5波の収束により回復傾向がみられたので、感染第6波となる新型コロナウイルスオミクロン株が早期にピークアウトし始めることを願っている（東京都）。 |
| | | 一般小売店〔印章〕（経営者） | 来客数の動き | ・当店は、各店が独立店舗のような形で点在している地域点在型の商店街の中の1店舗である。そのため、集客力がなく寂しい限りである。目的買いである印鑑は非常に低迷しており、立ち直ることは不可能なように感じる。 |
| | | 一般小売店〔祭用品〕（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染者数増加により、また需要が停滞している。 |
| | | 一般小売店〔文房具〕（経営者） | 来客数の動き | ・1月上旬は来客数も売上も上向きであったため、景気の回復が期待できそうであった。しかし、新型コロナウイルス感染者数が急増してきた中旬以降は来街者数も若干減少し、結果として前年並みの売上に落ち着いてしまっている（東京都）。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------------------|--------|--|
| | | 一般小売店〔生花〕(店員) | 来客数の動き | ・3か月前の10～11月頃はまだ寒さがなかったため、客も今よりはずっと多かった。今の時期は花の持ちも良いが、それにしても寒さと新型コロナウイルスの影響がかなりある。いろいろ考えてはいるが、これからどうなるか心配である(東京都)。 |
| | | 一般小売店〔文具〕(販売企画担当) | 販売量の動き | ・店頭においては、まん延防止等重点措置が適用された影響で、客の動向が相当変わってきている。ただし、来客数が少なくても単価が上がったり、逆に来客数が多くなっても単価が下がったりといった形で、うまく調整が取れている。また、外商も同様に、ある程度物件等の数が安定してきている。そのようなことから、どちらでもない。 |
| | | 一般小売店〔茶〕(営業担当) | 販売量の動き | ・売上、来客数共に前年より伸びている。 |
| | | 一般小売店〔茶〕(営業担当) | 販売量の動き | ・前月は少しは良くなると回答したが、ここにきて新型コロナウイルスオミクロン株の感染がどんどん広がってきたので、販売も頭打ちになり暇である。先が見えない。特に、会社関係からの注文が来ない(東京都)。 |
| | | 一般小売店〔書店〕(営業担当) | 販売量の動き | ・制限があるなかでも、年度末にかけての受注量は例年と変わらないと感じられる(東京都)。 |
| | | 百貨店(総務担当) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株による感染急拡大に伴い、客の消費行動はより慎重になってはいるものの、以前のような極端な抑制は感じられない。前年と比較すれば紳士、婦人共にファッション関連商材の動きは良いが、景気が良くなっているというレベルではない(東京都)。 |
| | | 百貨店(営業担当) | 販売量の動き | ・緊急事態宣言が発出されていた前年と比べると、来客数、売上共に大きく伸長している。特に、服飾雑貨や宝飾品、サービス関連などが伸びている。逆に、食料品では前年のようなグロッサリーや生鮮3品でのまとめ買いはなく、客単価が低下し、前年ペースで推移している(東京都)。 |
| | | 百貨店(販売促進担当) | 来客数の動き | ・9月末に緊急事態宣言が解除されてから、1月に新型コロナウイルス感染者数が増加するまでは横ばいである(東京都)。 |
| | | スーパー(販売担当) | お客様の様子 | ・客の様子を見ていると、広告初日の目玉商品やタイムサービスのお買い得品、あるいはポイント何倍の店舗、時間帯などを利用して、同じ物なら少しでも安く買おうという動きが相当見受けられる(東京都)。 |
| | | スーパー(経営者) | 単価の動き | ・悪い状態がずっと続いているので、3か月前とは変わらないものの、決して良くはない。単価の動きを選んだが、いろいろな価格が上がっているため1点単価は上がっているものの、反比例して買上点数が減っており、客単価はなかなか上がらない状況である。 |
| | | スーパー(店長) | それ以外 | ・気温の低い日が続いているため鍋つゆが売れているが、新型コロナウイルス禍を見据えてカップラーメンやレトルト食品、冷凍食品等の長期保存が可能な商材の動きも良くなってきている。 |
| | | スーパー(店長) | 単価の動き | ・売上、来客数は前年並みを維持しているものの、買上単価の上昇がみられない。日々必要最低限の食材しか購入していない上に、買い回りをしている様子もうかがえる(東京都)。 |
| | | スーパー(総務担当) | お客様の様子 | ・買物の動向に変化がない。 |
| | | コンビニ(経営者) | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置が適用され、家庭で飲食する人が増えることにより、若干来客数が増えつつあるが、厳しい状況に変わりはない。 |
| | | コンビニ(従業員) | 来客数の動き | ・少し良くなってきたように思えたが、まん延防止等重点措置の適用でイートインも使用中止になり、結果的には余り良い状況ではなくなっている。 |
| | | 家電量販店(経営企画担当) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス感染症の第6波に完全に突入する局面となっている状況下、前年も大きな波の中で前々年から大きく数字を落としていたが、それと比較すると、意外にも結果は前年を1.5%上回っている。テレビ、カメラ、冷蔵庫、洗濯機等の耐久消費財が好調で、前年を超えている。チャンネル別ではECが堅調で、店舗も首都圏で前年を超えている(東京都)。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------------------------|--------|---|
| | | 乗用車販売店 (経営者) | 販売量の動き | ・自動車の整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくない。前年度に比べて5割減少している。 |
| | | 乗用車販売店 (経営者) | 販売量の動き | ・新車の納期がいまだに短くならないので、受注量は減っていないものの、売上が伸び悩んでいる。 |
| | | 乗用車販売店 (営業担当) | 販売量の動き | ・前年同月と比較しても台数が伸びていない。 |
| | | 乗用車販売店 (販売担当) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響で新車の売行きが全体的に鈍っている。これは全世界における半導体の不足によるものである。車は出来上がっていても例えばナビができていないといった場合、ナビを装着した後でないと客に納車で引き渡せないで、販売台数が伸び悩んでいる。新型コロナウイルス禍が落ち着かないことには、今後も売上や景気は横ばいではないか(東京都)。 |
| | | 乗用車販売店 (渉外担当) | 販売量の動き | ・自動車の生産が正常化していないため、見通しが立たない。 |
| | | その他専門店 [貴金属](統括) | 販売量の動き | ・各地域にまん延防止等重点措置が適用されているが、販売量は以前と変わっていない(東京都)。 |
| | | その他小売[生鮮魚介卸売] (営業) | お客様の様子 | ・どの客も年末年始は例年になく悪かったと言っている。物価の高騰で利幅も取れず、苦しい状況が続いている(東京都)。 |
| | | 高級レストラン (役員) | 来客数の動き | ・緊急事態宣言が解除され、12月までは新型コロナウイルス感染者数も少なく横ばいだったので、来客数が増え、飲酒も可能になって単価も上がり、営業時間の制限もなく、売上は回復基調であったが、年明けの新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数急増に伴い、来客数が減り、在店時間の減少により売上も減少傾向にある。3か月前はちょうど緊急事態宣言解除前だったので、その頃に近づきつつある(東京都)。 |
| | | 一般レストラン (経営者) | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置が適用される前日夜の営業は倍以上の忙しさだったが、翌日から客足が半以下に減っている(東京都)。 |
| | | 一般レストラン (経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の影響で、3か月前と比べても良くないが、この新型コロナウイルスオミクロン株は感染しやすいということで、特に外出が鈍っている。 |
| | | 一般レストラン (経営者) | 販売量の動き | ・3か月前の10月1~28日までの前年比は、売上76.2%、来客数74.3%である。今月1月1~30日までの前年比は、売上99.4%、来客数100.4%である。前年は1月の売上が悪かったのもある(東京都)。 |
| | | 一般レストラン (経営者) | 単価の動き | ・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除されて好転してきたかと思ったが、再び新型コロナウイルスオミクロン株による影響が出始めている。 |
| | | 一般レストラン (経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、まん延防止等重点措置が適用され、飲食業は影響を受けて来客数が減少している。感染者数が減ってこない、景気回復は難しい。濃厚接触者が増えて、検査結果の判明まで時間が掛かり、またその感染隔離期間と感染者の療養期間も延長されるばかりで、営業しにくい店舗が増えている(東京都)。 |
| | | その他飲食[給食・レストラン] (役員) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス感染第6波の到来により、給食では企業内での規制が強化され、社内におけるパーティー需要が皆無である。通常期の7~8割の水準にまで戻っていた外食では、来客数が伸び悩んでいる(東京都)。 |
| | | 旅行代理店(従業員) | 販売量の動き | ・まん延防止等重点措置が適用され、一気に消費動向が下がり、前年比7割程度になっている(東京都)。 |
| | | 旅行代理店(営業担当) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、ツアーを設定できない(東京都)。 |
| | | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・今の新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によって、客の動きが大変悪くなっている。海外を見ると、1か月くらいでピークアウトしているようなので、ピークアウトに向かえばまた元に戻ってくると思うが、なかなか予想はできない(東京都)。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-----------------|--------|---|
| | | 通信会社（経営者） | お客様の様子 | ・1月の客からの問合せ件数は、前月比で戸建ては上昇傾向、集合住宅はほぼ横ばい、前年比ではほぼ同等となっている。新型コロナウイルスオミクロン株による影響で訪問拒否や営業キャンセルの発生が増加傾向ではあるものの、今のところ大きな影響はない（東京都）。 |
| | | 通信会社（経営者） | 販売量の動き | ・半導体不足が少しずつではあるものの改善され、機器を納品できるようになってきているが、以前の状態にはまだ戻っていない（東京都）。 |
| | | 通信会社（局長） | 販売量の動き | ・当社の新サービスの効果もあり、契約数が伸長してきてはいるが、やはり新型コロナウイルスの感染拡大で営業自体が縮小していくことで結果的には前月、前年と余り変わらない推移となっている（東京都）。 |
| | | 通信会社（営業担当） | お客様の様子 | ・新規加入、コース変更共に必要最低限の内容を選択する意識は相変わらず強い。 |
| | | 通信会社（経理担当） | 販売量の動き | ・新規契約の実績がある販売チャネルが減っており、全体の契約数が減少している。 |
| | | 通信会社（総務担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス感染急拡大の影響により、訪問営業等の機会が再度減少しており、新規契約獲得件数が伸び悩んでいる（東京都）。 |
| | | ゴルフ場（経営者） | お客様の様子 | ・入場者数を前年比でみると平年並みになっているので、変わらない。 |
| | | パチンコ店（経営者） | 来客数の動き | ・前年末まで落ち着きを見せていた新型コロナウイルス感染だが、感染第6波がじわりじわりと拡大し、ウィズコロナで少しずつ回復しかけてきた社会生活や経済活動にも、ここにきて影響を及ぼし始めている。踊り場状態である。 |
| | | 設計事務所（経営者） | お客様の様子 | ・現在抱えている案件は、今はまだ終わることなく継続中である。 |
| | | 設計事務所（所長） | お客様の様子 | ・1月ということと、新型コロナウイルスの影響も重なり、全くと言っていいほど動きがない（東京都）。 |
| | | 住宅販売会社（経営者） | 来客数の動き | ・当社は不動産ディベロッパー業と総合建設業である。当社が都内と関東近郊の保養地などに所有しているホテルの運営状態が非常に悪く、規定の賃料を受け取れていない。新型コロナウイルスの感染者数が大幅に増えているために、Go To Travelキャンペーンも延期になってしまい、このままでは当分不況が続く。また、住宅の売行きも良くない。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | 販売量の動き | ・今月の販売量は目標数字の約93%となったが、受注後に解約になるかもしれないとか、着工までいかないかもしれないという案件まで入れての数字であり、内容が非常に厳しい。3か月前と比べると販売量はそれほど変わらないが、内容が悪くなっている。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | 販売量の動き | ・3か月前と大きくは変わらない。土地の仕入れが厳しく在庫の確保が難しい。販売に関しても、客の動きはあるものの目線が厳しく、ぼつぼつと契約になる感じで、余り勢いが無い。 |
| | | その他住宅〔住宅資材〕（営業） | 販売量の動き | ・下期の建材需要期としては例年を上回る受注傾向が続いている（東京都）。 |
| | | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株による感染者数が激増していることから、商店街や駅周辺の人の流れが大変少なく、激減している。人が出てこないことには商売もなかなか思うようにいかない。 |
| | | 商店街（代表者） | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株がまん延しているので、良いとは絶対にはいえない。せっかく息を吹き返しつつあった飲食は直撃を食らっている。リベンジ消費で堅調だった飲食以外も、夜の客の引けが早く、クレジットカードの取扱高は飲食につられて下がっている（東京都）。 |
| | | 一般小売店〔和菓子〕（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によりまん延防止等重点措置が適用されてから、来客数が減少している。 |
| | | 一般小売店〔家電〕（経理担当） | 販売量の動き | ・故障のための購入はそこそこあるが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響か、来店客は少ない。新年の挨拶や、訪問活動もしにくい。 |
| | | 一般小売店〔酒類〕（経営者） | 来客数の動き | ・12月下旬頃から新型コロナウイルスの感染者数がまた増え始めて、客の動きが鈍ったように感じられる。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|----------------|--------|---|
| | | 一般小売店〔眼鏡〕(経営者) | 来客数の動き | ・正月以降、新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数が急増している影響で、1月中旬から来客数の減少が顕著である。 |
| | | 一般小売店〔傘〕(店長) | 来客数の動き | ・来客数が1けたの日が増えている。 |
| | | 百貨店(売場主任) | 来客数の動き | ・年末年始は好調に推移していた来客数も、新型コロナウイルスオミクロン株の急拡大により10%近くマイナスとなっている。まん延防止等重点措置が適用され、来客数も減るなか、客単価が上がる要素がバレンタイン商戦やクリアランス集客だけでは補い切れない(東京都)。 |
| | | 百貨店(総務担当) | 来客数の動き | ・1月から新型コロナウイルスオミクロン株による感染が拡大していることもあり、来客数が前月に比べて減少してきている(東京都)。 |
| | | 百貨店(営業担当) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大により、まん延防止等重点措置が適用され、外出を控える傾向が顕著になっている(東京都)。 |
| | | 百貨店(店長) | 来客数の動き | ・全館での来客数は、3~12月期において、前年比106%、前々年比124%で伸長を続けていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に伴い、1月中旬から伸長率に鈍化がみられている。 |
| | | 百貨店(財務担当) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により販売量が減少している(東京都)。 |
| | | 百貨店(管理担当) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大とともに、来客数、購入点数も減ってきている(東京都)。 |
| | | スーパー(営業担当) | 来客数の動き | ・こここのところ来客数の減少が続いている。さらに、買上単価も落ち込んできている。このダブルパンチが売上に大きく影響している(東京都)。 |
| | | スーパー(仕入担当) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数が急増していることから、来店頻度が減り、必要な物だけ購入するショートタイムのショッピングとなっており、来客数、客単価がダウンしている。 |
| | | スーパー(販売担当) | お客様の様子 | ・日用必需品の値上げ、ガソリン価格の高値安定、新型コロナウイルスの感染が拡大し、収束の見通しが立たないことなどから、客の購買動向にプラスの面が見つかからないので、景気の回復は見込めない。ただし、新型コロナウイルス感染時の備蓄案内が市のホームページに掲載されたため、関連する食料品、特に飲料水やレトルト食品等の長持ちする食材の動向は良くなっている。 |
| | | コンビニ(経営者) | 来客数の動き | ・売上が落ちている(東京都)。 |
| | | コンビニ(経営者) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの影響で来客数、売上共に3か月前と比べてマイナス10%の状況で、急激に悪化し始めている。 |
| | | コンビニ(経営者) | お客様の様子 | ・近所に土木関係の会社の借上げ住宅のようなものがあるが、そこに勤めている人たちが、仕事がなく帰ってしまっているのか、1人2人とだんだんいなくなり、当店の来客数が減っている。 |
| | | コンビニ(経営者) | 来客数の動き | ・やはりこれだけ新型コロナウイルスオミクロン株の感染者が出てしまい、東京でも1万人を超えるようになってしまうと、週末や夜にほとんど出歩かなくなるので、ショッピングセンターなどに入っている店舗はかなり厳しくなってきている。 |
| | | コンビニ(経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染再拡大により、外出する人が減っているため、来客数も減少している。 |
| | | コンビニ(商品開発担当) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、できる限り来店回数を減らす動きが起きている(東京都)。 |
| | | 衣料品専門店(店長) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス感染第6波により、来客数が減少し、対面販売の売上が減少している一方、ECサイト販売については好調が続いている。ただし、ECサイト販売も前年比123%にとどまっている状況で、全体の売上に対する影響を考えると、総じてやや悪いという判断になる(東京都)。 |
| | | 家電量販店(店長) | 来客数の動き | ・年明けの初売りは前年より売上が良かったが、成人式後は新型コロナウイルスオミクロン株が拡大してきたためか、来客数が大幅に減っている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-----------------------|--------|---|
| | | 家電量販店（店長） | お客様の様子 | ・全体的に必需品中心の需要となっており、趣味嗜好商材や娯楽向け商材の売行きが良くない。前年秋から比べると、街のにぎわいも落ち着きつつある（東京都）。 |
| | | 家電量販店（店員） | お客様の様子 | ・まん延防止等重点措置適用に伴い来客数が減少している。 |
| | | 乗用車販売店（総務担当） | それ以外 | ・半導体の影響により新車の出荷が遅れ、売上にならない。 |
| | | 住関連専門店（統括） | 来客数の動き | ・外出を自粛している人が結構増えているため、来客数が減少している。 |
| | | その他専門店【ドラッグストア】（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染再拡大により、全体の来客数が減っている。特に夜の来客数が激減している。 |
| | | その他専門店【ドラッグストア】（経営者） | 販売量の動き | ・余計な物は買わず、目的の物しか買っていかない客が多くなっている。 |
| | | その他小売【ショッピングセンター】（統括） | 来客数の動き | ・年末年始は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、客の動きも活発であったが、その後は感染拡大傾向が続いたため、長続きしなかった（東京都）。 |
| | | その他小売【ショッピングセンター】（統括） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染者数が急増しており、前年度終盤の勢いは失っている。ただし、前年同月よりは良い。新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数が激増しているものの、重症化率が低いということが消費者の心理に影響している。 |
| | | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・12月の暮れまではフリー客が大分来店していたが、年が明け、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大するとともに、その後入っていた宴会が全てキャンセルになり、200人以上のキャンセルが出ている。来客数もランチ、夜共にかなり減ってきている（東京都）。 |
| | | その他飲食【居酒屋】（経営者） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置が適用されたため、来客数が少なくなるのは必然である（東京都）。 |
| | | 都市型ホテル（スタッフ） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で東京都内、都内近郊を中心に来客数が減っている（東京都）。 |
| | | 旅行代理店（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染者数が大分少なくなってきたと思っていたが、また新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大しており、客がなかなか外に出ることができず、客足が遠のいてしまっているため、なかなか思うようにいかない。 |
| | | 旅行代理店（従業員） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、予約申込みがストップしている（東京都）。 |
| | | 通信会社（社員） | お客様の様子 | ・広告の引き合いが途絶えた印象を受けている。来年度の案件がストップしているが、様子見ではないか（東京都）。 |
| | | 通信会社（営業担当） | 販売量の動き | ・年明けから契約件数が目標とする数値を下回る日が続いている。新型コロナウイルス感染者数の増加により、一般家庭での消費意欲が減退している。 |
| | | 通信会社（管理担当） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で先行きが不透明である。余暇や趣味に時間とお金を掛けるモチベーションは依然として低迷している様子が見受けられる。度重なるまん延防止等重点措置の適用によって緊張感が薄れ、インターネットやテレビなど自宅での巣籠り消費については、思うような販売量に至っていない。 |
| | | 通信会社（経営企画担当） | お客様の様子 | ・年明け1月ということもあるが、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響が出てきているのか、商談数が減少している（東京都）。 |
| | | 通信会社（営業担当） | お客様の様子 | ・当社は対面型の営業が多いため、新型コロナウイルスの感染者数が増えているなかでは、営業活動自体が厳しくなっている（東京都）。 |
| | | 通信会社（局長） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあるため、やや悪くなっている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-----------------------------|--------|---|
| | | ゴルフ場（経理担当） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置の適用下にあるなかにおいても、コースの稼働率は季節的要因を加味しても悪い状況にはない。一方、新型コロナウイルス感染対策によりレストランは営業形態に制限を設けざるを得ないことから、稼働率、客単価共に著しく低迷している。まん延防止等重点措置と自粛要請だけでは新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数増加に歯止めを掛けることは難しい。巨額の経済損失を伴う行動制限が感染防止にどの程度の効果があるのか検証することなく、機械的に従前どおりの行動制限を繰り返しても感染拡大は回避できず、いたずらに経済損失が膨らむ状況に陥っているといわざるを得ない。 |
| | | 競輪場（職員） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの時代において、マーケティングの甘さが露見している。客を呼び込む地上戦よりインターネットの空中戦がメインになっている。足を運んで生で観戦する体験を重要視しているが、エンターテインメントの実施コストと観客数が合わず、苦戦している。 |
| | | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・周りの子供たちの新型コロナウイルス感染率が高まり、やや雰囲気が悪い。 |
| | | その他サービス [保険代理店] (経営者) | 販売量の動き | ・販売単価、販売量共に下落している。やはり新型コロナウイルス関連の影響が相当ある。 |
| | | 設計事務所（経営者） | お客様の様子 | ・現在の受注業務はほぼ完了に近づき、後続案件の相談はあるものの、スタート時期が見えない。4月以降にずれ込む公算が大きいので、しばらく厳しい状況が続く。 |
| | | 設計事務所（所長） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの影響が収まったと思ったら、また新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響で、仕事量が少なくなっている。 |
| | | 設計事務所（職員） | それ以外 | ・新型コロナウイルス禍による生産停滞、原油高、スタグフレーションの気配等、建設及び建築設計業界にもじわじわと悪影響が出てきている（東京都）。 |
| | | 住宅販売会社 (従業員) | 販売量の動き | ・1月は例年より良くないが、更に少し悪い気がする。 |
| | | その他住宅[住宅管理・リフォーム]（経営者） | お客様の様子 | ・仕事の性質上、相手方と数回会って話を進めなければならないが、新型コロナウイルスの影響によって、仕事相手と会うことが少なくなってしまったため、大きなマイナスとなっている。 |
| | × | 一般小売店[家具]（経営者） | 来客数の動き | ・1月はいつもそれほど忙しくない。家具業界では入学シーズンの商材として机があるが、やはり販売方法がいろいろと増えたためか、非常に客が少ない。ましてや、ここへきて新型コロナウイルスの影響もあるので、客がほとんど来ない（東京都）。 |
| | × | 一般小売店[食料雑貨]（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、人の流れが少なくなっている。 |
| | × | 一般小売店[米穀]（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染者数の増え方が異常であるため、人の動きが非常に鈍くなっている。人が動かないために売上も上がってこない（東京都）。 |
| | × | 百貨店（総務担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染再拡大により来客数が大きく減少し、売上に影響を与えている。 |
| | × | 百貨店（店長） | 来客数の動き | ・10月に緊急事態宣言が解除されて以降、ようやく人流も一定程度回復している。2年ぶりの秋物商戦や帰省マーケットに加え、イエナ力需要の継続の2階建てで、12月までは良かったが、1月2週目から大幅に客足が減少している（東京都）。 |
| | × | スーパー（経営者） | 単価の動き | ・商材の値上げが続いているが、客から値上げへの理解が得られず、売れない。 |
| | × | スーパー（ネット宅配担当） | 販売量の動き | ・今まで来客数減少を客単価で補うことで売上を作ることができていたが、客単価が低下したため、大幅に売上が減少している。 |
| | × | 衣料品専門店（役員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染者数の増加で、月半ばから入客が少なくなっている。まん延防止等重点措置の適用により、更に来客数が減っていく。 |
| | × | 衣料品専門店（従業員） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響があり、売上が悪いと感じている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------------------------------------|--------|--|
| | × | その他専門店 [雑貨] (営業 担当) | 来客数の動き | ・前年12月のV字回復から一転、新型コロナウイルス感染第6波の影響で、年明けから来客数が激減している。1月21日からのまん延防止等重点措置の適用から、客足が更に遠のいている(東京都)。 |
| | × | その他専門店 [ガソリンスタ ンド] (団体役 員) | 販売量の動き | ・原油高に伴う小売価格高騰により、販売量の低下、買い控えがみられる。燃料油価格激変緩和措置の発動によって価格が下がるとの消費者の誤解や値下げ要求もみられる(東京都)。 |
| | × | 高級レストラン (経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス新規感染者数が増加し始めた1月から予約の半数以上がキャンセルになり、来客数が激減し、ゼロの日もある。 |
| | × | 高級レストラン (営業担当) | 来客数の動き | ・年末から正月3日等に関しては、僅かながら回復の兆しが見えつつあったが、1月に入りまん延防止等重点措置適用の前後辺りから、一気に風向きが変わった。当月売上は28日の段階で前々年比31.7%となっている(東京都)。 |
| | × | 一般レストラン (経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスがまん延し、時短営業をしているので、客がほとんど来ない。夜9時閉店だが、客は全然といっていいほど来ない。そのため、売上が大体50~60%減少している。大変なことになりそうである。 |
| | × | 一般レストラン (経営者) | それ以外 | ・またしても県内にまん延防止等重点措置が出されており、常識で考えれば飲食店では酒も出さない方がよい。そうすると、夜の営業はほぼないに等しく、ランチの売上だけでは今後も含めて相当厳しいものになっていく。 |
| | × | 一般レストラン (経営者) | 来客数の動き | ・1月上旬は、東京都内の新型コロナウイルス感染者数がかかなり増えたが、その割には週末の夜もそれほど変わりなく客が来店してくれていた。やはりまん延防止等重点措置が適用されてからは、週末の予約も立て続けにキャンセルとなり、予約数がゼロとなってしまったので、また飲食店は厳しい状態になっている(東京都)。 |
| | × | その他飲食[カ フェ] (経営 者) | 来客数の動き | ・正月明けでお金がないことにプラスして、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大、まん延防止等重点措置適用の影響はかなり大きい(東京都)。 |
| | × | 都市型ホテル (経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染第6波による感染者急増でまん延防止等重点措置が適用されて以降、客の来館が減り、キャンセルが続出している。また前年と同じような繰り返して、もう限界を超えている。12月までは少し良くなったかと思っただ、お先真っ暗である。 |
| | × | 都市型ホテル (スタッフ) | 販売量の動き | ・前年10月の緊急事態宣言解除から年末年始までは企業単位の忘年会などの開催はほぼなくなったものの、レストランを中心に個人の会食や宿泊などの販売量はほぼ例年どおりまで回復していた。しかし、新型コロナウイルスの感染が拡大するに連れて、予約が激減し、売上も半減、一転して厳しい状況に陥っている。 |
| | × | 都市型ホテル (スタッフ) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に伴い、著しく稼働が落ちている。団体予約も相次いでキャンセルとなっている。 |
| | × | 旅行代理店(従 業員) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響で、ほぼ全ての案件がキャンセル若しくは延期となっている。 |
| | × | 旅行代理店(従 業員) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の流行で、Go To Travelキャンペーンの再開が延期され、まん延防止等重点措置の適用により旅行のキャンセルが増えている。間際での取消し発生すらキャンセル料も収受できない状況である(東京都)。 |
| | × | 旅行代理店(販 売促進担当) | 販売量の動き | ・やはり新型コロナウイルスオミクロン株の急激な拡大により国内旅行のキャンセルが相次いだので、今月は厳しい内容になっている。特に、個人の動きが悪くなっている。団体も同様ではあるが、そもそも今月は団体旅行が余りなかった。教育旅行については、まだまん延防止等重点措置の適用中なので実施している学校もあるが、それも厳しくなりつつある(東京都)。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-----------------------------|---------|------------------------------------|------------|---|
| | × | 旅行代理店（営業担当） | お客様の様子 | ・前年11～12月にかけて新型コロナウイルス感染が沈静化して、新年に向けて景気回復を大いに期待していたが、年末年始の人流増加が影響したのか、新型コロナウイルスオミクロン株が急激に感染拡大している。まん延防止等重点措置が適用されて以来、客足が止まり、旅行のキャンセルが相次いでいる。 |
| | × | タクシー運転手 | それ以外 | ・新型コロナウイルス変異株が収束に向かった1月前半は、やっと経済が動き出したかに見えた。タクシー利用者も増え始め、やれやれと思ったら、今度は新型コロナウイルスオミクロン株が流行し始め、一転して逆戻りし、月後半はまたどん底に落とされた感がある。タクシー利用客もがくっと減り、景気が悪くなっている。日本人は真面目に感染対策に反応するようだと感じている（東京都）。 |
| | × | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・今月は17日頃から昼間の利用も悪くなってきている。新型コロナウイルスオミクロン株の感染力が強く、驚いている。当然、外出が減ってきており、昼、夜共に利用が極端に少なくなっている。 |
| | × | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・残念ながら、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用とともに、それまで非常に動きが良くなっていたサラリーマンの動きが全く変わり、乗り込みが悪くなっている。加えて、一般客も急速に減り、売上に困っている（東京都）。 |
| | × | タクシー（団体役員） | 来客数の動き | ・年末から年始にかけては新型コロナウイルス感染者数が少なく順調であったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によって急に人流がなくなっている。 |
| | × | ゴルフ場（経営者） | 単価の動き | ・客単価の下落が進んでいると同時に、物価の上昇があいまって、利益の減少が予想される。 |
| | × | ゴルフ場（従業員） | それ以外 | ・新型コロナウイルス感染第6波が押し寄せてきているなか、出口が見えない戦いで、悪くなっているとしかいえない。 |
| | × | その他サービス [フィットネス クラブ]（マネージャー） | それ以外 | ・新型コロナウイルス感染症の影響がある（東京都）。 |
| | × | 設計事務所（経営者） | それ以外 | ・新型コロナウイルスの影響で、周りの経済はでたらしめになっている。新しい仕事はもちろん入ってこないし、こちらから新しい仕事に入っていくこともできない。国の入札の設計案件もほとんど良いものはないし、そういった案件を探し回ることすらできない。営業ができない。動くこともできない。何もできない状態ではないか。 |
| 企業 動向 関連 (南関東) | | 輸送業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・受注量が増加し、高単価で受注できている（東京都）。 |
| | | 通信業（広報担当） | 受注量や販売量の動き | ・今月は明らかに回復基調にある（東京都）。 |
| | | その他サービス業 [警備]（経営者） | 取引先の様子 | ・まん延防止等重点措置が適用されてから、新型コロナウイルス対策の警備の仕事が増えている。 |
| | | その他サービス業 [ソフト開発]（経営者） | 競争相手の様子 | ・空き要員の話もなく、どこも忙しいようである（東京都）。 |
| | | 出版・印刷・同 関連産業（経営者） | それ以外 | ・新型コロナウイルスの感染再拡大を受けてイベント等の印刷物が相次いでキャンセルされるなど、事業環境が悪化している。 |
| | | 出版・印刷・同 関連産業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・印鑑、ゴム印、名刺印刷などを行っている。店頭受けと法人納入の仕事がある。問屋への支払は、事前に見越して仕入れるのではないので販売量と直結しているが、通常13～15万円くらい支払うところ、今月は12万円ほどで余り変わらない。会社の設立関係は4件しかなかったが、これも例年並みで変わっていない（東京都）。 |
| | | プラスチック製品 製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・昨秋以降、新型コロナウイルスの感染状況が少し収まってからは受注量が増えつつあったが、ここに来て新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数が増えてきているので、動きが止まってしまい、ほとんど状況は変わらなくなっている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-----------------------|--------------|--|
| | | 金属製品製造業（経営者） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響が続いている現状で、国内外の設備関係の仕事が少なく、仕事量が減っている。設備補修等の仕事が続いているので、何とか仕事はしている。新規の客先開拓に力を入れているが、なかなか見つからない。 |
| | | 輸送用機械器具製造業（総務担当） | 取引先の様子 | ・自動車メーカーは海外での部品調達が安定しておらず、突如、稼働停止となることがある。 |
| | | 輸送業（経理担当） | それ以外 | ・新型コロナウイルスの感染拡大により先行きが不透明である。加えて、燃料価格の高騰による影響も懸念される。 |
| | | 輸送業（総務担当） | 取引先の様子 | ・繁忙期の物量が思っていた以上に増えないことと、燃料の高騰により、収益が伸びてこない。 |
| | | 通信業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・事業部によって、新型コロナウイルスの影響が良い方に動いているところと、悪い方に動いているところがある（東京都）。 |
| | | 金融業（役員） | 取引先の様子 | ・12月まではやや上向きの局面だったが、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けてまん延防止等重点措置が適用され、不透明な状況である。 |
| | | 不動産業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・宿泊需要が回復しつつあったが、新型コロナウイルスオミクロン株の流行でまた逆戻りしている（東京都）。 |
| | | 広告代理店（経営者） | 取引先の様子 | ・総体的に不動産、建築などは順調に見える（東京都）。 |
| | | 広告代理店（従業員） | 受注価格や販売価格の動き | ・新型コロナウイルス禍の影響がまだ響いており、業務量が増えていかない。 |
| | | 税理士 | それ以外 | ・夜10～11時過ぎに近隣駅の商店街にある飲食店をのぞくが、新型コロナウイルスの影響もあるのだろうが、客が少ない。中には、若い人たちがマスクも付けず、ソーシャルディスタンスも取らずに笑いながら飲んでいる店もあり、どうなっているのかと思うこともある（東京都）。 |
| | | 社会保険労務士 | 取引先の様子 | ・助成金や補助金を使いたい会社が多く見受けられる（東京都）。 |
| | | 経営コンサルタント | 取引先の様子 | ・中小企業の機械加工、金属加工業については明暗の差が大きい。新型コロナウイルスの影響で部品の入荷が滞った業種については大きく受注が減っているが、そうでない業種では回復傾向である。自動車関連は戻ってきているが、増産でかえって大変である。半導体関連は厳しい（東京都）。 |
| | | その他サービス業〔映像制作〕（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・今年度予算の範囲内で、図書館などからの受注は若干増えているが、このところの新型コロナウイルスの急速な感染再拡大によって、また撮影などの仕事が滞っている状態である（東京都）。 |
| | | その他サービス業〔情報サービス〕（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・年度末に向かって、若干ではあるが、受注量が増えてきている。 |
| | | 食料品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・今月初旬は良かったが、まん延防止等重点措置が適用されてから人出が止まり、来客数が3か月前より減少している。また、新年会の注文が全てキャンセルになっている。 |
| | | 出版・印刷・同関連産業（所長） | 取引先の様子 | ・年明け早々から、新型コロナウイルス感染第6波の影響で、イベント関連等の印刷物が中止になり、急激に動きがストップしている。 |
| | | 化学工業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・例年この時期は非需要期となる。3か月前は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、需要の回復が期待できたが、実需が本格的に回復する前に今のような状態になってしまった。 |
| | | プラスチック製品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響で壊滅状態にある口紅容器の受注に回復のめどが立たないことと、前年末から回復傾向にあった医療品容器の受注が、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、先行き不安定な状況にある。 |
| | | 一般機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・先行きが不安定な取引先が多く、廃業を決断する取引先も出てきている。 |
| | | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・やはり新型コロナウイルスの影響があり、今一つ思い切ったビジネスができない。年度末が近いというのに動きが鈍く感じられる（東京都）。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|------|---------|-------------------------|--------------|--|
| | | 精密機械器具製造業（経営者） | 取引先の様子 | ・今月上旬から半導体や部品がなく、生産調整が始まっている。さらに、新型コロナウイルスの影響で、従業員確保のための休業調整が始まり、急激に減速している。 |
| | | その他製造業〔靴〕（経営者） | 取引先の様子 | ・当社の得意先は京都にあり、フリー客と常連客がいるが、とにかく大変な企業努力によって仕事を作り出しており、そのお陰で何とかやっている。 |
| | | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・見積案件がほぼなくなってきている。引き合い物件の話もなく、新築案件では引き合いがほぼなくなりつつある。 |
| | | 輸送業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・例年1～2月は取扱量が減少する時期ではあるが、前年を下回る状況にあり、燃料価格の高騰、高止まりの影響も大きく、厳しい年明けとなっている（東京都）。 |
| | | 金融業（従業員） | 取引先の様子 | ・建設業では、話はあるが受注や工事着手が先延ばしになったりしている。また、全業種にいえることだが、原材料の高騰により利益率が相当に低下している。 |
| | | 金融業（総務担当） | 取引先の様子 | ・取引先の様子だが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数増加に伴い、まん延防止等重点措置が適用され、一時は持ち直してきた飲食業も、再び売上縮小に転じている。運送業は燃料高騰で利益が圧迫されている。新型コロナウイルスの影響で住宅機器設備等、半導体関係部品が不足しており、建売業者や機器販売業者も軒並み売上が減少している。最近の巣籠り需要で住宅の販売も好調だったが、資材不足で工期が遅れている。全体としてはまん延防止等重点措置による影響がかなり出ている（東京都）。 |
| | | 不動産業（総務担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、テナントが出勤率を抑えたため、ビル内の人口が減少し、飲食、物販店舗の売上が落ち込んでいる。オフィスが休みになる土日は臨時休業する店舗が増えている（東京都）。 |
| | | 広告代理店（従業員） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株によるといわれている感染急拡大の影響が出始めている。取引先が再び当社への発注に際し慎重な姿勢に転じ、受注の鈍化、見合せ、延期等、案件の先送りが発生しつつある（東京都）。 |
| | | 経営コンサルタント | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスのまん延により、取引先で予約キャンセル、延期などの影響が出ている。 |
| | | その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルス感染症の影響から、工業系製造業工場等の取引先の稼働率が下がっており、受注、売上共に前年同期以上に減少している。 |
| | | その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・受注量は変わらないが、人手不足の影響で作業員の募集単価が上がっている分、利益を圧迫している（東京都）。 |
| | × | 出版・印刷・同関連産業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・例年1～2月は受注量が少ない（東京都）。 |
| | × | 建設業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・まん延防止等重点措置の適用により経済活動が停滞している。 |
| | × | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・設備投資をしにくい環境であり、価格競争も激しい。さらに、原材料も高騰している。 |
| | × | 不動産業（経営者） | 競争相手の様子 | ・年末年始が過ぎてから、新型コロナウイルスオミクロン株の動向が気になっていたが、月半ばから急に増え始めた。感染者数の増加に比例してインターネットの反響、特に店頭に来店客が少なくなっている。ワンルームが特に悪く、駅4分の鉄骨鉄筋コンクリート造り、礼金、敷金0円、1か月フリーレント、6か月4000円引きAD100%のチラシが出ているが、オーナーは大変である（東京都）。 |
| | × | 税理士 | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により状況が急激に悪化している。新型コロナウイルス変異株が収束し、やっと景気も回復するかと期待していた矢先で、失意が大きい。新型コロナウイルスオミクロン株が収束するのを待つしかない。 |
| 雇用関連 | | 人材派遣会社（営業担当） | 求人数の動き | ・求人数は前月比、前年比で大幅に増加している（東京都）。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-------|------------------|------------------|---|---|
| (南関東) | | 人材派遣会社 (営業担当) | 周辺企業の様子 | ・製造業からのエンジニア派遣ニーズが高まってきている。 |
| | | 人材派遣会社 (社員) | 求人数の動き | ・求人数は3か月前比で100%、前年同月比で約90%となっている。業界により景況感がはっきりしているが、人材紹介においては前年同月比で2けたの増加となっている(東京都)。 |
| | | 人材派遣会社 (社員) | 求人数の動き | ・各地の大型倉庫の竣工が控えており、入居企業からの問合せ、受注をもらえている。10万円給付事務の入札や、3回目の新型コロナウイルスワクチン接種のための予約受付、注射針の入出庫業務など、新型コロナウイルス関連の需要も堅調である。 |
| | | 人材派遣会社 (経理担当) | それ以外 | ・求人件数、求職者数はここ数か月大きな変動はなく、若干増加傾向にある。新型コロナウイルスの影響で求人数が減少している一方、派遣社員からの契約終了申出数も減少しているため、全体的に派遣労働者数は微増である(東京都)。 |
| | | 求人情報誌制作会社(営業) | 求人数の動き | ・求人数は前年よりも良くなっている。新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数が急増しているが、軽症で済んでいることとワクチン接種の効果により、今までよりも消費活動が活発なのではないか。求人数はやや右肩上がりである。 |
| | | 求人情報誌制作会社(広報担当) | 採用者数の動き | ・周辺企業、同業他社共に中途採用を積極的に行っているが、なかなか採用できずに困っている企業が多い。また、離職者も多く、人材の流動化を感じる(東京都)。 |
| | | 新聞社[求人広告](担当者) | 求人数の動き | ・ほんの少し、微々たる程度であるが、良くなっている。 |
| | | 職業安定所(職員) | 採用者数の動き | ・有効求職者数の高止まりが続いているが、直近2か月の求人数が前年比でプラスに改善、就職者数も増加に転じ、雇用情勢は上向いている。 |
| | | 職業安定所(職員) | 求人数の動き | ・求人数はサービス、飲食を中心に増加傾向となっている。また、情報通信も堅調である。新型コロナウイルスの影響による採用控えの反動で正社員の求人数が増加しているが、充足はしていない。求職者の判断が慎重になっているとも考えられる(東京都)。 |
| | | 民間職業紹介機関(経営者) | 採用者数の動き | ・IT系企業を中心に、前年より内々定が早く出されているようである(東京都)。 |
| | | 人材派遣会社 (社員) | 求人数の動き | ・年末の繁忙期と比較しても、求人依頼数は減っていない。 |
| | | 人材派遣会社 (社員) | それ以外 | ・会社の業績に変化はなく、新型コロナウイルスの影響で周囲の消費動向も数か月前と変わらない(東京都)。 |
| | | 人材派遣会社 (社員) | それ以外 | ・新型コロナウイルス感染第6波による特需があり、労働人口減少フェーズにおける衰退が相殺されている(東京都)。 |
| | | 人材派遣会社 (支店長) | それ以外 | ・派遣依頼数は堅調だが、派遣スタッフの人手不足感があるため、依頼数に比例した成約数にはならない(東京都)。 |
| | | 人材派遣会社 (営業担当) | 求人数の動き | ・まん延防止等重点措置が適用され、年末に回復基調だった求人数が横ばいになっている。今後、緊急事態宣言再発出に至るまで新型コロナウイルスの感染状況が悪化すると、一時的に悪くなる可能性もあるのではないか。 |
| | | 民間職業紹介機関(経営者) | 求職者数の動き | ・短期的な採用計画がみられる。現在は求職者数が増えているが、目指す求人が少なく、採用数の減少がみられる(東京都)。 |
| | 学校[大学] (就職担当) | 周辺企業の様子 | ・年末から正月にかけて人の動きが増え、一時的に良くなったが、新型コロナウイルスの感染再拡大によりまた落ち込んでいる(東京都)。 | |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|---------------|---------|---|
| | x | 求人情報誌製作会社（所長） | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、クラスターなどが発生し、突然募集がなくなったり、人材の募集自体が必要なくなったりと、経済に少し陰りが見えてきている。 |

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-----------------------------|-----------|-----------------------|---|--|
| 家計 動向 関連 (甲信越) | | 遊園地（職員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の流行によって、新規感染者数が増加傾向にあり、1月にまん延防止等重点措置が適用されたこともあり、外出控えが加速し、現在は集客が減少している。 |
| | | その他サービス [葬祭業]（経営者） | お客様の様子 | ・今月は仏壇の処分やお骨の永代供養墓への依頼が多い。 |
| | | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者が増えることで、食品需要が高まってくる。 |
| | | スーパー（経営者） | 来客数の動き | ・正月2日までは競合店も休みが多く、好調であった。中旬は前年豪雪の上振れによる反動減があったため、月間で見れば前年並みとなっている。 |
| | | コンビニ（経営者） | 販売量の動き | ・来店する人数は減っているが、買上点数が多くなっているため、売上的にはそれほど変わりはない。 |
| | | コンビニ（店長） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの影響で、今月中旬辺りから客の様子が変わってきている。前回の感染拡大時にもあったが、売上のピーク時間帯が大分変わってきている。全体的には経営は難しい状況にある。 |
| | | 家電量販店（店長） | 来客数の動き | ・前年は大雪のため来客数が減少していたが、今年も同様の推移となっている。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | 販売量の動き | ・新車の供給不足が深刻で、販売台数が伸びない。受注残はたまっているものの、キャンセルの懸念がある。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | 来客数の動き | ・1月中旬までは、車検や一般整備の入庫も多く、低価格帯ではあるものの、中古車の売行きも良かった。しかし、その後、新型コロナウイルスの感染が急拡大し、客足が鈍る傾向に転じてしまっている。 |
| | | スナック（経営者） | お客様の様子 | ・客の様子と回答したが、新型コロナウイルスのせいなのか、客が動いている様子がない。本当に困っている。 |
| | | 通信会社（経営者） | お客様の様子 | ・高齢者の単身世帯で保留や解約が増加しつつある。 |
| | | 通信会社（社員） | 販売量の動き | ・サービスによって契約数の増減がはっきりしている。新型コロナウイルスの影響かどうかは不明だが、客が必要最低限のコストで抑えたいということだと思われる。 |
| | | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・1月は毎年、新学期の関係で年が明ければかなり動いたが、正月明けから新型コロナウイルスの感染が急拡大し、スポーツ用品店なので関係ないと思っていたが、客が本当に出なくなって街が閑散としてしまい、いろいろと影響が出ている。 |
| | | 一般小売店[家電]（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、人の動きと共に商材の動きも鈍くなっている。消費意欲をそそる商材もないため、厳しい状況は続いている。 |
| | | 一般小売店[家電]（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株が落ち着くまでは、客の動きが非常に悪いと感じている。 |
| | | スーパー（経営者） | 来客数の動き | ・前年比で売上は11%減、来客数は8%減となっている。新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、高校や大学も休校、分散登校となっており、来客数は減少している。1月27日から2月20日まで、まん延防止等重点措置が適用され、飲食店の営業時間は夜9時までだが、補償も出る。周辺のイベントが再びなくなり、当店はかなり厳しい。従業員の勤務日を週6日から3日に減らして1日2名体制にし、更に数名の勤務時間を減らしてもらい、何とか経営を続けていきたい。 |
| | コンビニ（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの影響で来客数が減っている。また、寒さの影響もあって、販売の動きが非常に悪い。 | |
| | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置適用のためか、来客数が減少している。ただし、客単価は上昇している。 | |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|------------------|--------|--|
| | | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの再流行に伴う、来客数減少でやや悪くなっている。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | 来客数の動き | ・人が出てこない。 |
| | | 自動車備品販売店（従業員） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス新規感染者数が再び増加していることに伴い、外出や遠出を控える傾向にあり、来客数が減ってきている。 |
| | | 都市型ホテル（スタッフ） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、急激に落ち込んでいる。年末くらいから悪くなってきたが、感染の急拡大やまん延防止等重点措置の適用により、ほとんどの電話がキャンセル連絡になり、先の予約での連絡はほぼない。フリー客もほとんどなく、まだ回復途中だった3か月前よりも悪くなり始めている。 |
| | | 旅行代理店（副支店長） | お客様の様子 | ・客の動きが活発になり、旅行需要も増加していたが、新型コロナウイルスの感染急拡大により、客足が止まってしまっている。加えて、燃料価格の高騰や物価上昇もあり、消費意欲が薄れている。人流を止めることにより消費も抑えられている。 |
| | | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスが、また、まん延してきている。1月10日以降、段々と悪くなっている。 |
| | | 観光名所（職員） | 販売量の動き | ・県独自の新型コロナウイルス警戒レベルが最高に達したため、飲食店は休業が目立っている。年末年始はにぎわっていた近隣のスキー場や宿泊施設も、その後、クラスターが発生して、たちまち感染が広まってしまっている。 |
| | | ゴルフ場（経営者） | それ以外 | ・当ゴルフ場は冬季クローズ期間中だが、新型コロナウイルスオミクロン株のまん延で、街の飲食、宿泊、観光業からはため息が聞こえてくる。 |
| | | 設計事務所（経営者） | お客様の様子 | ・建設資材の値上がりによって建設コストが上昇し、計画が先送りや中止となっている。 |
| | | 設計事務所（経営者） | 来客数の動き | ・新規の依頼は減っており、計画物件も少ない。 |
| | × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・やっと落ち着いたと思った新型コロナウイルスだが、再び感染者数が増加して、客足が途絶えてしまい、開店休業状態が続く。よほどのことがない限り、来客はない。 |
| | × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・年始の出だしは良かったものの、成人の日の3連休以降、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大とともに、来客者が激減している。さらに、まん延防止等重点措置の適用以降は、開店休業状態である。 |
| | × | その他専門店 [酒]（店長） | 販売量の動き | ・緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用はされていないが、すぐ近くで、新型コロナウイルスの感染の話聞くようになり、我々も、本当に紙一重のところにあると思っている。客も飲食店もだが、非常に厳しい状況に入ってきている。 |
| | × | 高級レストラン（経営者） | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染急拡大による予約キャンセルや客足の減少と、まん延防止等重点措置も始まり、先の見えない不景気になっている。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | それ以外 | ・ついに当県も、まん延防止等重点措置の対象県となり、一層客足が止まっている。 |
| | × | スナック（経営者） | 来客数の動き | ・10～11月はかなり上向いてた。12月から落ち込み始めて、忘年会も全然入らず、今がどん底である。時短の協力金を出してもらっていけば生きてはいけるが、先の見通しが立たないのが辛い。 |
| | × | 観光型旅館（経営者） | 販売量の動き | ・12月までは新型コロナウイルスの影響で、団体は動かなかったが、家族や夫婦で旅行する客がいて、例年の7割ぐらいにまで回復していた。しかし、1月に新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が発生し、当県にもまん延防止等重点措置が適用され、とうとう個人の客も週末だけ、しかも数組のわずかな人数になってしまっている。 |
| | × | 都市型ホテル（スタッフ） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の拡大により、1月の3連休が終わった後の1週間で、1～3月の新年会、歓送迎会、謝恩会等、70件の宴会キャンセルが出ている。金額にすると6000万円が吹っ飛んでいる。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-----------------|---------|------------------------------|--------------|---|
| | x | その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者) | 来客数の動き | ・今月前半は正月休みで、新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いていたこともあり、好調に推移していた。中旬から下旬にかけては、今までは比較にならない感染状況に陥り、当県はまん延防止等重点措置の対象地域にはなっていないが、次々と対象地域が広がり、また以前のようにになってしまうのかと心配している。少しずつ戻ってきた団体予約もすべてキャンセルになっている。 |
| | x | その他サービス [貸切バス] (経営者) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株によって、更に感染が拡大したため、全ての仕事がキャンセルになっている。 |
| | x | その他サービス [クリーニング] (経営者) | 来客数の動き | ・当地は観光地のため、新型コロナウイルスの感染拡大で全体的に疲弊している。 |
| 企業動向関連 (甲信越) | | - | - | - |
| | | * | * | * |
| | | 食料品製造業 (総務担当) | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてきたと思っていたら、新型コロナウイルスオミクロン株が出てきて、今後の動向が見えない。 |
| | | 窯業・土石製品製造業 (経営者) | 受注量や販売量の動き | ・引き続き、新型コロナウイルスの影響が過大で、商材受注やワークショップの予約等も低迷している。 |
| | | 金融業 (経営企画担当) | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が日本各地で広がってきており、緊急事態宣言のような経済を止めるまでの動きはないものの、景気自体は停滞若しくはやや悪い方向に向かっている。 |
| | | 新聞販売店 [広告] (総務担当) | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、少し動きが鈍ってきている感じはするものの、まだ数字には表れてきていない。 |
| | | 電気機械器具製造業 (経営者) | それ以外 | ・受注案件はあるものの、電子部品の入荷遅れによって納期が先送りとなっている物が多々ある。 |
| | | 建設業 (経営者) | 受注価格や販売価格の動き | ・資材価格の高騰や納入の不安定化、また、冬期という季節的な要因もあり、やや悪くなっている。 |
| | | 金融業 (調査担当) | 取引先の様子 | ・製造業は、生産用機械や電子部品デバイスが好調な一方、原材料価格の上昇で景況感はやや悪化している。非製造業は、新型コロナウイルスの感染再拡大で、観光関連を中心に景況感が悪化している。 |
| | x | 食料品製造業 (製造担当) | それ以外 | ・原材料価格が再び高騰してきている。また、その他資材価格も次から次へと値上げ要請が始まり、それを受け入れているが、当社も値上げしなくてはならない状況になりつつある。 |
| | x | 食料品製造業 (営業統括) | 受注量や販売量の動き | ・やっと出荷が上向きに転じた途端に、新型コロナウイルスオミクロン株が急拡大したために、酒販店及び業務店からの受注が急激に落ち込んでいる。また、工場見学者も激減している。 |
| | x | その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者) | 受注量や販売量の動き | ・正月明け、新型コロナウイルスオミクロン株の感染者が増えてきたが、12～15日に行われた大型展示会は来場者も前年の倍という活況であった。前年暮れの売上が好調で、在庫も減少したことから、今春の商戦へ向けて、新作を求める客でにぎわった。展示会売上は前年比200%で、今月の売上も前年を30%ほど上回っている。 |
| 雇用関連 (甲信越) | | - | - | - |
| | | 職業安定所 (職員) | 周辺企業の様子 | ・人が増えてきている。 |
| | | 人材派遣会社 (営業担当) | 雇用形態の様子 | ・給与条件は変わらないものの、スキル等のハードルが上がっているため、折り合わないケースが多い。企業も求職者も互いにハードルを下げないと、採用には至らないと思う。 |
| | | 職業安定所 (職員) | 周辺企業の様子 | ・12月まで回復基調にあった飲食店、美術館、スーパー銭湯等のサービス業にヒアリングしたところ、1月に入って新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大し始めてから、急激に客足が落ちてきたとの回答が寄せられている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------|-------|----------------|
| | x | - | - | - |

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|---------|--------------------|--------|--|
| 家計 動向 関連 (東海) | | - | - | - |
| | | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株が流行しており少し用心しているが、しばらくすれば落ち着きそうである。 |
| | | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・例年、年末年始が明けて1月は一番消費が落ち込む月だが、第6波の影響で、1人当たりの買上点数は増えていないものの、平日の日中や週末の来客数が増加したことにより売上増加につながっている。 |
| | | スーパー（販売担当） | 販売量の動き | ・スーパーの食品ギフトコーナーは、年末年始は前年の3割増加であった。年明けの福袋も前年を超えた。必要な商品の購入意欲は高いと思われる。 |
| | | スーパー（販売担当） | お客様の様子 | ・まん延防止等重点措置により、内食がまた進んでいる。催事コーナーに最近並べた198円のカップラーメンの売行きが良い。3個買うとお買い得になるので、3個買いが多い。 |
| | | コンビニ（店長） | 来客数の動き | ・前年比で来客数、客単価共に上昇した。アルコール類や総菜、冷凍食品の販売が好調なのが大きいがプレミアム付商品券が1日に5000円程度使用され、貢献は小さくなかった。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | 来客数の動き | ・土木建築関係の仕事で必要な消耗品を購入する客が増えている。ただし、車関係のように業種によっては厳しい状況である。 |
| | | 衣料品専門店（売場担当） | 販売量の動き | ・1月は来客数がかかなり多く、予算は100%を達成した。ただし、競合他社では少し低かったという話を耳にしている。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | 来客数の動き | ・今月前半から中旬にかけては新型コロナウイルス感染もまだ落ち着いていたので、来店も多く成約に結び付いた。 |
| | | 乗用車販売店（営業担当） | 販売量の動き | ・予想どおり年末年始を過ぎてから新型コロナウイルス新規感染者数は急激に増えているものの、来店客の反応は悪くない。コロナ禍になって長い時間がたち、新型コロナウイルスオミクロン株は重症化リスクが低いことで危機感も薄れてきていることが理由であると思う。商談数も増え、納期の掛かる商品でも商談がまとまる。 |
| | | 通信会社（サービス担当） | 販売量の動き | ・引っ越しに伴う新規契約の増加と、在宅ワークによるネット回線の申込みが増加している。 |
| | | 理容室（経営者） | お客様の様子 | ・客が余りあちこち出歩かなくなって定着している。 |
| | | 商店街（代表者） | 販売量の動き | ・年末年始は好調で販売量が80%くらいは戻っていたが、年明けに新規感染者数が増えまん延防止等重点措置が適用されてから、来客数がかぐんと落ちて元の販売量に戻った。 |
| | | 一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大が大変なことになっているが、もうコロナ禍には慣れてしまった。 |
| | | 一般小売店〔結納品〕（経営者） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響で客が来店しない。 |
| | | 一般小売店〔生花〕（経営者） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス感染を怖がる客は特に高齢者に多く、やはり売行きは鈍い。特に高価な洋花を廃棄することが増えた。ギフト需要も、人に会うことが少なくなったのか最近はやや少ない。 |
| | | 一般小売店〔生活用品〕（販売担当） | 販売量の動き | ・年末年始は久しぶりに浮き足立った雰囲気があったが、長続きせずすっきり落ちてしまった。 |
| | | 一般小売店〔書店〕（営業担当） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染再拡大で売り込みが難しくなっている。 |
| | | 百貨店（売場主任） | お客様の様子 | ・来客数は、年明けのクリアランスセールではまずまずであったが、3連休が終わった後はがたっと減った。通りすがりに見ていくだけの客が多いため、販売には結び付いていない。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-----------------|---------|--|
| | | 百貨店（営業担当） | 来客数の動き | ・年末～1月中旬は、来客数が前々年に届かないまでも大幅に前年を上回り、それに伴い売上も好調に推移してきた。しかし、新型コロナウイルスの影響によりまん延防止等重点措置が適用される状況に逆戻りして、下旬からは前年実績を下回るようになった。 |
| | | スーパー（経営者） | 販売量の動き | ・12月中旬より回復傾向にあったが、新型コロナウイルス感染の再拡大により激減している。 |
| | | スーパー（販売担当） | 来客数の動き | ・週末は変わらないが平日の来客数がぐっと少なくなっている。 |
| | | スーパー（営業企画） | お客様の様子 | ・来客数、客単価共に大きな動きはない。第6波の感染拡大傾向はあるが、コロナ禍での生活スタイルも定着してきているようで、大きく消費行動を変えるまでには至らない。 |
| | | コンビニ（企画担当） | 販売量の動き | ・まん延防止等重点措置が適用されたが、急激な変化は感じられない。売上の前年比も、前月と同程度で推移している。 |
| | | コンビニ（店長） | 来客数の動き | ・売上、来客数共に前年比で多少上向きではあるが、新型コロナウイルスの感染状況次第で増減があるため、はっきり増加傾向とはいえない。 |
| | | 衣料品専門店（売場担当） | お客様の様子 | ・行動規制が緩和されて一時期は客の消費も回復傾向にあったが、その後は思うような回復には至っておらず、3か月前と大きな変化はない。 |
| | | 衣料品専門店（販売企画担当） | 競争相手の様子 | ・同業者で景気が良いと言っている会社はゼロである。アパレル関連は、展示会、受注、店頭販売の全てにおいて景気が悪い状況である。 |
| | | 家電量販店（店員） | 販売量の動き | ・テレビは経年劣化の買換え需要で台数が伸び、単価も伸びている。一方、エアコンやパソコンには前年の勢いがなく、全体としては大きな変化はない。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | 来客数の動き | ・来客数が減っている。客との会話でも、近所にも新型コロナウイルス新規感染者数が増えて外出がおっくうになるという話が多い。ガソリン代の高騰もあり外出が少ないことから、来客数が減ることが考えられる。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | 販売量の動き | ・新車の受注状況は悪くないが、納車時期が後ずれしており年度末の業績が読めない。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・新車の販売に関しては、納期が掛かるため自社客で早めの乗換えが進んでおり順調である。しかし、新型コロナウイルスのまん延で納期が大幅に遅れており、販売時でもおおよその納期でしか伝えられず、納期が更に延びていくため、販売しても迷惑をかけてしまっている。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | お客様の様子 | ・問合せもぼちぼちあって、客からはそろそろ金を使ってアクティブになりたいという気持ちを感じられ、今月は動きが割と良かった。 |
| | | 住関連専門店（営業担当） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の拡大で、一旦リフォームや改修工事なども出始めたもののまた様子見の状態に入り、新築工事と共にやや弱気な状況が続いている。 |
| | | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・1月になって再び、新型コロナウイルスオミクロン株の影響が現れてきた。 |
| | | その他飲食〔仕出し〕（経営者） | お客様の様子 | ・中途半端なまん延防止等重点措置を出されると、微妙に警戒感がありどっちつかずの動向になる。 |
| | | 都市型ホテル（経営者） | 単価の動き | ・一棟借りの客があり助かっている。 |
| | | 旅行代理店（営業担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株による第6波の急激な感染拡大によって、大量の旅行取消しと申込みの激減、これから1～2か月後のスポーツ大会の計画中止など、新型コロナウイルス変異株による第5波に続いて、旅行需要は壊滅的な状況に追い込まれている。 |
| | | 旅行代理店（営業担当） | お客様の様子 | ・終息に向かうかと思われた前年末には団体旅行を計画する数件の動きがあったが、年が明けたら全て見送りとなった。 |
| | | 通信会社（営業担当） | 販売量の動き | ・3か月前と同じで現状維持が続いている。 |
| | | 観光名所（案内係） | 来客数の動き | ・どの店も客が減っている。 |
| | | ゴルフ場（支配人） | 来客数の動き | ・今月の入場者数はほぼ予算どおりで前年を大きく上回った。ここ3か月の入場者数は、年末の積雪による減少を除き順調に推移している。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|----------------------|--------|---|
| | | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの影響で、休業とまではいっていないが客も来店を控えているため、やはり暇である。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | 販売量の動き | ・コロナ禍の大幅な新規感染者数の増加で、横ばいは変わらない。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | 販売量の動き | ・販売としては横ばいであった。 |
| | | その他住宅〔室内装飾業〕（従業員） | 販売量の動き | ・今月は企業のとまったトイレ改装工事を受注したので、件数は少なくとも売上金額は平月の2倍となっている。 |
| | | その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業） | 販売量の動き | ・繁忙期に入っているのが3か月前よりは動きがあるが、まん延防止等重点措置に入ってしまったため、例年よりはやはり悪い状況である。 |
| | | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・まん延防止等重点措置が適用されてから人の流れや来客が減った。年始辺りは人出も増えてきていたが、1月中～下旬にかけては、どこへ行っても比較的すいている印象を受ける。 |
| | | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・まさしく新型コロナウイルスオミクロン株で右往左往した。3連休の前後で、商店街への客の来店が全く変わった。 |
| | | 一般小売店〔土産〕（経営者） | 来客数の動き | ・今月中旬からワクチン未接種の低年齢層での新型コロナウイルスオミクロン株新規感染者数が激増し、この地域もまん延防止等重点措置の適用となった。目に見えて観光客が激減している。幼保園、学校、寮や家庭内で感染が広がって、収束のめどはいつのことやら。自分の命を自分で守る人が増えないと、経済の停滞が続く。 |
| | | 一般小売店〔贈答品〕（経営者） | お客様の様子 | ・1月は新型コロナウイルスの新規感染が日に日に拡大し、客の付き合いが段々と減ってきたのが目に見えて分かった。せっかく3か月前から年末にかけて結婚式、イベント等が再開されるようになったのが、1月になって急にストップし始めキャンセルが多くなった。したがって、贈答品、記念品、イベントに関するいろいろな売上がキャンセルされたり縮小されて、悪かった。 |
| | | 百貨店（総務担当） | お客様の様子 | ・バレンタイン催事は想定以上の入店状況であるものの、新型コロナウイルスオミクロン株感染拡大により、これまで好調であった時計、宝飾や海外特選ブランドなど株高による資産効果はく離し、売上が厳しい状況である。全体的にも、なかなか回復基調に至っていない。 |
| | | 百貨店（販売担当） | 来客数の動き | ・初売りなどで1月初旬は来客数も伸びており、高単価商品も稼働していた。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株の流行で日に日に減少し、テナントビルのイベントが始まっても来客は伸びず、感染拡大により状況は厳しい。 |
| | | 百貨店（業績管理担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス新規感染者数が増加しまん延防止等重点措置が適用されたことで、来客数、売上共に減少傾向にある。 |
| | | 百貨店（計画担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス新規感染者数の急増の影響が大きく、来客数も急激に減少しており、買上意欲も少し前と比べて減退してきていると感じられる。 |
| | | スーパー（経営者） | お客様の様子 | ・中小小売店やスーパーでは買上品数が減少しており、中小飲食店では夜の来客数が減少している。 |
| | | スーパー（店長） | 単価の動き | ・し好品やごちそう品の動きは弱く、安価な商品への意識が強まっている。 |
| | | スーパー（店員） | お客様の様子 | ・原材料の価格高騰が相次ぎ多くの商品で値上げが増えているため、1品単価は上がっているものの販売数量はダウンしている。 |
| | | スーパー（店員） | 販売量の動き | ・年末商戦の盛り上がりから一息つくかと予想したが、良い天候に恵まれたこととまん延防止等重点措置の適用により、自宅用の菓子や果物の需要で売上が順調だった。 |
| | | スーパー（ブロック長） | お客様の様子 | ・商品単価は前年を上回っているが、来客数、買上点数は未達であった。年始を過ぎて通常時期に入ると、客は支出を抑制する苦しい状況が続いている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------------------|--------|--|
| | | スーパー（支店長） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株がまん延し第6波がやってきたため、まん延防止等重点措置も適用され、それに伴い当然のごとく消費も縮小した。この状態がいつまでも続くのは本当に苦しいことである。そうはいいながらも、何とかしのぐ方法を考えて前向きにいこうと思っている。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の流行により、まん延防止等重点措置も適用され、繁華街は急速に人流がなくなってしまった。 |
| | | コンビニ（店長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染が拡大し、夜の来客数が減少傾向である。 |
| | | コンビニ（店員） | 来客数の動き | ・年末年始で来客数が減って厳しかった。今年は帰省した人も多かったと思う。 |
| | | コンビニ（本部管理担当） | 来客数の動き | ・売上は前年比103.9%であった。新型コロナウイルスオミクロン株のコロナ禍としては想定以上の売上で推移している。そのため、現時点で3か月前と比較し消費が落ち込んでいると定量的には判断できない。ただし、定性的な体感としては景気が下降に転じているように思料する。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | お客様の様子 | ・まん延防止等重点措置の適用前から外出を控える傾向にあったが、今は商店街も人の往来が極端に少なくなってきた。バーゲンセールで半額にしているが、商品や予算を決めて来店するため、試着しても購入はしない客が多い。 |
| | | 家電量販店（フランチャイズ経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の流行で今までより身近に感じられるようになり、来客数が前年比8割に落ち込んでいる。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・客との会話のなかで、最近生活関連商品の値上げが実感として身に染みるという言葉をよく聞くようになってきた。新型車両が発表され、客には高く関心を持ってほしいが、身近な問題としてそこまで生活に余裕がないと、余り自分事として受け止めてもらえない。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・半導体部品の遅れで、新車の生産がかなり遅れている。通常1月に注文を受けた場合は3月までには納められるが、今年は納期が3か月～半年以上となっていて、好転の兆しが全く感じられない。そのうえ、ガソリン価格が高騰して客が車を使う機会は減り、新車への代替やサービス工場への入庫が減り、負のスパイラルとしかいえない状況になりつつある。 |
| | | その他専門店【貴金属】（経営者） | 来客数の動き | ・第6波へのまん延防止等重点措置により、これまで以上に通行者数が減少した。1月決算の当社としては、前年以上の影響を受けている。 |
| | | その他専門店【雑貨】（店長） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響により客足が減っている。 |
| | | その他専門店【書籍】（店員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの影響でまん延防止等重点措置が適用され、人出も少なくなった。巣籠り需要も今回は少なく、売上も前年比5%ほど減少している。 |
| | | 高級レストラン（経営企画） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の大幅増加に伴い、前回とは相違してまん延防止等重点措置が適用される正月明けから来客数の減少が始まっている。街頭の人出は大きくは減少していないが、密集する空間を避ける傾向は早く、また、より強く意識されていると思われる。 |
| | | 一般レストラン（経営者） | 販売量の動き | ・新年早々から、新型コロナウイルスオミクロン株の影響だと思うが客が外出を控えているように見受けられる。販売量も例年より落ちている。 |
| | | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・やはり新型コロナウイルスの影響が大きい。特に、新型コロナウイルスオミクロン株は感染力が非常に強く、それを懸念して皆足が遠のいている様子である。 |
| | | バー（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株でまん延防止等重点措置が適用され、時短営業や休業で厳しい。人出がない。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|----------------------|---------|---|
| | | その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当） | 販売量の動き | ・12月には新型コロナウイルスの影響が少なく、取引先の様子や来店客の様子も、新型コロナウイルス発生前と変わらない販売量、購入量であった。1月になってまん延防止等重点措置が適用されると、想像していた以上に客は自粛ムードとなった。飲食店の売上は、まん延防止等重点措置が適用される前の3割程度まで落ち込んでいる。 |
| | | 観光型ホテル（経営者） | 来客数の動き | ・3連休過ぎから新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が拡大し、当県もまん延防止等重点措置が適用となった。こういった外部的要因から新規予約は入らず、来客数も減少した。 |
| | | 都市型ホテル（営業担当） | それ以外 | ・新型コロナウイルスの感染拡大により集客状況が落ちていると思われる。宿泊稼働が半分くらいに落ち込んでいる。 |
| | | 旅行代理店（経営者） | それ以外 | ・ターミナル駅の地下街で長期間休業していた飲食店が、前年12月に再開したと思ったら新型コロナウイルスオミクロン株の影響が、再度休業してしまった。その他にもまん延防止等重点措置によって、軒並み飲食店だけではなく旅行業の営業所も来店客がいなくなっている。 |
| | | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・1月の途中までは非常に好調であった。今年は初詣客も多く順調で良かったが、中旬頃から客が減った。特にまん延防止等重点措置が適用されてからは、夜の街がゴーストタウンのようなひどい状況になってしまい、売上が激減した。 |
| | | 通信会社（営業担当） | お客様の様子 | ・今月中旬より訪問活動はアポイントのある会社のみとしている。3か月前は先方からの新規申込みの依頼等で訪問活動をしていたが、今月は1件もなかった。 |
| | | テーマパーク職員（総務担当） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置がほとんどの県で出ている状況になっている。 |
| | | 理美容室（経営者） | 来客数の動き | ・1月は暇な月ではあるが、それにしても客が来ない。 |
| | | 美顔美容室（経営者） | 来客数の動き | ・全国的な動向であるが当地でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきたため、来店を控えたいという客がいる。 |
| | | 美容室（経営者） | お客様の様子 | ・当県もまん延防止等重点措置適用となり、新型コロナウイルスの感染拡大もひどいため、景気は3か月前より悪い。 |
| | | その他サービス〔介護サービス〕（職員） | それ以外 | ・仕入原価の値上げがぼろぼろと出始めている。 |
| | | 設計事務所（経営者） | 来客数の動き | ・11～12月にかけては事務所の移転案件で忙殺されていたが、ほぼ業務の終了が近づき、今後の案件がない。 |
| | | 設計事務所（職員） | お客様の様子 | ・客との会話で景気の良くなる話は全く出てこない。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | 競争相手の様子 | ・リフォームができる大工は忙しいが、新築しかできない大工は時間がある様子である。 |
| | | その他住宅〔住宅管理〕（経営者） | それ以外 | ・ウッドショックもあるが、建築資材が全般的に値上がりし利益を圧迫している。世界各国の新型コロナウイルス感染の収束と景気回復を期待している。 |
| | × | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・大型ホテルの宴会部門の予約が軒並みキャンセルでほぼ停止状態にあり、繁華街の飲食店も軒並み休業と聞いている。新型コロナウイルスオミクロン株が余りにも急激に拡大したため、人流がストップしている。 |
| | × | 一般小売店〔酒類〕（経営者） | 販売量の動き | ・まん延防止等重点措置の適用で飲食店はほとんど休業し、営業している店でも、客が来ないので休業しようかと店主が言っていた。飲料の注文はほとんどなくなり、スタッフは休みにした。 |
| | × | 百貨店（経理担当） | お客様の様子 | ・今月に入ってから新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し、学校等の休園休校、企業の出勤抑制や生産の一時停止など社会経済、生活に大きな支障が生じている。 |
| | × | 百貨店（販売促進担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株がまん延し、警戒感の高まりによる来店自粛の流れが強まっている。 |
| | × | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・月初めは、年始のにぎわい等で販売量が通常期並みに多い状態となっていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染再拡大により中旬から人流が抑制されている影響で、緊急事態宣言発出時のように来客数が減少している。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|---------|--------------------------|------------|---|
| | × | コンビニ(店長) | 販売量の動き | ・まん延防止等重点措置が適用されてからの週末の売上が今までになく大きく落ち込んだ。平日は仕事で家を出るが、週末は感染力の強い新型コロナウイルスオミクロン株を警戒して、家から出ない人が多い。 |
| | × | コンビニ(商品企画担当) | 来客数の動き | ・月初めまでは順調に回復基調にあった来客数が、新型コロナウイルスオミクロン株拡大によるまん延防止等重点措置の影響で、中旬以降大きく下降した。テレワーク等による出勤抑制の影響からか2019年比50%台の日も続き、日配品を主体に売上が伸び悩んでいる。 |
| | × | 乗用車販売店(従業員) | お客様の様子 | ・やはり新型コロナウイルスに尽きる。第6波がひどすぎる。 |
| | × | 一般レストラン[居酒屋](経営者) | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置が適用された。 |
| | × | 一般レストラン(従業員) | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置にのっとり、夜は9時まで、アルコール提供は8時までの制限で営業しており、大変である。 |
| | × | 一般レストラン(従業員) | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置の期間に入り、客が出掛けるのを控えている。 |
| | × | 観光型ホテル(支配人) | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置が適用されてから、入りかけていた一般宴会はストップし、入っていた予約もキャンセルが相次いでおり最悪の状況である。個人宿泊も少かりで、どんどん減少の一途をたどっている。今月末～来月のまん延防止等重点措置の期間中に、3～4日間の全館休業をせざるを得なくなった。 |
| | × | 都市型ホテル(総支配人) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によるまん延防止等重点措置の適用以降、宿泊は激減している。宴会もキャンセルされている。レストランは夜の客が入らなくなった。さらに、知事の緊急事態宣言への移行発言が出始めると、少ない予約も入らなくなってきた。 |
| | × | 旅行代理店(経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスのまん延により、需要の低下が激しい。 |
| | × | 旅行代理店(経営者) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス感染の爆発的な拡大と、県の旅行補助キャンペーン中断のため、旅行の受注はゼロになった。今後も復活する見込みはない。 |
| | × | 旅行代理店(経営者) | お客様の様子 | ・年明けから新型コロナウイルスオミクロン株が沖縄を皮切りに広がりを見せ、当地域でも3連休明けからかなりの勢いで毎日のように感染が広がりつつある。まん延防止等重点措置の適用から緊急事態宣言発出という予測もあり、今月中旬以降は2月までの予約の取消しが続く、新規予約もこのままでは見通しが立たない難しい状況である。3月に入っている若干の予約も、このままの感染状況では難しいと思われる。第6波を経てインフルエンザのような位置付けになれば明るい兆しもあるが、正直、目の前の波が収まらないと厳しい。 |
| | × | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延防止等重点措置でどん底であり、生活ができない。 |
| | × | 通信会社(企画担当) | 販売量の動き | ・新規契約者数は計画の7割程度と伸び悩み、解約者数も前年比、前月比共に上回っており、かなりの悪化を感じる。 |
| | × | テーマパーク(職員) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株が広がってきている。 |
| | × | レジャーランド(職員) | 来客数の動き | ・年始からの全国的な新型コロナウイルス新規感染者数の急増と例年よりも低い気温が、来場者数減少の要因と考えられる。 |
| | × | パチンコ店(経営者) | 販売量の動き | ・来客数の動きがやや悪い。 |
| | × | その他レジャー[スポーツレジャー紙](広告担当) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の流行で、明らかに人の流れが少なくなった。 |
| 企業 動向 関連 (東海) | | - | - | - |
| | | 建設業(営業担当) | 取引先の様子 | ・受注した仕事は、新型コロナウイルスの感染状況に応じて実行という形が多い。景気や利益等は別としても、仕事がこなせる状況はよくみられるようになった。 |
| | | 輸送業(エリア担当) | 受注量や販売量の動き | ・国際航空貨物の動きは良好である。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|--------------------|--------------|--|
| | | 不動産業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・割高感のある価格水準から、やや良くなっている。 |
| | | パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問） | 受注量や販売量の動き | ・最近全国的には新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の急増により景気は停滞気味になったが、3か月前と比べると同じ程度で、景気は余り変わらない。 |
| | | 化学工業（総務秘書） | それ以外 | ・第6波が到来しまん延防止等重点措置が適用されているが、経済を止めないようにする意識が官民に醸成されてきたため、街には人出がある。旅行などは控えているが、外食やショッピングは、新型コロナウイルス発生前に近い状況にある。 |
| | | 窯業・土石製品製造業（社員） | 受注量や販売量の動き | ・半導体や電池関連製造業からの増産依頼が続いているが、設備を強化しようとしても部品が思うように入らない。休日出勤で賄っている。 |
| | | 金属製品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・販売量の落ち込む日があった。 |
| | | 金属製品製造業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・足元はそれなりに忙しいが、納期が重なっているだけで、本質的には仕事量が多いとは思えない。 |
| | | 電気機械器具製造業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・コロナ禍の影響はある程度抑えられているが、良化もしていない。 |
| | | 電気機械器具製造業（経営者） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの自粛期間中に小さな店舗が廃業に追い込まれた客先が多数ある。客先業界全体の設備投資は、変わらず低調に推移している。 |
| | | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・売上は上がっているが、鋼材値上げ分を加味すると購入量、生産量共に横ばいが続いている。 |
| | | 電気機械器具製造業（総務担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・ケーブルテレビ事業者を含む通信業界では、動画配信サービスの拡大等によるデータ量の増大に対応するため通信設備の更新が常に求められており、設備投資は継続的に行われている。ただし、高速通信機器を供給する側にも競争があり、半導体不足による部品代の高騰を販売価格に転嫁できず、利益を圧迫している。 |
| | | 輸送用機械器具製造業（品質管理担当） | 取引先の様子 | ・取引先企業では、社員の削減が大幅に進んでいる。 |
| | | 建設業（役員） | 受注価格や販売価格の動き | ・建設業としては受注が順調で予定どおりである。分譲住宅の販売では、新型コロナウイルスの影響があるのか今年に入って客の動きが例年と比べて悪い。海外勤務の人からは、新型コロナウイルスの影響で身動きが取れないため購入マインドが下がっているという話を聞く。 |
| | | 輸送業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・小売業を中心に物量は増加しているが、自動車関連企業においては物量が鈍化している。輸送業界においても、燃料価格の高騰が企業経営に影響を及ぼしつつある。 |
| | | 通信業（総務担当） | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染は恐らくピーク時を迎えており、これだけ行政から人流制限を強要されては、活動が制約され、最低限の買物での外出となって消費が滞ってくる。今は先行き不安で気分が暗いため、積極的な支出につながらない。 |
| | | 通信業（法人営業担当） | 取引先の様子 | ・自治体は、令和3年度補正予算の新型コロナウイルス交付金を使って何とか急場をしのぐ住民や民間事業者を救済する算段で、さらにデジタル田園都市国家構想推進交付金という形で血税が配られることが決まった。これらの税金による消費喚起には、ある程度の短期的効果は認められるが、施策としては効果や成果がすぐに出る提案が採用されやすく、長期に消費を刺激するような使い方の提案はなかなか採用されにくいいため、通信インフラ事業者としては厳しい状況が変わらず続いている。 |
| | | 通信業（法人営業担当） | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な新規感染者数の増加や小麦粉等の値上げによる食卓への影響等が心配される。プラス要素としては、本年の景気予想がマイナス5～プラス5%の幅で出ているなかで、経済4団体はプラス2～4%という数字を出している。しかし、消費の動きは下向きと考えるとかなり厳しい。 |
| | | 金融業（従業員） | 取引先の様子 | ・現状においては、いろいろな部署や業種によって2極化している印象が強い。また、今後の物価上昇に対して心配している様子が見受けられる。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|---------------------|--------------|--|
| | | 金融業（企画担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大していることで、取引先の職場でも自宅待機者が増え、業務が十分に回っているとはいえない状況である。株価も大きく下落しており、個人投資家の消費への意欲も減退している。 |
| | | 不動産業（開発担当） | 競争相手の様子 | ・分譲マンションの売行き及び価格には変化がない。 |
| | | 広告代理店（制作担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株が急拡大してきたため、地元でもまん延防止等重点措置が適用されたこともあり、景気も横ばいを続けている。 |
| | | 会計事務所（職員） | 取引先の様子 | ・年末から今年初めにかけては飲食店にも客が戻っているようだったが、まん延防止等重点措置が適用されてからは途端に来客数が減っている。直接消費者と接触しない業種は、売上、利益共に変わりはない。 |
| | | その他サービス業〔ソフト開発〕（社員） | 受注量や販売量の動き | ・年末年始にWebサイト、FAXからの注文が殺到したが、平年よりは減少している。 |
| | | その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者） | 取引先の様子 | ・部品の納入が悪く当社でも生産が思いどおりに進まない。各社同様の状態である。また、見積りのたびに単価が上昇し、多くの会社が苦慮している。 |
| | | 食料品製造業（経営企画担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・原料価格の高騰が4月以降も続く見込みで、販売価格の引上げをスムーズに実施できなければ、収益を圧迫することは必至である。 |
| | | 化学工業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・半導体不足と新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、自動車に関わる電子材料薬品の出荷量が減少した。 |
| | | 一般機械器具製造業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染状況悪化と度重なる悪天候の影響で、止まってしまった商談が多数ある。 |
| | | 輸送用機械器具製造業（管理担当） | それ以外 | ・コロナ禍での外出控え、取引先の休業で景気は下降している。 |
| | | 輸送用機械器具製造業（総務経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響による完成車メーカーの操業停止や操業ダウンの影響を受けている。 |
| | | 輸送業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・ホームセンター、ドラッグストア向けの消費者向け物量は前年より10%ほど下落し、自動車部品関連の物量も新型コロナウイルス感染者の発生による工場稼働停止の影響で大幅減少となっている。燃料コストも大幅に上昇しており、利益圧迫要因となっている。 |
| | | 輸送業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・1月初めは客先の見込みも良い感じであった。しかし、ここに来て新型コロナウイルスオミクロン株の流行により、製造の方でブレーキが掛かったようだ。特に自動車関連産業の輸送は、メーカーが減産に入ったため落ち込みが大きい。 |
| | | 金融業（従業員） | 取引先の様子 | ・飲食関係や居酒屋等の取引先では、まん延防止等重点措置により休業しているところがある。給付金があっても、やはり景気としては悪くなっているように思う。 |
| | | 不動産業（経営者） | それ以外 | ・例年同様に晴れの日が多いが、新型コロナウイルス新規感染者数が急激に増加していることから、遠出する人が減少傾向にある影響を多少は受けている。外出自体はあることから、売上は前年と同程度で推移している。 |
| | | 公認会計士 | それ以外 | ・新型コロナウイルスによる業績悪化が、飲食、賃貸、サービス業等といった特定業種の中堅・中小企業で具体的に始めている。新型コロナウイルス発生前からの中堅・中小企業の収益性の低さ、生産性の低さや後継者難等の問題が、新型コロナウイルスの影響で深刻化している。 |
| | × | 食料品製造業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・受注量の低下により前年比でも減少であった。 |
| | × | 鉄鋼業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・受注量、見積量共にこの時期としては非常に低調で、2～3割減くらいであった。 |
| | × | 輸送業（エリア担当） | 受注量や販売量の動き | ・1日当たりの取扱荷物量は、前年、前々年並びに3年前と比べても下回っている。新型コロナウイルスの影響も当然あると思うが、起爆剤となるような新商品・新製品の発表など景気が上向く気配がなく、停滞している。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------|---------|---------------------------|------------|--|
| | x | 新聞販売店〔広告〕(店主) | 受注量や販売量の動き | ・折込チラシが年明けから減ってきている。 |
| 雇用 関連 | | - | - | - |
| (東海) | | 人材派遣会社 (営業担当) | 求人数の動き | ・前年末から少しずつ派遣依頼数が増えてきている。 |
| | | アウトソーシング 企業(エリア 担当) | 周辺企業の様子 | ・自動車製造各社において前年より半導体不足と部品供給遅れによる一時稼働停止があり、その分の生産調整を1月から実施予定であったが、新型コロナウイルスオミクロン株の急拡大によって1月も一時稼働停止が発生し、減産となっている。 |
| | | 職業安定所(職員) | 求人数の動き | ・新規求人数は前年同月と比べて増加傾向が継続している。製造業のうち主要業種である輸送用機械器具製造業の求人数は、完成車メーカーにより差はあるものの、半導体等の部品の供給不足の影響が改善傾向にある等の理由から、前年同月と比べ増加が続いている。 |
| | | 職業安定所(次長) | 求人数の動き | ・職種別有効求人数の前年同月比を3か月前と比較すると、全ての職種で上回っている。基幹産業である製造業の職種についても、海外からの部品調達の影響等の声を聞くものの、全体として求人数の増加が続いている。 |
| | | 民間職業紹介機関 (営業担当) | 採用者数の動き | ・法人側が来年度4月入社に向けて推進をしている状況であり、求人数も堅調に推移している。 |
| | | 人材派遣会社 (経営企画) | 周辺企業の様子 | ・引き続き開発現場では人材不足の状況が継続している。 |
| | | 人材派遣会社 (企画統括) | 求職者数の動き | ・求職者の動きが鈍く、新規登録者数が低調である。 |
| | | 人材派遣会社 (営業担当) | 周辺企業の様子 | ・所属拠点のエンジニア稼働率は安定稼働の水域に達しているが、主要客との取引量は引き続き減少傾向にあり、売上額となるエンジニアの稼働数は微減となっている。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕 (営業担当) | 周辺企業の様子 | ・半導体不足の影響を受け製造業の減産体制が続いている。そのような状況でも今後を見据えて人手確保に動く企業も多いが、市場の動きは鈍く景気回復には至っていないと感じる。 |
| | | 職業安定所(職員) | 求人数の動き | ・新型コロナウイルスの感染動向が見通せず、様子見の状況である。 |
| | | 職業安定所(職員) | 求人数の動き | ・新型コロナウイルス感染症の状況は不透明であるものの、企業からの求人数は増加傾向にある。一方、まん延防止等重点措置による経済活動の停滞が、一部に見受けられる。 |
| | | 人材派遣業(営業 担当) | 周辺企業の様子 | ・自動車産業においては、生産は必要であるものの、人材不足、部品供給不足により改善されない状況である。外国人労働者の入国と部品の供給が回復すれば、比例して景気回復への第一歩となる。 |
| | | 人材派遣会社 (社員) | 求人数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株による新型コロナウイルス新規感染者数が増加している。 |
| | | 人材派遣会社 (営業担当) | 求人数の動き | ・堅調に求人数が増加していたが、まん延防止等重点措置が適用され、求人数が3か月前比では減少に転じている。 |
| | | 人材派遣会社 (営業担当) | 求人数の動き | ・株価が大きく下がっている様子からも、景気が悪いと感じる。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕 (営業担当) | 周辺企業の様子 | ・年明けからの新型コロナウイルスオミクロン株の大流行で、再び企業活動が停滞している。外食、流通や観光など広告出稿に積極的な業界が打撃を受けている。求人については、引き続き最低限の採用意欲はあり、余り変化はしていない。 |
| | | 職業安定所(職員) | 周辺企業の様子 | ・まん延防止等重点措置が適用され、雇用調整助成金に係る問合せが急に増えた。 |
| | x | 人材派遣会社 (社員) | 求人数の動き | ・今月初めには小規模な会食での予約が入っていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の増加で、ほとんどキャンセルとなった。 |

7. 北陸(地域別調査機関:一般財団法人北陸経済研究所)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------|-------|----------------|
| 家計 | | - | - | - |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------|---------------|----------------|---|---|
| 動向 関連 (北陸) | | 商店街(代表者) | 来客数の動き | ・前年と比べて雪が少なく、今のところ新型コロナウイルスによる商店街への影響も少ない。しかし、周りの新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況をみていくと先行きは不透明である。飲食関係への助成がしっかりとされており、以前と比べて危機感は少ない。人の流れがこれからどうなるのかわからない。 |
| | | 家電量販店(店長) | 販売量の動き | ・給付金の給付が始まり、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、エアコンなど大型家電の販売数が増えている。 |
| | | 乗用車販売店(経営者) | 販売量の動き | ・今月に入って少しずつ販売量が増えている。3か月前と比べると、特に中古車において早い段階で成約数が多くなっている。 |
| | | 美容室(経営者) | それ以外 | ・新型コロナウイルスの感染に対するおそれがかかりあり、客の警戒心は変わらないが、今年は今のところ例年より積雪が少ないからか、前年同月と比べると売上、来客数共に5%ほど増えている。 |
| | | 百貨店(販売促進担当) | お客様の様子 | ・年末年始を故郷で過ごす帰省客や帰省を迎える家族の買物で、年末はおせちを中心に食品が好調に推移し、年始は防寒衣料のコートやブーツ等を中心にアパレルの高額品にも動きが出ている。 |
| | | 百貨店(販売担当) | お客様の様子 | ・中盤までは、帰省客や久しぶりの家族連れ客のセールにおける買物などで財布のひもが緩んだため、来客数や売上がやや改善していた。しかし、中盤以降は新型コロナウイルスの感染拡大により停滞している。購買行動は目的の商品を短時間で購入する傾向が加速している。食事やお茶をしてゆっくりする客は少ない。ただし、1年前のように怖くて来店しないという傾向はない。入学式や卒業式、リクルートなどのビジネス関連がやや通常に戻り、動きがある。 |
| | | スーパー(総務担当) | お客様の様子 | ・安売りや無料サービスに客が引っ張られている。 |
| | | スーパー(店舗管理) | 競争相手の様子 | ・原材料の値上げに伴い、ドラッグストアでもグロサリーの値上げが見受けられる。客単価は上がっているが、来客数、購入点数が落ちているため、全体の売上も下がっている。 |
| | | スーパー(統括) | 販売量の動き | ・客単価及び買上点数が伸びていない。依然として消費者の節約志向が高いと考える。 |
| | | 家電量販店(本部) | 単価の動き | ・年末年始は給付金の効果がみられたが、全体では決して良くない。 |
| | | 乗用車販売店(役員) | 販売量の動き | ・自動車販売に関しては従来の部品不足に加え、製造工場での新型コロナウイルス感染者の発生に伴い、一旦回復していた配車が再び遅れ始めている。納車に遅れが目立ってきたため、売上にならない。数か月前と同様の状況になっている。 |
| | | 自動車備品販売店(役員) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き回復傾向だったが、第6波により一気に集客が落ち、購入も必需品にとどまっている。整備士不足も更に深刻になっており、客の要望に応えられない状況が続いている。 |
| | | 住関連専門店(役員) | 販売量の動き | ・最近の消費における特徴として、販売量が伸びず単価が上がる傾向にある。何とか耐えているが、販売量の減少は大きな課題である。 |
| | | その他専門店[酒](経営者) | 販売量の動き | ・毎年節分が終わると暇な状態になるが、今年は節分前でも暇である。 |
| | | 通信会社(営業担当) | 販売量の動き | ・新製品が出たにもかかわらず、販売数が伸び悩んでいる。 |
| | | 通信会社(役員) | 販売量の動き | ・引き続き今月も通信、放送共に契約数が前年同期を上回り、好調を維持している。 |
| | | 通信会社(役員) | 販売量の動き | ・当社サービスの加入数の状況を見る限り、3か月前と大きな変化はみられない。 |
| | | パチンコ店(経理) | 販売量の動き | ・売上に余り動きがない。 |
| | | 住宅販売会社(従業員) | 販売量の動き | ・県別の受注高に大きな差がある。また、成約する客層も狭くなってきている。 |
| | 住宅販売会社(従業員) | お客様の様子 | ・住宅展示場に来場する客の状況が以前と変わらない。 | |
| | 一般小売店[精肉](店長) | 販売量の動き | ・豚肉ととり肉の動きは非常に活発だが、ギフト等の牛肉の動きが良くなく、売上を落としている。 | |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|--------------------------|--------|--|
| | | 一般小売店〔鮮魚〕（役員） | 販売量の動き | ・1月に入り新たに新型コロナウイルスオミクロン株が感染拡大し始めて大きな影響が出ている。まん延防止等重点措置が適用され、1～2月の新年会がキャンセルの嵐である。 |
| | | 一般小売店〔書籍〕（従業員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染による影響が大きく、来客数、販売量共に大きく減っている。 |
| | | 百貨店（売場主任） | 来客数の動き | ・2021年1月は大雪の影響があり、売上が低迷した。今年1月は、その反動で全体では前年実績を超えるものの、2020年1月の売上実績には遠く及ばない。特にまん延防止等重点措置の適用後は観光客、地元客共に市内中心部から消えている。1月後半は毎日、売上が3割減少で推移している。 |
| | | スーパー（店長） | お客様の様子 | ・小規模企業で廃業などの動きが散見され、一般消費の冷え込みを懸念している。 |
| | | スーパー（仕入担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの影響が、客の買物頻度が急激に落ち込んでおり、来客数が減少して客単価がアップしている状況である。現状は来客数の減少による影響が大きい。 |
| | | コンビニ（経営者） | 単価の動き | ・来客数は減っていない。 |
| | | コンビニ（営業） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの影響により、特にオフィス周辺や繁華街で2週間前から来客数が減っている。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | それ以外 | ・円安の影響で輸入品の価格が高騰しており、値上がりの影響を懸念している。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の急増で来客数が減っている。売上が回復する兆しも飛んでしまったようである。 |
| | | その他小売〔ショッピングセンター〕（統括） | 来客数の動き | ・3か月前は新規感染者数の減少傾向から来客数が回復していた。直近1週間は新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大のため県内ではレベルを上げて警戒を呼び掛けており、現在は来客数に影響が出始めている。 |
| | | 一般レストラン（統括） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大して第6波となり、当地でも1月27日～2月20日までまん延防止等重点措置が適用され、客の外出が少なくなっている。車の交通量が減少し、駅周辺の人出も減少している。 |
| | | スナック（経営者） | 来客数の動き | ・前年同月とは比較できないが、前々年同月よりやや売上が悪く、相変わらず新型コロナウイルスによる影響を受けている。近辺では休業日を増やした店がある。 |
| | | 観光型旅館（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し、キャンセルが増加している。 |
| | | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・1月に入り新型コロナウイルスオミクロン株を中心に急激に新規感染者数が増加している。1月27日から当地にまん延防止等重点措置が適用されたことにより、外出を避けているようである。夜の街も閑散としているため、売上が減少している。 |
| | | その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数が急激に増加している。新年からの希望的観測が打ち砕かれるかのように、客の動きが静かになってきている。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | 販売量の動き | ・例年1月は客の動きが鈍いが、今年は例年以上に動きが悪く、展示場への来場が少なく、契約件数も伸びない状況である。また、今月中旬以降は新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大もあり、更に動きが悪くなっている。 |
| | | 住宅販売会社（営業） | 単価の動き | ・ウッドショックによる木材の高値継続に加え、他の原材料も値上がり確実となり、売価に転嫁せざるを得ない状況である。客足の更なる鈍化が懸念されるなか、新型コロナウイルスの新規感染者数の急増により、見通しはかなり悲観的にならざるを得ない。 |
| | × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大で、街中から高齢者が消えた。人出もめっきり少なくなり、ゴーストタウン化してきている。 |
| | × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・前年の緊急事態宣言発出時より売上は良いが、新型コロナウイルス発生前から比べると依然として厳しい状況が続いている。特に高額商品が動かない。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|--------|---------|-------------------|--------------|---|
| | × | 一般小売店〔事務用品〕(店長) | 来客数の動き | ・コロナ禍で来客数の減少が目立つ。 |
| | × | コンビニ(店長) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大から客は行動の自粛に入ってきているようである。特に週末は減少幅が大きくなっている。とはいえ、以前の第2～4波の新型コロナウイルス全盛期頃と比べると、来客数の減少は幾分軽い。以前は3割以上減少していたが、今回は3か月前と比べて1割程度の減少となっている。 |
| | × | コンビニ(店舗管理) | 来客数の動き | ・年始は好調だったが、中盤から新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、来客数が激減している。最終週は特に悪い。 |
| | × | 衣料品専門店(経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大で行動の自粛に拍車がかかっている。 |
| | × | 高級レストラン(スタッフ) | 来客数の動き | ・初の県全域へのまん延防止等重点措置の適用は27日からだが、適用前からキャンセルが相次ぎ、新規受注も今回は1テーブル4人以下など厳しい環境となっている。集客は例年の約70%である。 |
| | × | 一般レストラン(店長) | 来客数の動き | ・年末から正月明けまで割と人の動きはあったが、中旬以降はぱったり止まっている。 |
| | × | 観光型旅館(スタッフ) | 来客数の動き | ・前々年12月は28日よりGo Toキャンペーンが停止したが、今年は県民宿泊割引が実施され、前年比103%の売上を確保できている。しかし、新型コロナウイルス発生前と比べると70%の売上である。 |
| | × | 都市型ホテル(スタッフ) | 販売量の動き | ・1月27日から再びまん延防止等重点措置が適用され、行政の宿泊者への応援施策が予約済みのものにも適用されなくなったため、1月最終週の予約はほとんどキャンセルになっている。2～3月も同様の状態である。 |
| | × | 都市型ホテル(役員) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株による急速な感染拡大により、来客数、稼働室数共に前月比マイナス35%と大幅に低下している。10月から続いた回復基調は悪化に転じている。 |
| | × | 旅行代理店(従業員) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、出張や旅行のキャンセルが相次いでいる。 |
| | × | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大で、スーパー以外は人出が少ない。観光タクシー等の予約キャンセルが相次いでいる。 |
| | × | テーマパーク(役員) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスによる新規感染者数の急増や、まん延防止等重点措置の適用により、人流が急激に鈍っている。また、県民対象割引等の需要喚起策が停止され、来客数が急激に減少している。 |
| 企業動向関連 | | - | - | - |
| (北陸) | | 食料品製造業(経営企画) | 受注量や販売量の動き | ・年明け後の閑散期ではあるが、外食やテイクアウト需要向けの受注に加えて海外輸出向け受注も好調で、前年実績を大幅に上回る勢いで推移している。 |
| | | 精密機械器具製造業(役員) | 受注量や販売量の動き | ・エリアによってばらつきはあるものの、今月の国内全体での売上は前年同期と比べ伸びている。大手チェーン店もさることながら、一般店での伸び率の方が大きくなっている。 |
| | | 輸送業(管理会計担当) | 受注量や販売量の動き | ・荷動きは新型コロナウイルス発生前の水準に近づいている。 |
| | | 通信業(営業) | 受注量や販売量の動き | ・前年10月より徐々に受注量が増加している。具体的には既設物品の更改、及び改正個人情報保護法施行前におけるネットワーク設備向けなどの商品が多くなっている。 |
| | | 繊維工業(総括) | 受注価格や販売価格の動き | ・受注は企業や用途によってばらつきがあるものの全体としては回復基調にあり、新型コロナウイルス発生前の水準に回復している。ただし、外国人技能実習生を中心とした人手不足や原材料価格の高騰による収益圧迫を課題にあげる企業が増加している。 |
| | | 化学工業(総務担当) | 受注量や販売量の動き | ・受注量は変わらずに推移している。 |
| | | プラスチック製品製造業(企画担当) | 受注量や販売量の動き | ・半導体不足や世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による輸送遅延、原材料費高騰等で、引き続き厳しい状況が続いている。 |
| | | 一般機械器具製造業(総務担当) | 受注量や販売量の動き | ・受注量と販売量について堅調な水準が続いているが、大きな増減はない。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|------------------|---------|----------------|------------|---|
| | | 建設業（経営者） | それ以外 | ・当社は公共土木工事を主とするため受注や損益状況は悪くないが、コロナ禍でサービス業が振るわず、その影響で全体としては変わらない感じである。 |
| | | 金融業（融資担当） | 取引先の様子 | ・直近の財務資料で業況は改善傾向ではあるが、景気が上向きになっているとはいえない。また、新型コロナウイルスオミクロン株が流行し始めており、むしろ景気が下向きになる可能性が高い。 |
| | | 不動産業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・同業者の話では、仕事が少しある人と仕事がない人が半々の状態である。 |
| | | 司法書士 | 取引先の様子 | ・前年後半に事業年度を迎えた会社について、B to C関連はともかく、B to B関連は売上は余り変わらないが、経費が減ることで利益が増えている会社が多い。 |
| | | 税理士（所長） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの影響による業種間の景気のばらつきは変わらず、観光や販売関連は非常に厳しい。これも新型コロナウイルスの影響だが、半導体不足により電機関係の製造業、電気工事業関連で、受注はあるが仕事ができず、売上をほとんど上げられないという非常に厳しい状況に置かれている。一部内需関係で回復している会社はあるが、全体としては3か月前と同じく厳しい状態が続いている。 |
| | x | 輸送業（役員） | 取引先の様子 | ・コロナ禍に加え、燃料価格の高騰、半導体不足のため悪くなっている。 |
| 雇用 関連 (北陸) | | | | |
| | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 求人数の動き | ・数か月前と比較すると、少しずつではあるが求人広告の出稿件数が上向いている。 |
| | | 求人情報誌製作会社（編集者） | 求人数の動き | ・求人数に大きな変化がない。 |
| | | 民間職業紹介機関（経営者） | 求人数の動き | ・少しずつではあるが、求人数が増加へ転じている。しかし、全体的にみるとまだ新型コロナウイルス発生前の20%程度である。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（営業） | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で売出しなどの販促をやめる企業が増えている。また、観光業は再び動きが一切なくなってきた。 |
| | | 職業安定所（職員） | 周辺企業の様子 | ・前年同様に年末年始明けに新型コロナウイルスの感染が拡大することまでは読んでいたが、検査体制が強化されたことや、感染力の高い新型コロナウイルスオミクロン株が発生したことなどで、市内の基幹産業がかなりの打撃を受けている。 |
| | x | - | - | - |

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|------------------------|---------|-------------|--------|--|
| 家計 動向 関連 (近畿) | | 競輪場（職員） | 単価の動き | ・3か月前の客単価は1万2488円で、今月の客単価は1万5010円に上昇する見込みである。 |
| | | 百貨店（外商担当） | 来客数の動き | ・年末年始の来客数は、新型コロナウイルス発生前の水準近くまで回復している。 |
| | | 百貨店（マネージャー） | お客様の様子 | ・3か月前と比べて、年末年始は顕著な回復がみられた。富裕層を中心に、ギフト市場では特選品が好調を維持している。イエナカ需要で、総菜やケーキを中心とした洋菓子が好調なほか、寒さの影響で中間層の防寒ファッションによる底上げもみられる。全体でも、国内の中間層の現金客による売上は、前年比で30%増えている。 |
| | | 百貨店（サービス担当） | お客様の様子 | ・今月もコロナ禍の緩和によるリベンジ需要で、前年の実績を約10%上回って推移している。来客数も好調で、パレタインデーのフェアも前年比で約25%の増加と売上に貢献し、全体としても目標がクリアできそうである。 |
| | | スーパー（経営者） | お客様の様子 | ・年明けから1月中旬にかけては厳しかったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急激に拡大し、まん延防止等重点措置も適用された結果、家庭での食事が再び増える傾向が、日を追うごとに強まっている。 |
| | | スーパー（店員） | 販売量の動き | ・年末年始は野菜、果物共によく売れた。おせち関連の食材も、今年は売切れになるほど売れている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|----------------------------|--------|---|
| | | その他専門店 [ドラッグストア] (店員) | 来客数の動き | ・依然としてコロナ禍で来客数が減っている。客単価はリスクに備えた買物で少し上がっているが、外出を余りしなくなっているため、化粧品の上売が落ち込んでいる。 |
| | | その他小売 [インターネット通販] (オペレーター) | 販売量の動き | ・ユニフォームの受注も増えているが、マスクの受注が急激に増加している。 |
| | | 一般レストラン (企画) | 販売量の動き | ・テレビ番組での紹介といった特殊要因により、売上の前々年比は、直近の3か月と比べて15%程度アップしている。ただし、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、アップの幅は10%程度に縮小傾向にある。 |
| | | 観光型ホテル (客室担当) | 販売量の動き | ・府の観光振興策の好影響が出ている。 |
| | | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・日ごとに客が減っている。 |
| | | その他サービス [学習塾] (スタッフ) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に不安を感じながらも、客は以前と比べて冷静な対応ができるようになったと感じる。 |
| | | 住宅販売会社 (経営者) | 来客数の動き | ・前年の後半から建築資材などの値上げが相次いだり、まだ更なる価格上昇があり得ることを客が察知し、建築やリフォームの駆け込み需要が出ている。 |
| | | 住宅販売会社 (従業員) | 単価の動き | ・分譲、賃貸マンションの開発用地の価格が高騰しており、デベロッパー間での取得競争が厳しくなっている。 |
| | | 一般小売店 [野菜] (店長) | お客様の様子 | ・状況は良くなりつつあったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で元に戻った。レストランなどでは客足が激減し、非常に困っているなど、かなり厳しい状況である。 |
| | | 一般小売店 [呉服] (店員) | お客様の様子 | ・やや景気が良くなり、客足も戻りつつあった頃に、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が爆発的に拡大したため、客足が一気に止まっている。 |
| | | 百貨店 (売場主任) | お客様の様子 | ・当月は目標達成の見込である。ただし、月前半は福袋やバーゲンが好調であったものの、中盤から新型コロナウイルスの感染拡大により、来客数が減少となり、売上に影響が出ている。商品の売上に従来と大きな変化はないが、中間層のボリューム価格帯の商品は厳しい。不要不急の商品の購買を抑える傾向は強まっている。 |
| | | 百貨店 (販促担当) | 来客数の動き | ・1月中旬までは、気温の低下などで、来客数は前年を上回るペースで推移し、防寒衣料やグッズなどの動きも活発であった。ただし、月後半は新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大した影響で、特に年配層の来客数が明らかに減少した。レストランの予約キャンセルなど、消費減退の具体的な動きが発生している。 |
| | | 百貨店 (売場マネージャー) | お客様の様子 | ・月初は初売りの勢いもみられたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、先行きの見通しは不透明である。 |
| | | 百貨店 (外商担当) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大したため、来客数、売上共に落ち込んでいる。ただし、海外の高級ブランド品や時計については、依然として好調に推移している。 |
| | | スーパー (店長) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、スーパーでは来客数が増え、単価が上がる傾向がみられる。その分、飲食店とその関連業種を中心に、厳しい状況が続いている。 |
| | | スーパー (経理担当) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数は急増しているが、以前の緊急事態宣言の発出時ほど、売上の顕著な増加はみられず、比較的落ち着いた動きとなっている。 |
| | | スーパー (販売促進担当) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株による感染第6波の影響は多少みられるが、緊急事態宣言下のような、まとめ買いによる混乱はなく、来店客も冷静に対応しているように感じる。 |
| | | スーパー (社員) | 来客数の動き | ・年末の売上が前年を上回った店舗が多かった。その要因としては、客単価が伸びたことが大きい。ただし、競合店が出てきた店舗を中心に、全店的に来客数の減少がみられる。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------------------------------|--------|---|
| | | コンビニ(店長) | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置の適用などもあるが、ここ数か月は来客数に変化がない。コロナ禍の状況が変わっても、消費者の生活リズムは戻らないように感じる。 |
| | | コンビニ(店員) | 来客数の動き | ・休日の外出用の買物などで来店する客は減っているが、平日の昼間などは、特に変化がない。 |
| | | 家電量販店(店員) | 来客数の動き | ・来客数は前年と大きく変わらないが、商品ごとに動きの差がみられる。洗濯機ではドラム式の売上が非常に良く、売上をけん引している。 |
| | | 乗用車販売店(販売担当) | 販売量の動き | ・受注目標を低めに設定しているため、今月の動きも想定内ではあるが、工場の稼働停止などで製品が届かない。相当数の客に待ってもらっている状態が続いている。 |
| | | 住関連専門店(店長) | 販売量の動き | ・コロナ禍以降は低水準が続き、この時期に商品を必要としている客だけが動いている状況に変わりはない。 |
| | | その他専門店[医薬品](管理担当) | 販売量の動き | ・買上点数、客単価共に改善傾向にあるが、来客数は微増にとどまる。新型コロナウイルスの新規感染者数の急激な増加により、来客数の増加は期待できない。 |
| | | その他専門店[宝飾品](販売担当) | 販売量の動き | ・飲食や旅行業界では、販促キャンペーンと外出自粛の繰り返しとなっているが、宝飾業界は良くも悪くも変化がみられず、売上や来客数は横ばいである。 |
| | | その他専門店[スポーツ用品](経理担当) | 販売量の動き | ・食料品の価格や電気・ガス代、ガソリン代など、生活必需品の値上がりが続いている。消費を喚起する材料は皆無である。 |
| | | 都市型ホテル(管理担当) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、来客数や収入が減るなど、営業面で落ち込んでいる。これまでは回復傾向にあったが、まん延防止等重点措置の適用で営業時間を短縮する必要があり、厳しい状況が続いている。 |
| | | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による人流の減少は、日中に限れば大きく減少しているとは感じないが、流し営業での営業収入は依然として低水準のままである。 |
| | | 通信会社(社員) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、出勤できない店舗スタッフが増加している。徐々に店舗の運営が厳しい状況になりつつある。 |
| | | 美容室(店員) | 単価の動き | ・従来と変わらず、高単価のカラーやトリートメントのオーダーが入っている。 |
| | | その他住宅投資の動向を把握できる者[不動産仲介](経営者) | それ以外 | ・景気についての変化は見受けられない。 |
| | | 一般小売店[事務用品](経営者) | お客様の様子 | ・例年であれば、年度末に向けて商談が活発化する時期であるが、今年は商談数が少ない。さらに、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で自宅待機の動きが増え、様々なところで動きが止まったり、鈍化している。 |
| | | 一般小売店[花](経営者) | お客様の様子 | ・まん延防止等重点措置の適用により、取引先の休業などが増えている。戻りかけていた売上が再び止まり、景気も下降気味になっている。 |
| | | 一般小売店[衣服](経営者) | 来客数の動き | ・1月の前半は来客数が前年比で約2割増え、売上も好調であったが、後半に入って新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したため、来客数は急激に減少している。月後半の来客数は、前半と様変わりし、前年の約3割減となっている。売上自体は、月前半の好調で前年を上回ったが、このままいけば2月は非常に厳しくなる。 |
| | | 一般小売店[鮮魚](営業担当) | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、まん延防止等重点措置が適用される前に、売上の急降下が始まっている。 |
| | | 一般小売店[菓子](営業担当) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、年明けからの販売量の減少傾向が、日に日に強まっている。 |
| | | 百貨店(企画担当) | お客様の様子 | ・1月中旬頃までは、来客数が前年比で10%以上増えた日が多く、売上も新型コロナウイルス発生前には程遠いものの、回復傾向にあった。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者が増えてきた下旬以降は、急激に来客数が減少している。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|--------------|--------|--|
| | | 百貨店（服飾品担当） | 来客数の動き | ・1月初旬は、年末商戦からの好調な流れが続いたが、中旬からの新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の増加に伴い、来客数は12月の60～70%に大きく減少した。前年と同様に厳しい年明けとなっている。2月に値上げを予定しているラグジュアリー関連は好調に推移しているが、中間層をターゲットにした商材が大きくダウンし、特に対面での密接な接客が必要な化粧品などが打撃を受けている。売上は、前年の緊急事態宣言下で落ち込んだ実績はクリアしているが、2年前と比べると、インバウンドを除く国内消費は80%ほどに低迷している。この傾向は、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少するまで続くと思われ。 |
| | | 百貨店（販売推進担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染第6波の影響で、特に1月下旬に入ってから、緊急事態宣言の下で時短営業を続けていた前年よりも、来客数、売上共に更に悪化し、かなり厳しい経済情勢となっている。 |
| | | 百貨店（店長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、1月中旬から来客数が激減している。土日の人出も少なく、最小限の買物だけで済ませているのか、来客数以上にレジ客数が減少している。 |
| | | 百貨店（特選品担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、連休明けの11日以降の来客数が急激に減っている。 |
| | | スーパー（店長） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスによる外出の自粛傾向が再び強まっており、食品以外の買い控えがみられる。 |
| | | スーパー（企画担当） | 販売量の動き | ・日用品の動きが悪くなり、売上の前年割れが続いている。 |
| | | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置の適用が決まっただけで、来客数が3%減少している。 |
| | | コンビニ（経営者） | 販売量の動き | ・またコロナ禍の影響が出てきている。 |
| | | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、企業の出勤者数の制限が強まり、通勤客が2～3割減少している。 |
| | | コンビニ（店長） | 来客数の動き | ・1月に入って、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大している。 |
| | | コンビニ（店員） | 来客数の動き | ・しばらく戻りつつあった来客数が、2～3週間前から少しずつ減っている気がする。ただし、昼間の混雑は変わらず、仕事関係の客も来店しているなど、リモートワークの影響は余り感じられない。 |
| | | コンビニ（店員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大により、客足が減っている。 |
| | | 家電量販店（経営者） | それ以外 | ・コロナ禍や半導体不足の影響で、様々な商品の入荷に時間が掛かっている。材料の納品や工事が進まず、売上が増えない状況にある。 |
| | | 家電量販店（店員） | 来客数の動き | ・関西でまん延防止等重点措置が適用され、来店する客が急に減少している。特に、高齢の客が減り、売上に打撃となっている。 |
| | | 家電量販店（店員） | 来客数の動き | ・来客数の減少が顕著となってきた。特に、土日の来客数の減少が専門店で厳しく、一度に全てがそろそろモール型の店舗は、近隣でも来場が多いと感じる。郊外型の専門店には車での移動が中心となるため、燃料費の高騰が移動の自粛につながる事が予想される。 |
| | | 家電量販店（企画担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響からか、来客数が平日の夕方から夜にかけて大きく落ち込んでいる。前倒しで売り尽くしセールを行っているが、効果が出ていない。 |
| | | 家電量販店（営業担当） | それ以外 | ・ここへきて新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が響いている。 |
| | | 家電量販店（人事担当） | 販売量の動き | ・年明けは新型コロナウイルスの感染も小康状態であったため、初売り等は好調に推移した。ただし、中旬以降は新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、販売が低調となっている。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | お客様の様子 | ・当店には飲食関係の客が多く、話を聞くと、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響が出ている。前年の10～11月に戻りつつあった売上が、また減少しているようである。 |
| | | 乗用車販売店（営業企画） | お客様の様子 | ・来客数が減少傾向にある。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|------------------------------------|--------|---|
| | | その他専門店 [宝石] (経営者) | お客様の様子 | ・前年末には新型コロナウイルスの感染が収まりつつあったが、年明け以降、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が増えている。消費者物価も上がっているため、以前と比べて景気がやや後退していると感じる。 |
| | | その他専門店 [ガソリンスタンド] (経理担当) | 販売量の動き | ・好調であった年末年始の反動や、新型コロナウイルスオミクロン株の感染急拡大によるテレワークの増加、外出の自粛による人流抑制などで、ガソリンの販売量は減少している。 |
| | | その他小売 [インターネット通販] (経営者) | お客様の様子 | ・前年末には、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、客の購買意欲も高まった。これから景気の回復が進むという時に、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が増えた。客が外出を控え、来客数は急激に減少している。 |
| | | 高級レストラン (スタッフ) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染再拡大による外食の自粛や、子供の休校に伴う予約のキャンセルなどが相次ぎ、新規の予約も少ない状況となっている。 |
| | | 都市型ホテル (管理担当) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、宿泊やレストランの予約の動きが鈍化しているほか、宴会のキャンセルや延期が増えている。 |
| | | 都市型ホテル (総務担当) | 来客数の動き | ・前年の10～12月は新型コロナウイルスの感染が一段落し、利用客も増加に転じるなど、回復が目立っていた。1月以降は初旬からの急激な感染の拡大と、まん延防止等重点措置の適用による利用客の減少が続いている。少なくとも、2月中の利用客の減少は否定できない。 |
| | | 旅行代理店 (役員) | それ以外 | ・県民割もあって需要が伸びていたが、ここへきてまん延防止等重点措置の適用が始まり、遠方を始め、近場の旅行需要も激減している。 |
| | | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による人々の不安や、ガソリン価格の高騰の影響もあり、景気が低迷している。 |
| | | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・駅やホテルで客を待っているが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響により、以前よりも人通りが減り、特に夜はかなり少ない。ここ最近は回復しそうな状況であったが、仕事関係の人出も一気に減ったように感じる。 |
| | | 通信会社 (経営者) | お客様の様子 | ・まん延防止等重点措置の適用により、人流が減少している。 |
| | | 通信会社 (社員) | 来客数の動き | ・ネット通販の需要の伸びも、そろそろ鈍化傾向に転じている。 |
| | | その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設] (企画担当) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染第6波に伴う、まん延防止等重点措置の適用で、団体客のキャンセルが出ている。また、一般の観光客の出足にも影響している。 |
| | | 住宅販売会社 (総務担当) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に伴い、客との面談日程の変更が多く、商談が進まない。 |
| | | その他住宅 [展示場] (従業員) | 販売量の動き | ・出展企業による契約数は前年比で増えていたが、今月は住宅取得支援策の終了などで伸びていない。 |
| | | その他住宅 [住宅設備] (営業担当) | 単価の動き | ・半導体不足による電子機器の欠品が相次ぎ、仕事がスムーズに進まない。メーカーからは納期の回答もない状態である。 |
| | | その他住宅 [情報誌] (編集者) | お客様の様子 | ・これまで住宅需要は高額物件を中心に堅調な動きであったが、軟調な米国の株価や資源相場の高騰などの影響で、若干の減速感が出始めている。コロナ禍による特需の反動減に対する懸念が広がっている。 |
| | × | 商店街 (代表者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、昼間の人出もかなり減っている。 |
| | × | 一般小売店 [珈琲] (経営者) | 来客数の動き | ・直営店の来客数が減少している。新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、外出の機会が減少している。 |
| | × | 一般小売店 [時計] (経営者) | 来客数の動き | ・年明けの仕事初めの頃から、街が意外なほど静かで、人の流れも少なかった。来客数がゼロの日も多く、開店休業状態であった。新型コロナウイルスの感染第6波では予想以上の新規感染者数となり、街が戦々恐々としている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|------------------------|--------|---|
| | × | 一般小売店〔衣服〕（経営者） | 販売量の動き | ・バーゲンセール時期ではあるが、販売量が伸びず、苦戦している。そもそも今月に入って、来客数がかなり減った。新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増えたことが大きな要因である。 |
| | × | 百貨店（売場主任） | 来客数の動き | ・1月は月初から食料品や衣料品が好調に推移していたが、新型コロナウイルスオミクロン株が流行し始めた11日頃以降、来客数が急速に減ったと感じる。特に、60歳以上の来店が減ったことが、売上に響いている。 |
| | × | 百貨店（企画担当） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、売上、来客数共に減少しているが、感染第5波のピークであった前年の8～9月と比較すると、影響は軽微となっている。 |
| | × | 百貨店（売場マネージャー） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス発生前の来客数と比べると、11月は16.8%の減少、12月は9.3%の減少と改善傾向にあったが、今年に入って新型コロナウイルスの感染拡大の影響が出ている。まん延防止等重点措置の適用が決まった頃から、急に来客数が減少し、厳しい状況が続いている。 |
| | × | 百貨店（マネージャー） | お客様の様子 | ・コロナ禍の悪化により、業況は明らかに下向いている。直近では、明確な目的をもった客の来店がほとんどで、高齢者の来店が激減している。また、来店があっても目的の商品を購入だけの客が大半で、買い回りなどでの滞留は非常に少ない。 |
| | × | 百貨店（営業推進担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大で、外出の自粛が増え、来客数が大幅に減少している。 |
| | × | 百貨店（マネージャー） | 来客数の動き | ・年明けから新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大し、大雪などの悪天候も続いたため、客足が伸びていない。まん延防止等重点措置も月末から適用されたことで、早期の売上回復は見込めない。その一方、バレンタインデー関連の催事などでは、にぎわいがみられる。自分への御褒美として高級チョコレートを買い求める客も多く、限定的ではあるものの、消費意欲は引き続き強いと感じている。 |
| | × | 百貨店（宣伝担当） | 来客数の動き | ・今月の中旬以降、入客が一気に少なくなって売上が激減している。新型コロナウイルスの新規感染者数が前回よりも大幅に増えているため、従業員のほか、取引先でも感染者や濃厚接触者が増え、店舗の運営にも影響が出ている。 |
| | × | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・関西でのまん延防止等重点措置の適用が決まり、1月20日以降、来客数が極端に減っている。 |
| | × | コンビニ（経営者） | お客様の様子 | ・来客数が激減している。 |
| | × | 衣料品専門店（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に比例して、来客数が落ち込んでいる。 |
| | × | 衣料品専門店（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、来客数が減っている。零細企業への支援を進めていかなければ、廃業が増えていく。 |
| | × | その他小売〔インターネット通販〕（企画担当） | お客様の様子 | ・年初は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていたが、その後の急速な感染拡大により、来客数は大幅に減少した。買上もそれまでの水準を大きく下回り、再び厳しい状況となっている。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染第5波の後には、売上が徐々に回復する傾向にあったが、感染第6波が日に日に厳しくなるにつれて、一気に来客数が減少している。繁華街の様子を見ても、明らかに人が少なくなっている。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えるにつれて、来客数が減り、商店街にも人の姿がみられなくなっている。 |
| | × | その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当） | 販売量の動き | ・年始以降、人の流れは増えたが、販売の動きは鈍化している。それに加えて、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、まん延防止等重点措置が適用される前から、客の間では自粛ムードが漂っている。 |
| | × | 観光型ホテル（経営者） | 来客数の動き | ・1月3日以降は、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、来客数が激減している。団体客はほぼ全てキャンセルとなり、個人客も大きく減少している。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|------------------------|---------|-----------------------|------------|--|
| | × | 観光型旅館（経営者） | 来客数の動き | ・キャンセルが止まらず、今後は宿泊関連の府民割も止まってしまうが、どうしようもない。 |
| | × | 観光型旅館（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、キャンセルが続いている。利用者の多い大阪や兵庫、京都に、まん延防止等重点措置が適用された影響が出ている。 |
| | × | 都市型ホテル（フロント） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による、まん延防止等重点措置の適用で、1月以降の予約数は伸びず、低稼働のまま推移している。 |
| | × | 都市型ホテル（客室担当） | 来客数の動き | ・12月24日に京都府内で新型コロナウイルスオミクロン株の感染者が確認されると、個人予約のキャンセルが始め、厳しい状態が続いている。観光目的での宿泊者は少なく、必要最低限の宿泊の利用のみとなっている。 |
| | × | 都市型ホテル（販売促進担当） | 来客数の動き | ・初秋から12月にかけての来客数の増加で、宿泊は好調であった。1月も中旬までは約50%の稼働率であったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で急激に落ち込み、月末は37%となる見込みである。レストランも、まん延防止等重点措置の適用決定により、平日の予約が減り始めている。 |
| | × | 旅行代理店（店長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、まん延防止等重点措置が適用され、来客数や受注が減り、キャンセルも増えている。先の旅行の相談もあるが、様子を見ている客が多い。 |
| | × | 旅行代理店（従業員） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置の適用で、景気が更に悪化している。 |
| | × | 旅行代理店（支店長） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による、まん延防止等重点措置の適用により、客の動きがびたりと止まった。特に、2月に延期されていた修学旅行などが中止になるなど、景気は悪くなっている。 |
| | × | 通信会社（企画担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、予定していた展示会などのイベントが中止になるなど、売り込みの機会を失っている。株価も落ちているなか、近くの店舗は再び休業し始めている。 |
| | × | テーマパーク（職員） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置が適用されてから、明らかに客足が鈍くなっている。新型コロナウイルスオミクロン株は重症化率が低く、インフルエンザと症状がさほど変わらないように見えるが、現状の対応は、重症化しやすかった初期のままであるため、明らかに過剰な対応が要求されている。 |
| | × | 観光名所（経理担当） | 販売量の動き | ・今月の初めから、売上は既に減少していたが、後半になるほど減少幅が大きくなっている。 |
| | × | その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、1月中旬から一気に消費マインドが落ち込んでいる。来客数、販売量、滞在時間の全てで悪化している。 |
| | × | 美容室（店長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で予約のキャンセルが相次ぎ、店がガラガラの状態である。特に、当店に多い高齢の客は、感染を恐れてかなり外出を控えている。 |
| 企業 動向 関連 (近畿) | | * | * | * |
| | | 食料品製造業（営業担当） | 取引先の様子 | ・年末年始の消費者の動きは良かったが、1月の中旬以降は新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増え、売上が再びやや減少した。ただし、売上全体はやや良い水準となっている。 |
| | | 電気機械器具製造業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・納期が来年度の製品の受注量が増えている。 |
| | | パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・年始は順調に受注量が確保できていたが、20日頃から減少している。 |
| | | プラスチック製品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・かなり先の注文が入っているが、受注量は確保できても、仕入れと売上にタイムラグが出始めている。現時点で月次の収支が合わなくなっている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|---------------------|--------------|--|
| | | 窯業・土石製品製造業（管理担当） | 受注量や販売量の動き | ・前年の12月前半までは、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少傾向にあったため、経済を回すことが優先されていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大し、地域によっては社会インフラが回らなくなっている。新型コロナウイルスオミクロン株は感染の周期が短いとの見方もあり、収束に向かえば受注量も増えそうであるが、現状は変化がみられない。 |
| | | 一般機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・小口の引き合いはあるが、通常の数%という金額である。 |
| | | 一般機械器具製造業（設計担当） | それ以外 | ・物価が少しずつ上昇している一方、消費者の収入は増加が見込めない。 |
| | | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響で景気は悪いが、世界的な半導体市場の好調で業況は良い。今は半導体の市況が新型コロナウイルスの影響を上回っており、総合的には景気は良い状態を維持している。 |
| | | 電気機械器具製造業（宣伝担当） | 受注量や販売量の動き | ・初売りとなる1月の2週目は、洗濯機や冷蔵庫などの大型商品を中心に実売が増えた。ただし、それ以降の週も加味すると、前年の実売台数を上回っている大型商品は、冷蔵庫と有機ELテレビぐらいである。 |
| | | 建設業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・建設資材価格の高騰で、見積り価格が上昇しているほか、資材不足で納期が未確定となり、工期内でのしゅん工が厳しい状況である。コストの上昇と建設資材不足に苦慮している。 |
| | | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・本来は、この時期から少しずつ受注が増えてくるが、前年と比べて、特に増えも減りもしていない。 |
| | | 建設業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・年末からの大雪に加えて、新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大で、営業活動にも支障が出ている。 |
| | | 金融業（副支店長） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染がかなり拡大しており、飲食や航空、旅客、旅行関連での売上減少が危惧される。 |
| | | 金融業〔投資運用業〕（代表） | それ以外 | ・前年11月頃のコロナ禍の収束時には、これで回復基調に乗っていけると感じたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、まん延防止等重点措置が適用となった。飲食店を中心に、売上確保に苦慮する局面が終わらない。 |
| | | 広告代理店（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・Web媒体、紙媒体共に、今年に入ってから広告の受注量が減っている。 |
| | | 広告代理店（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の流行で、交通広告の短期の出稿が減り続けている。 |
| | | その他非製造業〔商社〕（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・年度末に向けての引き合いは増えているが、製品の生産遅延が続いている。 |
| | | 食料品製造業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・業務用製品は少しずつ売上が伸びていたが、ここへきて以前のように受注が減りつつある。家庭用製品にも、予想したような伸びはみられない。 |
| | | 出版・印刷・同関連産業（企画営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・回復が予想された受注量も、新型コロナウイルスの感染第6波の影響でイベントのキャンセルが増え、以前のように減少し始めている。 |
| | | 化学工業（管理担当） | 受注量や販売量の動き | ・自動車向け部品の減産の影響を受け、製品の出荷量が減少している。 |
| | | 金属製品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・半導体不足により、受注のけん引役であった自動車産業の工場稼働率が低下し、関連各社の荷動きも悪くなっている。 |
| | | 金属製品製造業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・部品不足により、自動車メーカーの生産ラインの稼働が安定せず、生産や出荷に影響が出ている。 |
| | | 輸送業（営業担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの影響で、来客数が減少している。 |
| | | 金融業（営業担当） | それ以外 | ・まん延防止等重点措置の適用による影響は大きい。 |
| | | 経営コンサルタント | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの感染第6波の発生で、まん延防止等重点措置の適用も決まり、商店街の夜間の人出が激減している。 |
| | | その他サービス業〔店舗開発〕（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・年末から正月の帰省のピークである1月3日を境に、駅構内の各店舗は売上が大きく悪化し始めた。特に、夕方18時以降の売上は前月比で3割程度落ち込んでおり、退社後は早めに帰宅する動きが見られる。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|------------------|---------|-----------------------------|------------|---|
| | | その他非製造業 [機械器具卸] (経営者) | 受注量や販売量の動き | ・受注量、販売量共に全く増えておらず、悪い状況である。 |
| | x | 繊維工業(団体職員) | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染状況次第である。 |
| | x | 繊維工業(総務担当) | 取引先の様子 | ・コロナ禍への対応で、再び催事の縮小や延期が増えて販売機会も減っているため、売上は前月から50%ダウンとなっている。また、社員の一部は、家庭内での感染で濃厚接触者となり、自宅待機のため、仕事が停滞している。 |
| | x | 不動産業(営業担当) | 取引先の様子 | ・当市でもまん延防止等重点措置が適用され、飲食店の営業時間が短くなっているため、飲食店から賃料の値下げ要求がくると予想される。 |
| | x | その他非製造業 [電気業](営業担当) | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響で先が見通せない。 |
| 雇用 関連 (近畿) | | - | - | - |
| | | 人材派遣会社 (役員) | 求人数の動き | ・求人数が前年比で回復している。 |
| | | 人材派遣会社 (営業担当) | 求人数の動き | ・12月は2年前と同等の求人数があり、景気が比較的戻ってきた感がある。 |
| | | 人材派遣会社 (管理担当) | 求人数の動き | ・1月に入り、求人数が増えている。今のところは、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加による影響は出ていない。 |
| | | 新聞社[求人広告] (管理担当) | 求人数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大が続いているものの、全体的に3か月前よりも求人数は改善している。ただし、飲食業などの非正規雇用が多い業種では、感染の拡大によるまん延防止等重点措置の適用を見据え、求人数は減少し始めている。 |
| | | 新聞社[求人広告] (営業担当) | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な感染拡大が続くなか、感染第5波と比べて人の流れはそれほど減っておらず、消費も飲食を除けばある程度戻っている。これらを踏まえると、3か月前と比べて少し良くなってきたと感じる。 |
| | | 職業安定所(職員) | 周辺企業の様子 | ・3か月前と比べると上向いているが、やや足踏み状態で、改善の動きには力強さが感じられない。 |
| | | 民間職業紹介機関 (営業担当) | 求人数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が増え、特需による求人がまた発生している。 |
| | | 人材派遣会社 (経営者) | 求人数の動き | ・2か月ほど前から、新型コロナウイルスの影響が落ち着き、景気回復に伴う人材の需要がかなり増えたが、感染第6波の影響で急ブレーキがかかる形となった。現在の契約もあり、今年3月までは需給バランスの取れた状態が続くそうであるが、新年度の状況は見通せない。企業は人材採用に再び慎重になってきている。 |
| | | 人材派遣会社 (支店長) | 求人数の動き | ・急速に売手市場へと変化し、オーダーはあっても人材がいらないという状況である。 |
| | | 人材派遣会社 (営業担当) | 周辺企業の様子 | ・観光地や繁華街での人出が増え、消費も増え始めた矢先に、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大し、再び外出自粛の空気が広がっている。 |
| | | 職業安定所(職員) | 求人数の動き | ・前年と比べると、新規求人数は若干増加している。介護や警備などの業種では、引き続き人材不足の状況となっている。 |
| | | 職業安定所(職員) | 求職者数の動き | ・大阪では全業種で、新規求人数の前年比がプラスとなった。堅調な製造業以外に、物流関係も大幅な増加となっている。また、宿泊業の求人も増え、前年秋の緊急事態宣言解除後の需要に対応した求人や、新規オープンに向けた求人もみられる。一方、有効求職者数も増加していることから、雇用情勢全体については、厳しさがみられる状況に変化はない。 |
| | | 職業安定所(職員) | 求人数の動き | ・新規求人数は前年比で7.7%増えているなど、求人は底堅く推移している。 |
| | | 学校[大学] (就職担当) | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株への対策に迫られる日が続いており、学内でも感染者が出始めている。本来、4年生は国家試験対策で大変な時期であるが、就職活動も停滞気味であり、今後の見通しも立っていない。 |
| | | 新聞社[求人広告] (担当者) | それ以外 | ・コロナ禍が拡大し、まん延防止等重点措置の適用が決まったことで、急激に景気が悪くなっている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|----------------|---------|--|
| | | 民間職業紹介機関（営業担当） | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によって、1月の上旬と下旬では大きく周囲の様子が異なる。求人を募集する企業は、就職フェアなどのイベントへの参加見送りや、対面からオンラインへの切替えの要望が増えている。求職者である学生も、大学内への立ち入りが減り、全体的に動きが鈍いように感じている。 |
| | | 民間職業紹介機関（営業担当） | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスの影響で先が見通せない。 |
| | | 学校〔大学〕（就職担当） | 求人数の動き | ・ここへきて、2022年卒の求人がかなり減少している。 |
| | x | - | - | - |

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|--------|---------|-------------------------|--------|--|
| 家計動向関連 | | - | - | - |
| (中国) | | 一般小売店〔靴〕（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス禍であるが、新規、リピート客いずれも前年度より業績が上がっている。 |
| | | スーパー（財務担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、既存店の来客数が、前年を下回っているものの、12月までと比べると、増加している。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・10月以降、来客数は徐々に増加している。ただ、1月に入り、売上が伸び悩んでいる。 |
| | | 乗用車販売店（営業担当） | 販売量の動き | ・新型車の発売で、景気は多少良くなっている。 |
| | | その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの影響がありながらも、来客数が少しずつ増加し、客の買物意欲も高まっていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の出現で、新規感染者数が増加してからは、客が少しずつ外出を控えている。 |
| | | 放送通信サービス（総務経理担当） | お客様の様子 | ・利用料金延滞が微減であるので、家計状況は良い方向に向かっていると判断できる。 |
| | | 競艇場（企画営業担当） | 販売量の動き | ・3か月前と比べ、売上が若干増加している。 |
| | | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・12月の年末セールなどでまとめ買いした客が多いので、今月は来客数が減少し、客単価も低下している。 |
| | | 一般小売店〔眼鏡〕（経営者） | 来客数の動き | ・県を越える移動の自粛もあり、消費が落ち込んでいる。 |
| | | 百貨店（経理担当） | 販売量の動き | ・売上は月初めまで好調に推移していたが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、中旬から低迷している。月末には県内がまん延防止等重点措置の適用となったため、しばらくは厳しい状況となる。 |
| | | 百貨店（営業担当） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、来客数や販売量が減少している。 |
| | | 百貨店（売場担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、月中旬の冬のセールが一段落した辺りから客の流れが変化している。ただ、県外に出掛けず、県内にとどまる動きもあるため、売上に大きな変化はみられない。 |
| | | 百貨店（売場担当） | 販売量の動き | ・ラグジュアリーブランドの洋服やバッグなどが売れ、数十万円の売上が何件か出ている。 |
| | | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの影響もあり、客の来店頻度が減少傾向にあり、割引デーへの集中傾向も強くなってきている。今後も、現在の状況から劇的に回復、改善していく見通しが立たない。 |
| | | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・客単価は上昇したが、来客数に変化はない。 |
| | | スーパー（店長） | お客様の様子 | ・客の来店頻度が減少し、購買点数が上がらない現象が続いている。 |
| | | スーパー（店長） | 販売量の動き | ・ほぼ横ばいであった販売量が、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、若干伸びつつある。 |
| | | スーパー（店長） | 来客数の動き | ・今月上旬まで景気は回復基調にあったが、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、来客数が徐々に減少している。 |
| | | スーパー（店長） | 単価の動き | ・まん延防止等重点措置の影響で、客が週末に商品を買いだめし、平日は無駄な買物はしない傾向にあり、客単価が前年割れとなっている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|----------------|--------|---|
| | | スーパー（総務担当） | 販売量の動き | ・来客数や客単価は前年と変わらないが、買上点数が減少している。 |
| | | スーパー（業務開発担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていた時期に、相次ぐ商品価格の値上げで、上昇しかけた景気が停滞してしまった。今は再び新型コロナウイルスが猛威を振るってきているため、客が来店を控えている。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・前年と比べ、来客数が伸び悩んでいる。 |
| | | 家電量販店（店長） | 来客数の動き | ・前月から状況が変わっておらず、来客数が伸びていない。 |
| | | 乗用車販売店（営業担当） | 販売量の動き | ・販売台数は前年を維持しているが、新車の販売台数は減少している。 |
| | | 乗用車販売店（営業担当） | 来客数の動き | ・車の生産が回復してきたものの、新型コロナウイルス第6波の影響で、来客数が減少したため、景気は変わらない。 |
| | | 自動車備品販売店（経営者） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスが再び流行してきたので、販売が徐々に低調になってきている。 |
| | | 観光型ホテル（営業担当） | 来客数の動き | ・県の観光振興策等により、来客数が増加傾向にあったが、新型コロナウイルス第6波やまん延防止等重点措置の適用の影響を受け、キャンセルが続出している。 |
| | | 旅行代理店（支店長） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置の影響で、旅行予約のキャンセルが相次ぎ、厳しい状況となっている。 |
| | | 通信会社（企画担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大による店舗等への規制の影響で、消費が停滞している。 |
| | | 通信会社（経理担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの影響が多少なりとも続いているが、新規開通エリアの拡大に伴い、問合せも多いため、景気は変わらない。 |
| | | テーマパーク（管理担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスに関する政府の対策がなされていないため、景気は良くなっていない。 |
| | | 設計事務所（経営者） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスが長期化していることから、客の引き合いが低迷し続けている。 |
| | | 設計事務所（経営者） | お客様の様子 | ・建築は全体的に動きが良くない。寒波や新型コロナウイルスの影響で、景気は冷え込んだ状況である。 |
| | | 商店街（理事） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの影響で、客の動きが悪くなっている。 |
| | | 一般小売店〔印章〕（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で人の流れが悪くなっている。 |
| | | 一般小売店〔茶〕（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、あらゆる営業の動きが停止している。地元百貨店の当社の出店で初めて1日の売上0円を記録している。 |
| | | 一般小売店〔食品〕（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス禍の巣籠り需要で前年は売上、来客数、客単価が上昇していたが、ウィズコロナで前年から巣籠り需要が落ち着いてきているため、来客数が減少している。 |
| | | 百貨店（営業担当） | 来客数の動き | ・月初めは新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、前年と比べ初売りにぎわっており、帰省した若者や家族連れの来客数も前年を上回っていたが、中旬以降、新型コロナウイルスオミクロン株の影響もあり、来客数が日を追うごとに減少している。 |
| | | 百貨店（営業企画担当） | 来客数の動き | ・初売りから14日までは来客数や売上が大幅に増加したが、新型コロナウイルスオミクロン株の出現による新規感染者数の増加に伴い、来客数や売上が急激に減少しており、バレンタイン商戦も苦戦している。 |
| | | 百貨店（外商担当） | お客様の様子 | ・今月中旬以降、新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加し、県内の新規感染者数が最多を更新する日が続いているため、来客数が大幅に減少している。 |
| | | スーパー（販売担当） | 来客数の動き | ・客単価がなかなか上がってこない状況である。 |
| | | スーパー（販売担当） | 来客数の動き | ・月前半は好調に推移していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、来客数が一気に減少している。 |
| | | コンビニ（副地域ブロック長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス第6波の影響が出てきている。主に夕方から夜の来客数が減少してきており、1日の売上も減少傾向にある。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-------------------------|--------|---|
| | | コンビニ（支店長） | 来客数の動き | ・正月は来客数が回復していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、週末を中心に来客数が減少している。予約催事商品の申込みが減少しており、無駄なことに金を使わない傾向が出ている。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | それ以外 | ・株価の急落が気になっている。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染が再び拡大したため、客は着物を着て出掛けることができなくなっている。 |
| | | 家電量販店（店長） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響もあり、来客数や売上が減少傾向にあり、特に大型家電の売行きが不調である。 |
| | | 乗用車販売店（店長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの影響により、客の動きが鈍くなってきている。新型製品を案内すると、客に来てもらえるが、自発的に店を訪れる客は見込みづらくなってきている。 |
| | | その他専門店 [和菓子]（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス第6波の影響が大きく、景気はやや悪くなっている。 |
| | | その他専門店 [布地]（経営者） | それ以外 | ・新型コロナウイルスの感染拡大で、街にはほとんど人がいない。 |
| | | その他専門店 [時計]（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、外出を自粛している人が多く、商店街も人通りが少ない。 |
| | | その他専門店 [土産物]（経営者） | 来客数の動き | ・隣接する市で感染が拡大しているため、来客数がかなり減少している。集客のためのイベントが開催できず、状況はかなり悪くなっている。 |
| | | その他小売 [ショッピングセンター]（支配人） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染再拡大により、今月中旬から来客数の減少が顕著であり、特に週末の減少幅が大きくなっている。部門別では、飲食店の利用減少が大きく、今後、1か月間は厳しい状況が続く。 |
| | | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・最近には特にディナー時間の来客数の減少幅が大きい。1組あたりの来客数の減少も顕著であり、客単価も減少傾向にある。 |
| | | バー（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延で、景気はやや悪くなっている。 |
| | | 都市型ホテル（企画担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの急激な感染拡大により、市場は一気に冷え切り、キャンセル、延期などで宿泊や宴会の需要が激減している。1～2月の食事を伴う宴会のほとんどがキャンセルとなっている。駅周辺の人流が極端に減少しており、大型ショッピングセンター店の来客数にも影響している。 |
| | | 旅行代理店（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染が拡大し、旅行どころではなくなっている。 |
| | | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・前年末には新型コロナウイルスに終息の兆しがみえ、街中のにぎわいが戻り、売上も増加したが、1月に入り、一気に感染が拡大し、中旬頃からは3か月ぐらい前のように人の動きが止まり、活気がなくなっている。 |
| | | 通信会社（工事担当） | お客様の様子 | ・まん延防止等重点措置の適用の影響で、景気はやや悪くなっている。 |
| | | 通信会社（営業担当） | お客様の様子 | ・サブスクリプション系サービスの内容や契約の見直しが増加しており、月々の出費を抑える傾向が強まっている。 |
| | | 観光名所（管理担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、レストランの予約のキャンセルが目に見えて増加している。 |
| | | ゴルフ場（営業担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大で、先の予約や直前の予約のキャンセルが増加している。 |
| | | 設計事務所（経営者） | 単価の動き | ・仕入商品の単価の上昇や納期遅延により、契約までの意思確認や意思決定が長期化している。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの新規感染者数の急拡大により、商談や打合せに慎重な客が増加している。 |
| | | 住宅販売会社（営業所長） | 来客数の動き | ・客が購入の意思がある程度明確になってから、事前予約をして訪問するケースが一般的になっており、潜在的客に対し課題提案営業をして、顕在化することで、市場を掘り起こすのが難しくなっている。 |
| | x | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染再拡大で、景気が一気に下向きに転じている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|--------|---------|-------------------|------------|---|
| | × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、飲食店のみならず多くの店の売上がかなり減少している。まん延防止等重点措置で協力金が出るのがなぜ飲食店だけなのかが疑問という声が大きい。 |
| | × | 商店街（代表者） | 単価の動き | ・今月も厳しい状況が続いている。 |
| | × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、まん延防止等重点措置の適用が続いているため、商店街への買物客は、ほとんどなく、街はゴーストタウンになっている。駅前に唯一残っていたパチンコ店も1月に閉店し、残っている小売店も少なくなっている。 |
| | × | 一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者） | 販売量の動き | ・寒さが厳しく、新型コロナウイルスの影響も続いているため、売上が回復していない。 |
| | × | 百貨店（営業担当） | 来客数の動き | ・11月頃～今月上旬までは前年を上回る推移であったが、まん延防止等重点措置の適用後は来客数や売上が急激に減少している。 |
| | × | 衣料品専門店（代表） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置の適用により、客の訪問が途絶えている。 |
| | × | 家電量販店（企画担当） | 来客数の動き | ・月初めは良かったが、まん延防止等重点措置が適用されて以降、来客数が7割以下になり、売上が前年の9割程度まで激減している。 |
| | × | 乗用車販売店（統括） | 販売量の動き | ・1月の販売量は前年比51%と大変厳しい状況である。 |
| | × | 高級レストラン（事業戦略担当） | 販売量の動き | ・まん延防止等重点措置の適用が決まって以降、キャンセルが相次いでいる。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | お客様の様子 | ・仕事関係の飲食が激減した一方で、家族連れや若者の友達同士の利用が増加し、売上が従来の7～8割まで回復していた。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株の出現で、来客数が減少し、ランチの売上も半減となっている。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | それ以外 | ・新型コロナウイルスの影響で、営業を自粛しているため、売上がなく、非常に困っている。 |
| | × | 一般レストラン（店長） | 来客数の動き | ・正月明けより新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加し、来客数に大きな影響が出ている。まん延防止等重点措置が適用されてからは酒類の提供もできなくなったため、キャンセルが増加している。当月に入っていた予約の8割くらいがキャンセルとなっている。 |
| | × | 観光型ホテル（副支配人） | それ以外 | ・1月に入って、まん延防止等重点措置が適用されたため、施設が休館となり、全ての予約がキャンセルになっている。 |
| | × | 都市型ホテル（企画担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス第6波で大打撃を受け、新型コロナウイルス初期と同水準の来客数の減少となっている。客の外出控えもあるが、休業している店が多いことで消費する場所がなくなっている。 |
| | × | 都市型ホテル（総支配人） | 来客数の動き | ・年明けからの新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、新規予約が伸び悩み、まん延防止等重点措置の適用で、キャンセルが多発している。 |
| | × | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、利用客が半減するなど状況はかなり悪くなっている。臨時休業する店舗も多くなっている。 |
| | × | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置が適用されて以降、状況が全く良くない。 |
| | × | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・まん延防止等重点措置が適用され、飲食店も早々と閉店していることから、景気は悪くなっている。 |
| | × | 通信会社（広報担当） | 来客数の動き | ・長引く新型コロナウイルスの影響で、来客数が減少している。 |
| | × | テーマパーク（業務担当） | それ以外 | ・まん延防止等重点措置の影響で、景気は悪くなっている。 |
| | × | 美容室（経営者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加し、人の動きが一気になくなっている。 |
| | × | 美容室（経営者） | 競争相手の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大で、外出できない客が増加しているため、景気の悪い状況が続いている。 |
| | × | 住宅販売会社（営業担当） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置の適用で、景気は悪くなっている。 |
| 企業動向関連 | | 輸送用機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・地元完成車メーカーの生産回復に伴い、景気が良くなっている。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|------|---------|--------------------|--------------|---|
| (中国) | | 輸送用機械器具製造業（経営企画担当） | 受注量や販売量の動き | ・1月の主要客からの受注量は、前年並みであるが、落ち込みがひどかった3か月前と比べると、大幅に増加している。 |
| | | 化学工業（総務担当） | 取引先の様子 | ・仕入れ、販売を含め、品不足から様々な商品が値上げ傾向にあり、様子見の状況にある。 |
| | | 輸送業 | 受注量や販売量の動き | ・客の出荷が増加している。 |
| | | 不動産業（総務担当） | それ以外 | ・前月と比べ、乗客数や成約件数が約3割程度増加している。 |
| | | 会計事務所（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルス禍で一時停滞した取引先の活動が上向いているため、アウトソーシング引き合い案件が増加している。 |
| | | 食料品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・年が明けて、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあるが、受注に変化はない。 |
| | | 食料品製造業（総務担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、外出者も増加していたが、新型コロナウイルスオミクロン株の出現により厳しい状況になっている。 |
| | | 繊維工業（財務担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、消費行動が抑制されている。 |
| | | 木材木製品製造業（経理担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・過去の受注残もあり、現時点では、1月に入ってから新型コロナウイルスの急激な感染拡大の影響を余り受けていないが、今後の動向が心配である。 |
| | | 窯業・土石製品製造業（総務経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・受注が好調で生産は高水準で推移している。大口案件の生産が終了したが、次の大口案件の生産が始まるため、当面は現在の生産水準が継続する。 |
| | | 鉄鋼業（総務担当） | 取引先の様子 | ・現時点では、新型コロナウイルスの新規感染者数増加による環境変化はない。 |
| | | 鉄鋼業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・受注は堅調に推移している。 |
| | | 非鉄金属製造業（業務担当） | 受注量や販売量の動き | ・金属価格が高値で推移し、電子材料関係の素材受注も堅調に推移している。 |
| | | 金属製品製造業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・工作機械業界は好調であるという新聞記事を目にするが、好調なのは中小型機械が中心で、大型機械用の部品を製造する当社への影響はそれほど大きくなく、3か月前と比べても受注は同水準である。 |
| | | 輸送業（総務・人事担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・前年から受注量に変化はない。 |
| | | 通信業（営業企画担当） | 受注量や販売量の動き | ・データセンターやクラウドのニーズは情報通信やICT関連への投資計画に基づくもので、新型コロナウイルスや景気に余り左右されていないため、好調を継続している。ただ、県外などへの移動が難しくなっており、計画が少しずれる可能性はある。 |
| | | 金融業（融資企画担当） | 取引先の様子 | ・半導体不足の解消が徐々に進み、地元完成車メーカーの国内生産がフル操業をやや下回る水準まで回復してきたため、系列の地元部品メーカーの受注も増加傾向となっている。操業率も上がり、残業対応する企業も出ている。 |
| | | 広告代理店（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響で、受注量が減少傾向にある。 |
| | | 電気機械器具製造業（総務担当） | 取引先の様子 | ・今月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に増加し、当社や取引先にも感染者が出ていることで、機械装置は生産調整を余儀なくされている。また、車載関係でも工場の稼働停止等により、電子部品や印刷製品の生産が減少する見込みである。 |
| | × | 農林水産業（従業員） | 取引先の様子 | ・まん延防止等重点措置の適用により、居酒屋等が営業時間の短縮や休業をしているため、買参人がほとんど買い付けをしてくれない状況である。 |
| | × | 建設業（総務担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・資材の高騰や納期遅延など悪い話題ばかりである。新型コロナウイルスの感染拡大で、稼働中の現場が最悪停止になるリスクもある。 |
| | × | 金融業（貸付担当） | 取引先の様子 | ・全国的な新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、特に1月中旬以降、ヒト、モノの動きが停滞し、取引先の売上低迷が目立ち始めている。 |
| | × | コピーサービス業（管理担当） | 取引先の様子 | ・まん延防止等重点措置でテレワークが増加し、コピー出力の需要は減少している。 |
| 雇用 | | - | - | - |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|------------|---------|---------------------|---------|--|
| 関連 (中国) | | 職業安定所(事業所担当) | 求人数の動き | ・令和3年12月の新規求人数は前年同月比で7.9%増加している。産業別では教育、学習支援業、公務以外の産業で増加に転じていることから、新規求人数から判断すると景気は徐々に良くなっている。ただ、令和4年1月に発出されたまん延防止等重点措置により、景気にどの程度、影響が出てくるのか先行き不透明な状況である。 |
| | | 人材派遣会社(経営戦略担当) | 採用者数の動き | ・採用者数の状況に大きな変化がなく、新型コロナウイルス流行前の求職者数に回復する兆しがない。 |
| | | 求人情報誌製作会社(広告担当) | 周辺企業の様子 | ・インターンシップを対象とした早期合同説明会は、10～12月に再開し、対面実施していたが、1月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数の急激な増加を受け、まん延防止等重点措置が適用された途端、状況が一変している。合同説明会は軒並みWebに変更され、新型コロナウイルス初年度に比べ、Webでの動員も減少している。2月以降も感染の状況を見ながら、対面実施が中止され、軒並みWeb合同説明会になる可能性が高い。ただ、企業の新卒採用の予定数に大きな変化はない。 |
| | | 新聞社[求人広告](担当者) | 周辺企業の様子 | ・観光業やサービス業の景気は、年内までは回復傾向にあったが、新型コロナウイルスの感染拡大によって、再び足踏み状態となっている。 |
| | | 職業安定所(所長) | 求人数の動き | ・新規求人数は、新型コロナウイルス療養施設の看護師の大口求人数があったこともあり、医療・福祉が前年から3割の増加となったほか、多くの業種で新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きを期待して求人数が増加したことから、全体でも前年から1割の増加となっている。 |
| | | 学校[短期大学](進路指導担当) | 求人数の動き | ・3か月前と比べ、秋採用の求人数が余り増加していない。 |
| | | 職業安定所(雇用関連担当) | 周辺企業の様子 | ・月間有効求人数は前年同月から7.9%の増加、月間有効求職者数は前年同月から1.1%の減少となっている。県内外で新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大し、宿泊・飲食業で予約件数や来客数の減少傾向が出てきている。 |
| | | 民間職業紹介機関(職員) | それ以外 | ・年明け早々の新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大を背景に、飲食店の営業時間短縮や休業が相次いでおり、経済活動が停滞し始めている。 |
| | | 民間職業紹介機関(人材紹介・派遣担当) | 求職者数の動き | ・人材紹介に関する問合せ数が前月から25%減少している。新型コロナウイルス禍で、転職活動に少し消極的になり、情報収集はするが、応募までは至らない様子である。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-----------------|--------|---|
| | x | 人材派遣会社 (支社長) | 求人数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響により、企業の採用意欲の低下や求人数の減少が著しい。 |

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|-------------|-----------------|--|--|
| 家計 動向 関連 (四国) | | - | - | - |
| | | 一般小売店〔書籍〕（営業担当） | 販売量の動き | ・外商売上が店頭売上の落ち込みをカバーし、最終的に前年同月をやや上回った。 |
| | | スーパー（店長） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス第6波による巣籠り消費需要増大の恩恵を受けている。 |
| | | スーパー（企画担当） | 単価の動き | ・食品の価格上昇の動きが激しくなり、値上げ前の特売セールが売上を引き上げている。 |
| | | スーパー（財務担当） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置の適用の影響で、大型ショッピングモールから地元スーパーへ客足が戻っている。 |
| | | コンビニ（総務） | 来客数の動き | ・前月から引き続き、前年比で来客数が若干増加している。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | 販売量の動き | ・依然、新型コロナウイルス感染症は拡大しているが、天候に恵まれたこともあって今月の売上は順調に増加している。 |
| | | 乗用車販売業（営業担当） | 販売量の動き | ・月初めは新春イベントがあり、新型コロナウイルス新規感染者数も少なく、来客数、販売量は多かった。 |
| | | 通信会社（営業部長） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス感染症の影響で来客数は減っているものの、販売量は落ちていない。 |
| | | 競輪競馬（マネージャー） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大により警戒意識が高まり、公営娯楽の入出は減少している。しかし、遊行意識は強く、ネットや電話等による販売が良好に推移し、やや良くなっている。 |
| | | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置が発表された途端、全く人が動かなくなった。 |
| | | 商店街（代表者） | 競争相手の様子 | ・駅前にあった大型店の閉店により中心市街地の将来展望が全く見通せない状況にあり、行政側にも期待が持てない。そうしたなか、駅ビルに入居していた店舗や新規開店者が、家賃の安い地元商店街に出店するケースが複数出ている。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | 来客数の動き | ・1月前半までは売上好調であったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により来客数が減少し、売上も激減した。 |
| | | 家電量販店（店員） | 販売量の動き | ・半導体不足等の影響もあって入荷未定商品が出始め、それらの販売が落ち込んでいる。 |
| | | 旅行代理店（営業担当） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大とまん延防止等重点措置の適用で、ここ数日、キャンセルが多く発生している。 |
| | | 観光遊園地（職員） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響が大きい。 |
| | | 設計事務所（所長） | 販売量の動き | ・変化は特にない。 |
| | | 商店街（事務局長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス新規感染者数の急増とまん延防止等重点措置の適用に伴い、多くの人が出外や外食を控えている。物販店や飲食店、サービス、観光関連など幅広い業種で売上が大きく減少している。少なくともあと1か月ほどはダメージが続くと思われる。 |
| | | 一般小売店〔生花〕（経営者） | それ以外 | ・新型コロナウイルス新規感染者数が増えたため来客数が大幅に減り、インターネットや電話の注文が増えた。余分な買物がなくなって購入単価が下がっている。また、繁華街の飲食店が休業し始め、人通りはほとんどない。 |
| | | 一般小売店〔酒〕（販売担当） | 販売量の動き | ・1月中旬以降、新型コロナウイルス新規感染者数急増に伴い、繁華街の入出が激減しているため、飲食店への納品が激減した。 |
| | 百貨店（営業管理担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス新規感染者数の増加や連日の報道の影響から、前年比プラスで推移していた来客数が徐々に低下し、マイナスになりつつある。 | |
| | 百貨店（販売促進） | 来客数の動き | ・当県では新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に増加しており、まん延防止等重点措置が適用されていないにもかかわらず来客数が減少している。必要な物だけ目的買いしていると見受けられる。 | |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------|---------|-------------------------|------------|---|
| | | コンビニ(店長) | 来客数の動き | ・年初は順調に推移していたが、現在は売上が減少に転じつつある。来客数の減少が目立つ。 |
| | | 家電量販店(副店長) | 販売量の動き | ・客単価は前年を上回って推移しているものの、来客数が減っている。購入目的のある客しか来店しない傾向が見受けられる。 |
| | | 乗用車販売店(従業員) | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、新車の納車台数が再び減少している。 |
| | | 乗用車販売店(役員) | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大並びに半導体不足に伴うメーカーの減産により、供給不足に陥っている。 |
| | | その他専門店[酒](経営者) | 来客数の動き | ・寒さと新型コロナウイルスオミクロン株の影響から、売上が減少している。 |
| | | その他小売[ショッピングセンター](副支配人) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に伴い、増えつつあった来客数に急ブレーキが掛かった。特に、夜間帯の減少が著しい。 |
| | | その他飲食[ファーストフード](経営者) | お客様の様子 | ・まん延防止等重点措置が適用されたことにより、人流が抑制され動きが悪くなっている。 |
| | | 通信会社(社員) | お客様の様子 | ・まん延防止等重点措置の適用で外出のハードルが高くなり、経済活動が鈍化している。 |
| | | 美容室(経営者) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス新規感染者数増加で、客足が遠のいている。 |
| | x | 商店街(代表者) | 来客数の動き | ・年末年始は景気回復の兆しがみえていたものの、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により来街来客数が激減し、大変厳しい状況にある。 |
| | x | 商店街(代表者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、夜の客の動きが一段と悪化している。不要不急の外出となってしまう部分もあるレジャー産業にとっては、非常に厳しい状況にある。 |
| | x | 百貨店(企画担当) | お客様の様子 | ・来客数が激減している。 |
| | x | スーパー(店長) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、来店頻度が落ち、来客数が大幅に減少している。 |
| | x | コンビニ(店長) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数急拡大に伴い、通勤途中での来店が急激に減少している。 |
| | x | 一般レストラン(経営者) | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染が1日も早く収まるか、共存することを受け入れるしかない。 |
| | x | 観光型旅館(経営者) | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置が広く適用され、マーケットが消失している状態。ワクチンや検査パッケージに代わる今後のGo To Travelキャンペーンの開始基準が示されず、今後の予想が全く立たない。 |
| | x | 都市型ホテル(経営者) | お客様の様子 | ・予約が大きく減少している。 |
| | x | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、人の移動が以前の3分の1以下になっている。乗客からも極力外出や移動を避けているという話を聞く。 |
| | x | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置が適用され、夜の街への来客は減少している。前年ほどではないが、時短要請の影響でタクシーの仕事も激減している。遍路客からのキャンセルも相次いでいる。 |
| 企業動向関連 (四国) | | 繊維工業(経営者) | 受注量や販売量の動き | ・当地域としては、昨秋以降回復基調であったものの、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により再び厳しくなっている。当社においては前年10月以降、小売店からの受注が増加しており、新型コロナウイルス発生前の水準を上回っている。その要因には、ネット販売の活況や新製品の売上増加、地方小売店の受注回復等がある。加えて、市況の悪化による新規取引先からの問合せが増えており、全売上高の数%は新規受注による。 |
| | | 木材木製品製造業(営業部長) | 受注量や販売量の動き | ・受注量が回復している。ただ、ウッドショック、コンテナ不足の影響を受けて現場工事の進捗が遅れており、売上は見込みよりダウンしている。 |
| | | 税理士事務所 | 取引先の様子 | ・取引先の月ごとの売上が上昇している。 |
| | | 一般機械器具製造業(経理担当) | 受注量や販売量の動き | ・各国政府の経済対策により景気は回復基調であるものの、地域的なばらつきが大きく、総じて本格的な回復には至っていない。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|------------------|---------|----------------|--------------|--|
| | | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響で、仕事関係者に何らかの影響が及んでいる。 |
| | | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・思うようには受注が伸びず、苦しい状況にある。 |
| | | 通信業（総務担当） | それ以外 | ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社外との会議等が見送りになるなど、今後の見通しは難しい状況である。 |
| | | 農林水産業（職員） | 受注価格や販売価格の動き | ・12月の卸売価格は、例年の水準には届かなかったものの業務需要が一定程度回復したこともあって、業務用野菜等が安値となった前々年よりも高値で推移するなど、まずまずの価格で販売できた。しかし、1月は新型コロナウイルスの感染再拡大から業務需要が鈍化し、感染爆発した下旬には一段と厳しい価格となっている。 |
| | | 鉄鋼業（総務部長） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、社内に感染者はいないが、保育園や学校等の休校により出社できない者が増加し、稼働人員減少により生産量や出荷量が減少している。 |
| | | 建設業（経営者） | 競争相手の様子 | ・本業の受注量は例年並みで、順調に消化できている。落ち着いていた新型コロナウイルス感染が年始から急速に拡大し、第6波となった。対外的な業界活動や研修、親睦会等が中止又は延期になり、閉塞感が強まっている。感染拡大のたびに企業や個人で金の内部留保が増え続けており、市中には流動していないと思う。 |
| | | 輸送業（営業） | 受注量や販売量の動き | ・1月に入り、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によりまん延防止等重点措置が適用されたことを受け、四国を発着する一般消費財を中心とした商業貨物において取扱物量が著しく減少する傾向にあり、消費の低迷を強く感じる。 |
| | | 輸送業（経理） | 受注価格や販売価格の動き | ・これまで海外の輸出数量が増加していたが、海上コンテナ不足の影響で荷動きが鈍化している。また、国内の出荷量も減少傾向が続く。 |
| | | 広告代理店（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大で、客先数社が販売促進広告を急ぎょ中止した。 |
| | | × 輸送業（経営者） | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株に振り回されている。 |
| | | × 金融業（副支店長） | 取引先の様子 | ・取引先の試算表並びに経営者等のヒアリングから、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて消費者動向は再び鈍化し、売上や利益の減少等の影響を受けている。 |
| 雇用 関連 (四国) | | - | - | - |
| | | 人材派遣会社（営業担当） | 求人数の動き | ・新型コロナウイルス特需により、求人数が一時的に増加傾向にある。 |
| | | 職業安定所（求人開発） | 求人数の動き | ・前月と同じく、新規求人数や有効求人倍率、新規求職申込件数が増加している。 |
| | | 人材派遣会社（営業） | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大のピークアウトの見込みは立たず、公共施設利用や買物、飲み会、会食は自粛ムードが日々増している。公共交通機関の利用も少ない。ただ、経済を止めないようネット販売を推進するなど、消費者ニーズを高める企業努力がうかがえる。 |
| | | 民間職業紹介機関（所長） | 求人数の動き | ・求人数に余り変化はみられない。 |
| | | 求人情報誌（営業） | 周辺企業の様子 | ・飲食業や観光業界だけでなく、2～3月に予定していたイベント関連の中止に伴う関連事業者の打撃は大きく、景気は悪化している。求人面から見ると新規求人数は減少傾向にあり、各事業者とも先行き不透明感からコストを伴う採用を控える傾向が見受けられる。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | それ以外 | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、戻り始めた経済活動に改めてストップが掛かった。イベントなどが軒並み中止・延期になり、今期の売上に影響が出るだろう。 |
| | | 学校〔大学〕（就職担当） | 採用者数の動き | ・内定状況は前年度と大きく変わらないが、まだ未内定の学生もいる。新型コロナウイルス新規感染者数の急拡大で、未内定の学生の就職活動が懸念される。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|------------------|--------|----------------------------|
| | x | 人材派遣会社 (営業担当) | 求人数の動き | ・派遣依頼の数が減っており、景気は厳しくなっている。 |

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|-------------|----------------------------------|--|--|
| 家計 動向 関連 (九州) | | - | - | - |
| | | 百貨店（企画担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、年末年始は来客数が増加している。在宅時間の充実を図る傾向がある。 |
| | | スーパー（統括者） | 来客数の動き | ・年末商戦は過去最高の売上を更新しており、大切なイベントである晴れの日には多くの客が来店しているが、年明けは反動で減少傾向である。売上は持ち直してきたものの、新型コロナウイルス第6波の影響で横ばいとなっている。 |
| | | 家電量販店（店員） | 販売量の動き | ・落ち込んでいた3か月前と比較すると、今月の売上は若干上がっている。しかし、数字は満足できる状態ではない。当県ではそこまで寒くないため、季節商材の動きはないが、その分を補える商品が出てきている。 |
| | | その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人） | 来客数の動き | ・3か月前と比べると、売上は前年超過で推移しており、数字面ではやや回復している。一方で、新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し始めた1月中旬以降は目に見えて客足に悪影響が出ており、序盤の貯金が少しずつ減っている。加えて、当県にもまん延防止等重点措置が適用され、飲食店を中心に売上及び集客への影響が出ている。 |
| | | 通信会社（企画担当） | 販売量の動き | ・光回線のエリア拡大により、販売量が増加している。 |
| | | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・3か月前はまだ先行きが見えないながらも、少し状況が落ち着いていたが、新型コロナウイルスオミクロン株が感染拡大しており、客が再び外出等を控えるようになっている。前回の新型コロナウイルス変異株よりも重症化しないため、客の動きはあるが、購買にはつながっていない。 |
| | | 一般小売店〔青果〕（店長） | それ以外 | ・当地の中央卸売市場は、3か月前から比較すると相場に変化が出ているが、寒さで引き合いが多く、値段が高くなっている野菜もある。しかし、全体的には横ばいである。 |
| | | スーパー（店長） | お客様の様子 | ・年末年始は帰省客が前年より多く、営業成果の指標となる数値が上昇し、従来の景気に戻りつつあったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で状況がまた一変しており、景気自体はさほど変化がない。 |
| | | スーパー（経理担当） | 販売量の動き | ・野菜の価格変動が激しい上に、今年は例年と比べて暖かい日が多く、鍋商材の動きが悪い。新型コロナウイルスも含めているいろいろな要素が入り乱れ、販売量は前年と大きく変わらない。 |
| | | コンビニ（経営者） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス感染症がまん延しているが、経済活動は続いており、即席食品等の日持ちする商品の売上が好調である。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、景気も上向きになっている矢先に新型コロナウイルスオミクロン株が急拡大し、世の中が混乱している。店の売上も少しずつ良くなっていたが、先行き不透明で不安である。 |
| | | 衣料品専門店（取締役） | お客様の様子 | ・10月と比べ、1月の前半は客の回遊性があったが、後半は新型コロナウイルスオミクロン株が感染拡大し、来客数はかなり減少したため、非常に厳しい月末になっている。 |
| | | 乗用車販売店（総務担当） | 販売量の動き | ・コロナ禍の影響で、新車生産が回復するところかますます減産となっている。自動車販売店では、受注が堅調に推移しているが、納期が長引いているために売上が計上できず、大変苦労している。 |
| | 住関連専門店（経営者） | それ以外 | ・都市部でのキャンペーンは余り良くない。また、今月の店舗での売上は良いが、今月中旬からの新型コロナウイルス新規感染者数の増加により、人の動きが少なくなっている。 | |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|-----------------------|---------|---|
| | | 高級レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・1月中旬までは新規感染者数の減少で、地元客も県外の観光客も増加していたが、急激に新規感染者数が増えると、時短営業に入り客足が途絶え困っている。 |
| | | その他サービスの動向を把握できる者（所長） | それ以外 | ・当地区でもまん延防止等重点措置が適用されているが、客の工場でも新型コロナウイルスの新規感染者が出ている。 |
| | | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・前年末から年始にかけては、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少したことで、来街者数は増加し、売上は回復していた。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株が感染拡大し、新規感染者数の増加と同時に来街者数は極端に減少し、厳しい状況が続いている。 |
| | | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・正月を過ぎ、新型コロナウイルスの感染が拡大したことで、人通りが減り、売上に影響が出ているため、不安を感じている。 |
| | | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・年末年始の出費が多く、客の財布のひもが固まっている。また、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の増加により、商店街に客の足が向かないのが現状である。 |
| | | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・今月の商況は、時間の経過とともに来街者と来客数が減少している。 |
| | | 一般小売店〔精肉〕（店員） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、飲食店が営業時間短縮になり販売量が1月下旬を境に激減している。 |
| | | 一般小売店〔鮮魚〕（店員） | お客様の様子 | ・少し売上が回復していたが、まん延防止等重点措置の適用前から売上が一気に落ち始めている。鮮魚店からの注文がほとんどなくなり、諦めの気持が強くなっている。魚の入荷量が減少しているが、慌てていない人が多い。 |
| | | 一般小売店〔生花〕（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な感染拡大により、人流は減少している。花を贈る機会も少し減り、その分の売上が下がっている。 |
| | | 一般小売店〔茶〕（販売・事務） | お客様の様子 | ・前年末から新型コロナウイルス新規感染者数も10人以下となり感染状況は落ち着きつつあったが、今月は新型コロナウイルスオミクロン株が急激に広まっており、今までにはない速さで新規感染者数が増加している。通常の営業もできず、長年取引をしていた企業からの注文も途絶えている。高齢客は外出を自粛しており、売上は減少している。 |
| | | 百貨店（経理担当） | 競争相手の様子 | ・市内4店の売上高の見通しは、前年比123.8%と伸びてはいるが、前々年比は76.8%と苦戦を強いられている。3か月前の売上高は、前年比92.9%、前々年比91.7%である。初売り等は好調に推移したが、まん延防止等重点措置が適用された後から、急激に売上高が減少している。 |
| | | 百貨店（業務担当） | お客様の様子 | ・コロナ禍が2年続いており、このままの状況が継続すれば、外出用や旅行用の物品購入もしばらく必要ないと判断する客が多くなり、消費はしばらく回復しない。 |
| | | スーパー（店長） | 販売量の動き | ・都市部の店舗のため、年末年始の客の流出で売上が減少傾向であり、衣食住商品共に苦戦している。 |
| | | スーパー（総務担当） | 来客数の動き | ・前年末にかけて、やや単価の高い買物をする客が増えていたが、1月に入り来客数や客単価等で前年割れの状態が続いている。 |
| | | スーパー（企画担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス第6波の急激な拡大で、客の来店頻度が著しく低下している。 |
| | | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・今月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したことで、客足が鈍り、来客数に影響が出ている。今月は前年の売上を下回る見通しである。 |
| | | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染再拡大で人の動きは低調である。来店頻度は確実に減少しており、朝の出勤時の来客数は変化がないが、夜間帯の来客数は大幅に減少している。 |
| | | コンビニ（経営者） | お客様の様子 | ・前月に続いて売上は持ち直していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が出てきている。客から感染者が出た話もあり、購買意欲の冷え込みが心配である。現状は客単価も高く、売上はどうか維持しているが、今後が心配である。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|---------------------------------|--------|--|
| | | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、客の来店が減っている。特に夕方時間帯の来客数減少が顕著である。 |
| | | コンビニ（店長） | 販売量の動き | ・1月に入り、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で売上が減少している。 |
| | | コンビニ（エリア担当・店長） | お客様の様子 | ・午前中と昼の来客数のピークに関しては余り変化がないが、夕方から夜にかけての客の動きが鈍くなっている。 |
| | | 衣料品専門店（店員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が一気に増加した第4週以降、来客数が激減している。 |
| | | 家電量販店（店長） | 単価の動き | ・前年と比較して、新型コロナウイルスに対しての慣れもあり確実に来客数は伸長しているが、単価が大きく下がっている。特にテレビ、冷蔵庫といった高単価商材の単価が下落している。 |
| | | 家電量販店（従業員） | 単価の動き | ・買上点数の減少や買上単価の下落がみられる。様々な値上げにより生活防衛意識が働いており、現場でもその声を聞く機会が増えている。 |
| | | その他専門店 [コーヒー豆] (経営者) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延で、1月の来客数が若干減少している。業界における例年の傾向として、年末の売上は良いものの、1月は売上が下がる月である。加えて新型コロナウイルスの影響で、来客数が減っている。 |
| | | 観光型ホテル（総務） | 来客数の動き | ・年明けの10日以降、新型コロナウイルスの感染が急激に拡大し、運営しているホテルの宿泊客、レストランの客が激減している。一般宴会や婚礼宴会も中止や延期が相次いでいる。 |
| | | 都市型ホテル（スタッフ） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の流行で、県の宿泊支援事業が停止し、宿泊稼働が激減している。 |
| | | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染再拡大により、利用客が激減している。 |
| | | 通信会社（統括者） | 販売量の動き | ・携帯電話の販売台数は前年水準及び販売見込み台数を下回っている。新型コロナウイルスの感染拡大により、来客数も減少している。 |
| | | ゴルフ場（従業員） | 来客数の動き | ・地元の常連来客数は順調に推移しているが、新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加で、金融機関や全国規模の会社のイベント等がキャンセルとなり、入場者は減少傾向である。 |
| | | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・3か月前の10月における来客数は、9月の新型コロナウイルス第5波による減少から、徐々に回復する兆しをみせていた。しかし、1月に新型コロナウイルスオミクロン株が感染拡大した影響で来客数は激減している。 |
| | | 美容室（経営者） | 販売量の動き | ・2～3か月前と比較すると悪くなっている。1月は閑散期になる業界ではあるが、人の動きがないため、おしゃれをすることも減り、売上が下がっている。 |
| | | 美容室（店長） | お客様の様子 | ・まん延防止等重点措置が適用された途端、客足が途絶えている。景気が良くなるとは思えない。 |
| | | その他サービスの動向を把握できる者[介護サービス]（管理担当） | 来客数の動き | ・季節要因の入院等による客の減少とともに新型コロナウイルスオミクロン株による予約取消しも増加している。 |
| | | 設計事務所（代表） | 単価の動き | ・原材料費の高騰や新型コロナウイルスの感染拡大により、景気は良くない。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、展示場来客数が大幅に減少傾向になっている。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス感染症は一旦落ち着いていたが、新型コロナウイルスオミクロン株が感染拡大し、客足は減少している。 |
| | × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・今月からの新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の急拡大で、商店街の人流は激減している。 |
| | × | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・月初から中旬までは商店街も少しずつ活気を取り戻しつつあったが、まん延防止等重点措置が適用されてからは、午前中は食料品の購入を目的とする客の通行はあるものの、午後から客は激減する。 |
| | × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・1月の売上は想定より良かったが、まん延防止等重点措置が適用され、来客数が減少している。飲食店のみ対策支援が出ているが、他業種にも支援は必要である。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|----------------------------------|--------|--|
| | × | 百貨店（企画担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が非常に少なく推移していた3か月前と比べ、第6波では新型コロナウイルスの新規感染者数が急上昇した今月中旬以降、来客数は減少傾向である。 |
| | × | 百貨店（営業担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少で、平日や午後の来客数が伸びていたが、新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の急増で、中旬以降は店頭への来客数が落ち込んだ。加えて、感染防止や混雑回避のために物産催事やバレンタイン催事の来場者数も減少している。客単価、商品単価は変わらず、オンライン利用やサテライトショップ、ギフトショップにおける地元店舗の売上は堅調である。1月中旬以降、感染症対策による客の外出自粛が継続している。 |
| | × | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・12～1月中旬までは売上高が前年比10%程度改善していたが、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の増加により、まん延防止等重点措置が適用されたため、人の動きが鈍くなり、来客数が減少している。 |
| | × | コンビニ（店長） | それ以外 | ・客の流れは止まっており、従業員も濃厚接触者となるなど、営業そのものが悪環境になっている。 |
| | × | 住関連専門店（従業員） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルス感染拡大のため、店頭の人通りが著しく落ち込んでいる。また例年であれば、進学や就職で県外移住する子供のために寝具を選ぶ客が多い季節だが、商品問合せが例年と比べて圧倒的に少ない。前年と同様、在宅講義や在宅勤務等を想定し、転出を先送りする人が多くなっている。 |
| | × | その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の増加により、来場者数が大幅に落ち込んでいる。 |
| | × | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着き始め、売上も順調に推移していたが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、先が見えない状況になっている。 |
| | × | スナック（経営者） | 来客数の動き | ・年末から年始にかけて上向き始めた来客数が、新型コロナウイルスオミクロン株により再度減少している。 |
| | × | その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大によって、飲食店は時短営業や休業をしているため、景気は悪い。 |
| | × | 観光旅館組合（職員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、旅行を控えている客が多い。 |
| | × | 観光型ホテル（専務） | 来客数の動き | ・当県でもまん延防止等重点措置が適用され、来客数が激減している。それまでの異常な忙しさから激変して、暇な日が続く、先行きを懸念している。 |
| | × | 都市型ホテル（販売担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、全国的にまん延防止等重点措置が適用されており、景気は悪くなっている。 |
| | × | 旅行代理店（職員） | 販売量の動き | ・まん延防止等重点措置が適用された地域への来訪自粛や既存予約の取消しが著しく増加している。新規予約も停滞気味である。 |
| | × | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の激増により、1月中旬以降は来客数が激減し、回復していた売上も前月から4割減少している。 |
| | × | タクシー運転手 | それ以外 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、当県もまん延防止等重点措置が適用されている。新型コロナウイルスオミクロン株は前回の新型コロナウイルス変異株と比較して感染拡大が速く、新規感染者数の増加も多い。これから更に景気や日常生活に影響が出てくる。 |
| | × | 競馬場（職員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大第6波の影響で、来客数が減少している。 |
| | × | 設計事務所（所長） | 単価の動き | ・材料や製品単価が上昇しており、食品や生活必需品の価格も上がっている。しかし、収入は増加していないため、消費は悪くなっていく。 |
| 企業 | | - | - | - |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|------------------|-------------|--------------------------|-----------------------------------|--|
| 動向 関連 (九州) | | 窯業・土石製品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・前年度と比較すると、12～1月は売上も上がり、ふるさと納税の注文も伸び、全体的に景気は良い。産地全体では、対メーカーの売上は上がっているものの、対消費者の売上はまだ前年度水準に達していない。 |
| | | 一般機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・2～3か月前から景気は良くなっていたが、新型コロナウイルスの感染再拡大により行動が制限され、取引先でも人材不足が発生しているため、今後が不安である。 |
| | | 電気機械器具製造業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・半導体関連の受注量と販売量が継続して好調である。 |
| | | 電気機械器具製造業（取締役） | 取引先の様子 | ・各取引先からの引き合いは堅調であるが、今後は原材料の値上げや不足、納期遅延等が重荷になる。 |
| | | 広告代理店（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染が落ち着いているため、新聞折込は若干増加している。 |
| | | 広告代理店（役員） | 受注量や販売量の動き | ・年度末であることも関係しているが、客からの発注件数が少し増加傾向にある。 |
| | | 農林水産業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・少し好調だった前年の12月に続き、例年は落ち込む傾向にある1月も順調に推移していたが、新型コロナウイルスオミクロン株がまん延した10日以降は少しずつ売上が落ちている。量販店向けについても、例年1月の動きは悪く、今年も例外ではない。例年と比べると抑えた売上計画になっているが、達成は厳しい。 |
| | | 一般機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・客の声や営業部門の報告から、半導体分野での業況感はある程度良くなっている。しかし、他の分野の業況は現状と変わらない。 |
| | | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・受注は好調に推移している。 |
| | | 輸送業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルス感染症の収束がみえず懸念している。コンテナ不足の解消にまだめどが立たず、物流が低迷している。状況に合わせた変革が必要となっており、従来のような取扱にはまだ戻っていない。 |
| | | 輸送業（従業員） | それ以外 | ・受注量、受注価格共に伸びているが、原料調達が遅れており、生産できない状況が続いている。アルミ袋やホエイ等のプロテイン原料が不足しており、多岐にわたり調達困難な状況が続いている。 |
| | | 輸送業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・例年1月は閑散期であるが、本年は予想以上に受注量がある。 |
| | | 金融業（営業） | 取引先の様子 | ・景気は新型コロナウイルスの影響を受けながら上下しており、感染状況次第である。新型コロナウイルスオミクロン株が急激に増加しており、判断はできない。 |
| | | 金融業（調査担当） | 取引先の様子 | ・素材産業や不動産業では、価格上昇により収益性が向上している企業が見られる。一方で製造業では、世界的なサプライチェーンの混乱に伴う部品不足の影響が依然としてみられる。また人流に依存する事業のなかでも、特に飲食店は新型コロナウイルスオミクロン株が感染拡大しており、回復していた集客は減少傾向にある。 |
| | | 新聞社〔広告〕（担当者） | 受注量や販売量の動き | ・広告の申込みが増えて景気の回復を感じつつあったが、新型コロナウイルスの感染拡大でまた元に戻っている。 |
| | | 経営コンサルタント（代表取締役） | 取引先の様子 | ・取引先の業況に変化はない。 |
| | | 経営コンサルタント（社員） | 受注量や販売量の動き | ・この3か月間、定期的にダイレクトメールを100枚前後送付しているが、目立った反応がみられない。 |
| | | その他サービス業〔物品リース〕（職員） | 取引先の様子 | ・3か月前と比較すると大きな変動はないが、1月に入り新型コロナウイルスの感染拡大により、業種によっては景気が低迷している取引先もある。 |
| | | その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役） | 競争相手の様子 | ・市町村からの調査や計画策定支援等の委託業務の発注は、年度末が近づくと減少しているが、3月末を工期とする業務の入札は幾つかある。他社は受注できない状況にあり、参加した入札では、落札する業者は予定価格の半額以下で応札している。実費の経費も掛かるため、利益が僅かしか出ない。 |
| | | 食料品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・主力原料の不作と品質不良により、製品を十分に供給できず、加えて原価が高騰している。 |
| | 食料品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大で、飲食店への販売量が減少している。 | |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|--------------|--------------|------------------|---|--|
| | | 繊維工業（営業担当） | それ以外 | ・新型コロナウイルスの影響で、濃厚接触者として出勤できない人が出たため、繁忙期に休業の可能性もある。また、賃金の上昇や石油製品の価格上昇は、大きな痛手である。 |
| | | 金属製品製造業（事業統括） | 受注量や販売量の動き | ・新規案件は増加しているが、入札不調や部品納期の遅延等の影響により、実際の受注に結び付かない。 |
| | | 輸送用機械器具製造業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・海外からの部品供給減少により、生産台数も減少している。 |
| | | その他製造業〔産業廃棄物処理業〕 | 取引先の様子 | ・原材料不足とコロナ禍の影響に加え、1月の稼働日数が少ないため、全体的に生産量が落ちている。 |
| | | 建設業（社員） | 受注量や販売量の動き | ・県の発注見通しが発表されたが、本格的に指名があり、受注から着手するまでにまだまだ期間を要する。コロナ禍の影響で公共工事への予算配分が少なくなっていることは理解している。しかし、平準化が全くできていないため、もう少し配慮してもらいたい。 |
| | | 通信業（経理担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の影響が急速に拡大している。 |
| | | 金融業（従業員） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が大幅に増加し、まん延防止等重点措置が多く地域で適用されたことで、回復傾向にあった百貨店等では客足が減少しており、ホテルや旅館、飲食店等でも予約取消しが増加している。 |
| | | 金融業（営業担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の急拡大によって、時短営業を迫られている。消費が少し落ちることで、余り影響がなかった建設業も部品や資材の調達に困難になり、また価格高騰により受注が先送りになることで、中小企業全体的に景気が悪化することになる。新型コロナウイルスオミクロン株の収束がない限り景気は悪い状況である。 |
| | | 金融業（調査担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、飲食店は営業自粛や時短営業を余儀なくされ、前年末に回復しつつあった売上は再び低迷している。職場や学校等での感染拡大が相次ぐなか、所得の増加はなく、物価上昇が消費意欲の妨げとなっている。 |
| | | 経営コンサルタント（社員） | 取引先の様子 | ・前回の時短営業解除後、客足は戻りつつあったが、今回のまん延防止等重点措置の適用による時短営業の要請に対し、多くの事業者が心配している。 |
| | | × | 農林水産業（従業者） | 受注価格や販売価格の動き |
| | × | 経営コンサルタント（代表取締役） | 取引先の様子 | ・1月上旬の景気は少し上向いていたが、新型コロナウイルスの影響で店を閉める等の厳しい状況が続いている。 |
| 雇用関連 (九州) | | - | - | - |
| | | 人材派遣会社（社員） | 求人数の動き | ・注文数が2割程度増加している。既存の客の注文に加え、新規企業からも注文が入っている。また、採用が決まったことで登録をやめる派遣登録予約者が、前月よりも目立つ。 |
| | | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・有効求人数、新規求人数共に増加が続いている。有効求人倍率も前年を上回る月が続いている。 |
| | | 人材派遣会社（社員） | 雇用形態の様子 | ・新型コロナウイルス関連の業務対応を実施しており、登録者の数も増えてきたことにより、雇用に動きがあるようにみえるが、通常の事務業務等の募集案件は停滞している。求職者も動きは鈍く、期間限定の案件に募集が多い年代は50代以上である。 |
| | | 求人情報誌製作会社（編集者） | 周辺企業の様子 | ・9月にまん延防止等重点措置が解除され、10月から年末商戦に向けて求人数の増加を期待していたが、人員に対する需要は伸びていない。また、新型コロナウイルスの新規感染者数が徐々に増加し、まん延防止等重点措置の再適用が危惧されるため、雇用に消極的な姿勢となっている。 |
| | 民間職業紹介機関（職員） | 求人数の動き | ・前年はこの時期の求人数がかなり少なく、希望者に対して十分な求人がなかったが、今年の求人自体は、継続してある状況である。しかし、学生とのマッチングの視点でいうと必ずしもうまくいっておらず、どちらともいえない状況である。 | |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----|---------|--------------------|---------|---|
| | | 学校〔大学〕 （就職支援業務） | 求人数の動き | ・内定状況は、前年と比較して若干良く、前々年との比較では少し悪い状況である。現在も就職活動をしている2022年度卒業の学生が若干残っており、求人依頼件数も一定数あることで、年間を通じた採用活動をする企業も前年度と比較して増えている。また、新型コロナウイルスの影響はまだまだ続く状況ではあるが、2023年度卒業の採用を増やす企業も出ており、求人状況は少し好転する。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（社員） | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な新規感染者数増加で、緊急事態宣言は発出されていないものの、企業活動の鈍化がみられ、新聞広告の量に影響が出ている。特に、宿泊や旅行関連の広告は、ほぼない状況である。長距離列車は空席が目立ち、地下鉄も人の動きが止まっている。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | それ以外 | ・3か月前は新型コロナウイルスも比較的落ち着いており、中心市街地への人出や飲食店での宴会等も戻っていたが、1月以降の新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の急拡大により、当県でも、まん延防止等重点措置が適用され、景気の上昇が止まってしまっている。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルス第6波における急激な感染拡大の影響により、休業や時短営業をする飲食店が急増している。補助金や雇用調整助成金等がいつまでも続く状況ではないこともあり、今後の景気に影響する。 |
| | × | 人材派遣会社（社員） | 求人数の動き | ・新型コロナウイルス感染拡大第6波の影響で、案件の取消しや日延べ、縮小が続いている。 |
| | × | 職業安定所（職員） | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスの感染状況が一旦落ち着き、明るい兆しが出たためアルバイトを雇用したものの、1月下旬にまん延防止等重点措置の適用が要請され、再度、時短営業をしなければならず、今回こそ経営が危ういという飲食業者からの声が複数ある。 |

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|---------|------------------|----------|--|
| 家計 動向 関連 (沖縄) | | 観光型ホテル （企画担当） | 販売量の動き | ・ホテルの10月の販売室数が前年比72%減少とマイナスなのに対して、1月の販売室数は前年比39%増加とプラスに転じている。 |
| | | コンビニ（経営者） | 販売量の動き | ・来客数に変動はなく、必需品を買いに来る近隣の人や工事関係者が多い。 |
| | | スーパー（企画担当） | 単価の動き | ・1月9日からの、まん延防止等重点措置の適用に伴い、外出自粛や休校等の影響で再び巣籠り需要が発生し、客単価が上昇するも来客数が伴わず売上が伸び悩む。 |
| | | スーパー（販売企画） | 販売量の動き | ・沖縄県では1月9日よりまん延防止等重点措置が適用されて、買上点数が少し増えて来客数が少し減る状況にあり、巣籠り需要が実感できる。 |
| | | 住宅販売会社（代表取締役） | 販売量の動き | ・個人住宅などについて、ある程度の建築契約受注はできているが、コロナ禍の影響で投資建築案件が減ってきており、この先の見通しが読めない。 |
| | | コンビニ（副店長） | 来客数の動き | ・年末年始に人流は戻ってきたが、今月4日以降に新型コロナウイルスオミクロン株新規感染者数が増加し、日を重ねるごとに来客数が大幅に減少している。特に外出者が減る深夜帯で影響が大きく見受けられる。 |
| | | 住宅販売会社（役員） | お客様の様子 | ・毎年1～3月の期間、賃貸物件の動きが活発になる時期だが、まん延防止等重点措置に伴う外出自粛の最中で、問合せや物件の見学者数も例年に比較し減少傾向にある。 |
| | | × | 商店街（代表者） | それ以外 |
| | × | 一般小売店〔酒〕（店長） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルス感染のまん延により、飲食店や観光業界もストップしている。新型コロナウイルス対策も現時点で、打開策がない。 |

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------|---------|-----------------|--------------|---|
| | × | 百貨店（店舗企画） | 来客数の動き | ・年が明け1月から更なる景気回復を期待していたが、沖縄では前年末から新型コロナウイルスオミクロン株の感染が発表され、1月初旬よりまん延防止等重点措置が適用され、来客数が一気にダウンしている。前年1月も中旬より一部地域で緊急事態宣言が発出されていたが、それ以上に厳しい集客となり売上も前年を下回っている。 |
| | × | 衣料品専門店（経営者） | 来客数の動き | ・やはり新型コロナウイルスオミクロン株の拡大により、まん延防止等重点措置が適用されたことで、来客数が減少している。 |
| | × | その他専門店【陶器】（製造） | 販売量の動き | ・まん延防止等重点措置で観光客が激減している。 |
| | × | その他飲食【居酒屋】（経営者） | 来客数の動き | ・年末年始で前々年の70%ぐらいまで入客数が戻ってきていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の急増とまん延防止等重点措置の適用により、今月は一気に95%減少で休業に入っている。 |
| | × | 観光型ホテル（代表取締役） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大とまん延防止等重点措置の適用により、宿泊部門のキャンセルが多数で、修学旅行の予約も全て消えている。料飲部門の宴会予約も全て消えている。 |
| | × | 旅行代理店（マネージャー） | 販売量の動き | ・10～11月と取扱量が回復傾向になってきたと思っていたら、新型コロナウイルスの感染者数が増え、まん延防止等重点措置が適用された途端、キャンセルが急増し振出しに戻る。 |
| | × | 通信会社（営業担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えるのに反比例して来客数が減り、予約のキャンセルも多くなっている。商業施設などで出張販売も行っているが、人通りが少なく厳しい状況である。 |
| | × | 観光名所（職員） | 来客数の動き | ・まん延防止等重点措置の適用後から予約がストップし、3月までキャンセルされている。 |
| 企業 動向 関連 | | - | - | - |
| (沖縄) | | 食料品製造業（役員） | 受注価格や販売価格の動き | ・まん延防止等重点措置の沖縄県への適用で観光、ホテル、及び給食関係への納品は減少しているが、それ以外への納品は増加している。 |
| | | 窯業土石業（取締役） | 受注量や販売量の動き | ・公共工事、民間工事の見積依頼に大きな変化はなく、受注量、生産量も横ばいの状況である。 |
| | | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・具体的な商談に進む客の動きが止まっている。 |
| | | 会計事務所（所長） | それ以外 | ・所得増を伴わない物価の上昇感があり、消費動向も先細るとの懸念がある。 |
| | × | 輸送業（経営企画室） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルス新規感染者数の急拡大によるまん延防止等重点措置の影響で本土との行き来が制限され、商談に遅れが生じている。また、飲食等の発注が減少傾向にある。3か月前の制限のない状況と比べると景気は悪くなっている。 |
| 雇用 関連 | | - | - | - |
| (沖縄) | | 人材派遣会社（総務担当） | 求人数の動き | ・求人案件は増加傾向にあるが、求職者の動きが鈍く人手不足感は否めない。 |
| | | 学校【大学】（就職支援担当） | 求人数の動き | ・求人数について著しく減ってはならず、福祉関係などの求人数は一定数集まっている。 |
| | | 人材派遣会社（経営者） | 周辺企業の様子 | ・派遣依頼の減少は大きくはないが、新型コロナウイルスの影響による人材欠員で仕事が停滞低迷しているように見受けられる。またまん延防止等重点措置は、前回より経済への影響が大きいともみている。 |
| | | 求人情報誌製作会社（営業） | 求人数の動き | ・3か月前は緊急事態宣言が解除となり多くの企業が求人活動を再開していたが、急速な新型コロナウイルス感染拡大により今月から求人停止せざるを得ない企業が多くなっている。それでも、前年9月以前の緊急事態宣言下と比較すると、求人数はやや増えている。 |
| | | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の流行による求人数の取消しなどはなかったが、前年より求人数の増加率が低下している印象がある。 |
| | × | 学校【専門学校】（就職担当） | 求人数の動き | ・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の急拡大のため企業も思うようには動けず、採用活動自体が停滞しているように見受けられる。 |